

子どもの生活実態調査

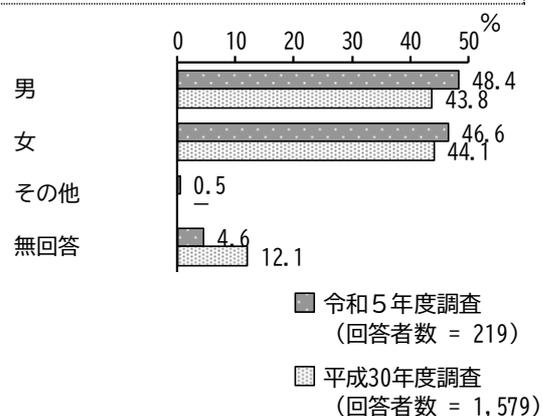
3 小学生本人

(1) 回答者属性

問1 あなたの性別を教えてください。(○はひとつだけ)

「男」の割合が 48.4%、「女」の割合が 46.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「その他」の選択肢はありませんでした。

【生活貧困別】

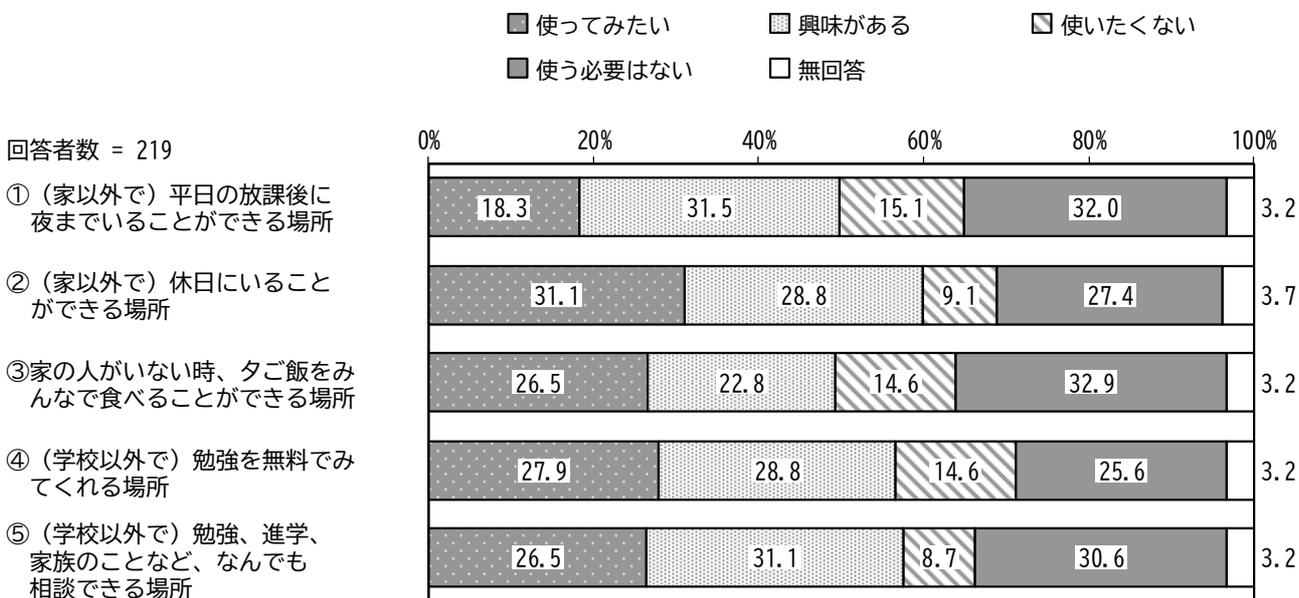
単位：%

区分	回答者数(件)	男	女	その他	無回答
全体	219	48.4	46.6	0.5	4.6
生活困難層	17	47.1	41.2	-	11.8
非生活困難層	172	49.4	45.3	0.6	4.7

(2) 学校以外でのふだんの生活の状況について

問2 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。それぞれについて、○をひとつつけてください。

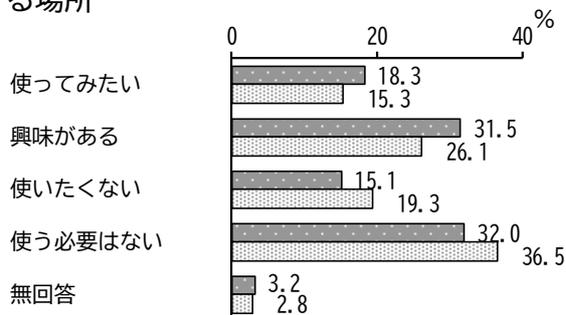
『②（家以外で）休日にいることができる場所』で「使ってみたい」の割合が高くなっています。



①（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所

「使う必要はない」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「興味がある」の割合が 31.5%、「使ってみたい」の割合が 18.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「興味がある」の割合が増加しています。



■ 令和5年度調査
(回答者数 = 219)
▨ 平成30年度調査
(回答者数 = 1,579)

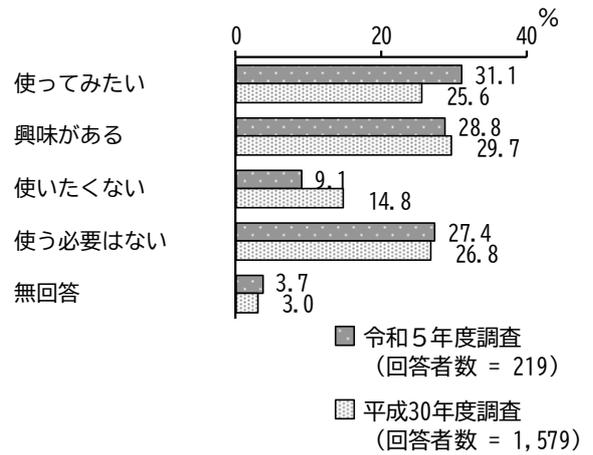
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	無回答
全体	219	18.3	31.5	15.1	32.0	3.2
生活困難層	17	23.5	35.3	11.8	23.5	5.9
非生活困難層	172	19.2	30.8	15.1	31.4	3.5

② (家以外で) 休日にいることができる場所

平成 30 年度調査と比較すると、「使ってみた
い」の割合が増加しています。一方、「使いた
くない」の割合が減少しています。



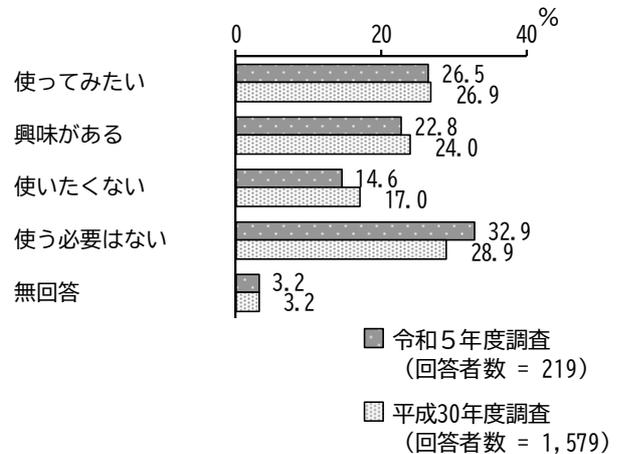
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	使 つ て み た い	興 味 が あ る	使 い た く な い	使 う 必 要 は な い	無 回 答
全 体	219	31.1	28.8	9.1	27.4	3.7
生活困難層	17	35.3	35.3	11.8	5.9	11.8
非生活困難層	172	32.6	27.3	9.3	27.3	3.5

③ 家の人がない時、夕ご飯をみんなで食べることができる場所

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。

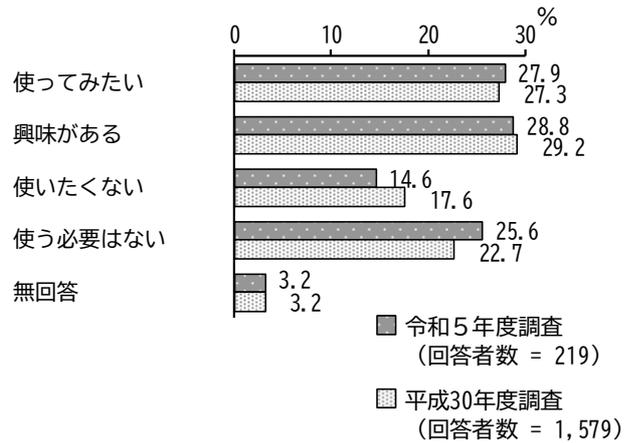


【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	使 つ て み た い	興 味 が あ る	使 い た く な い	使 う 必 要 は な い	無 回 答
全 体	219	26.5	22.8	14.6	32.9	3.2
生活困難層	17	29.4	29.4	11.8	23.5	5.9
非生活困難層	172	27.9	23.3	14.0	31.4	3.5

- ④ (学校以外で) 勉強を無料でみてくれる場所
「興味がある」の割合が 28.8%と最も高く、
次いで「使ってみたい」の割合が 27.9%、「使う
必要はない」の割合が 25.6%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。

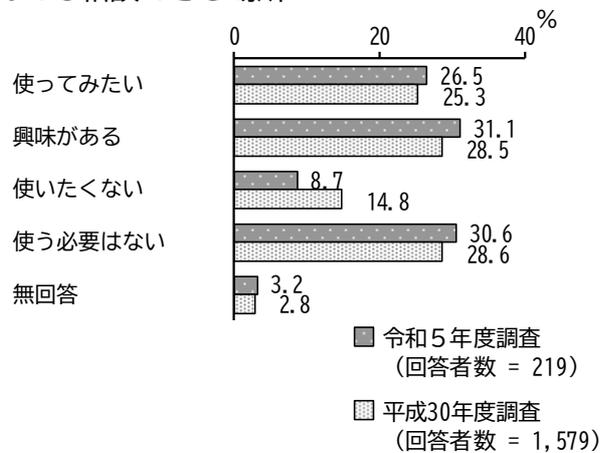


【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	無回答
全体	219	27.9	28.8	14.6	25.6	3.2
生活困難層	17	47.1	11.8	17.6	17.6	5.9
非生活困難層	172	27.9	30.2	13.4	25.0	3.5

- ⑤ (学校以外で) 勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所
「興味がある」の割合が 31.1%と最も高く、
次いで「使う必要はない」の割合が 30.6%、「使
ってみたい」の割合が 26.5%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、「使いたくない」
の割合が減少しています。



【生活貧困別】

単位：%

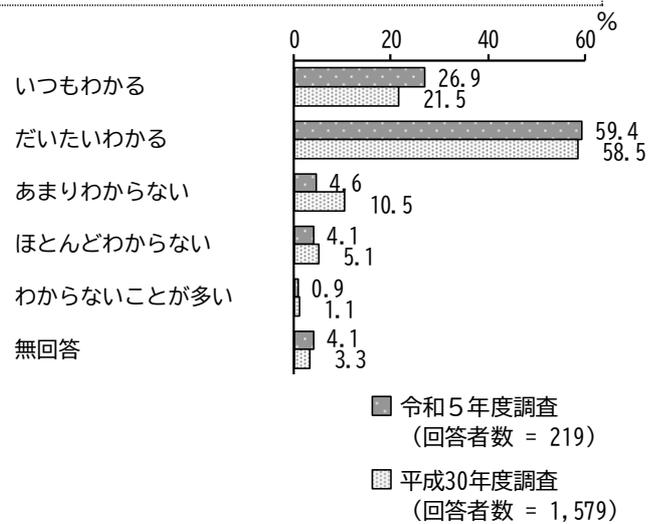
区分	回答者数 (件)	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	無回答
全体	219	26.5	31.1	8.7	30.6	3.2
生活困難層	17	29.4	41.2	5.9	17.6	5.9
非生活困難層	172	28.5	28.5	8.7	30.8	3.5

(3) 学校のことや勉強のことについて

問3 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(〇はひとつだけ)

「だいたいわかる」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「いつもわかる」の割合が 26.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「あまりわからない」の割合が減少しています。



【生活貧困別】

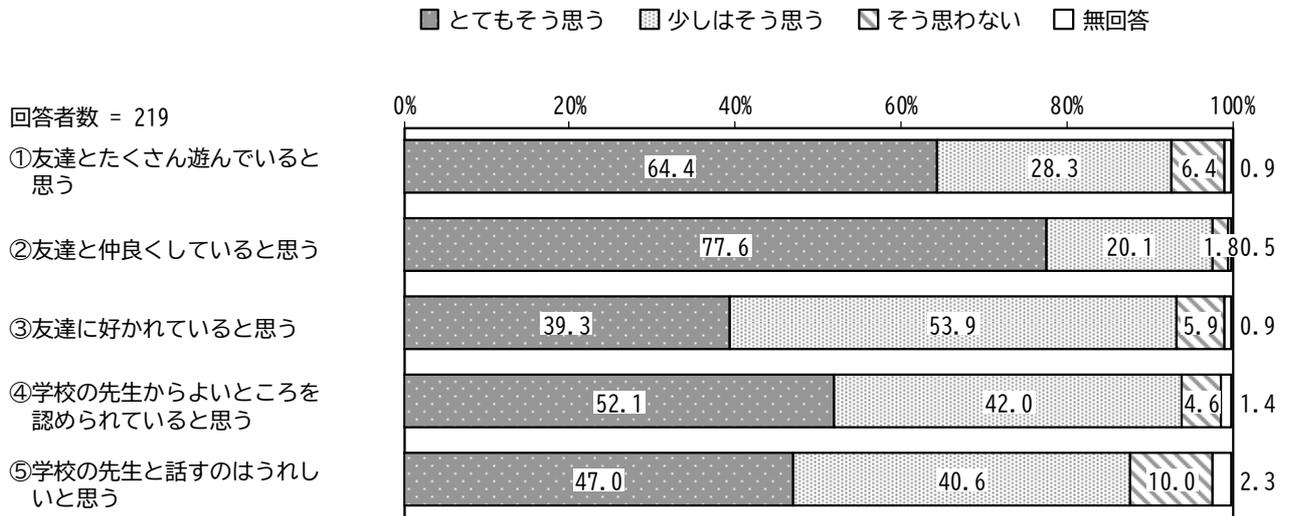
単位：%

区分	回答者数 (件)	いつもわかる	だいたいわかる	あまりわからない	ほとんどわからない	わからないことが多い	無回答
全体	219	26.9	59.4	4.6	4.1	0.9	4.1
生活困難層	17	11.8	64.7	5.9	5.9	5.9	5.9
非生活困難層	172	25.0	60.5	5.2	4.7	—	4.7

(4) いろいろな人とのかかわりについて

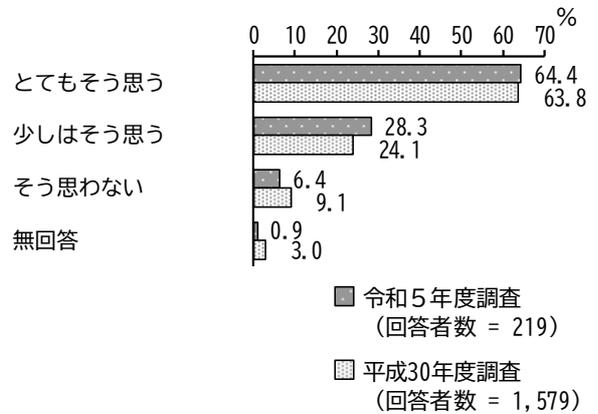
問4 人とのかかわりについて、ふだんどのように思っていますか。以下の①から⑤のことについて、あなたの気持ちに近いものひとつを選んで○をつけてください。

『②友達と仲良くしていると思う』で「とてもそう思う」の割合が高くなっています。



① 友達とたくさん遊んでいると思う

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



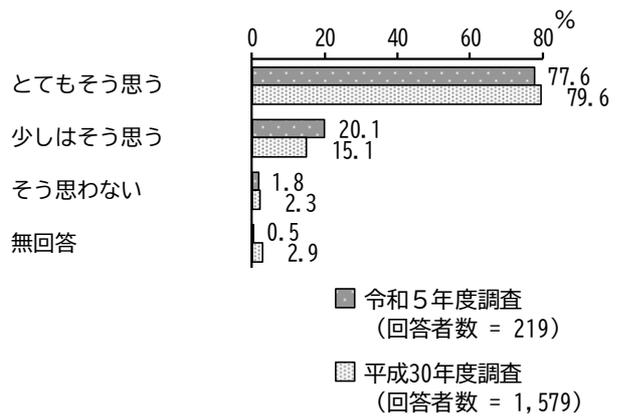
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	とてもそう思う	少しはそう思う	そう思わない	無回答
全体	219	64.4	28.3	6.4	0.9
生活困難層	17	58.8	29.4	11.8	—
非生活困難層	172	66.9	26.7	5.2	1.2

② 友達と仲良くしていると思う

平成 30 年度調査と比較すると、「少しはそう思う」の割合が増加しています。



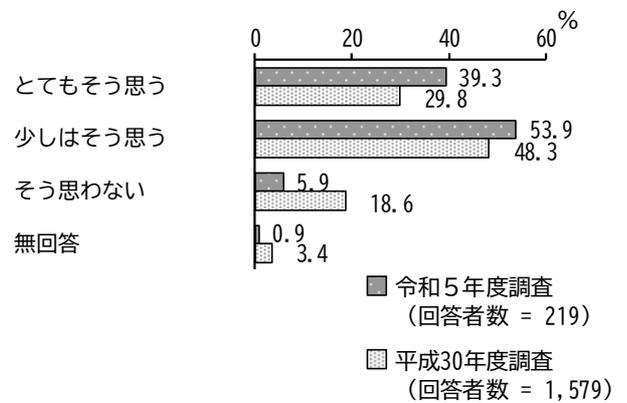
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	とてもそう思う	少しはそう思う	そう思わない	無回答
全 体	219	77.6	20.1	1.8	0.5
生活困難層	17	76.5	17.6	5.9	—
非生活困難層	172	79.7	18.0	1.7	0.6

③ 友達に好かれていると思う

平成 30 年度調査と比較すると、「とてもそう思う」「少しはそう思う」の割合が増加しています。一方、「そう思わない」の割合が減少しています。



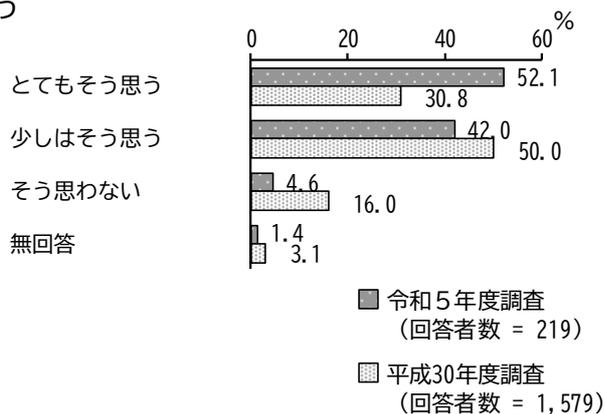
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	とてもそう思う	少しはそう思う	そう思わない	無回答
全 体	219	39.3	53.9	5.9	0.9
生活困難層	17	41.2	52.9	5.9	—
非生活困難層	172	36.0	57.0	5.8	1.2

④ 学校の先生からよいところを認められていると思う

平成 30 年度調査と比較すると、「とてもそう思う」の割合が増加しています。一方、「少しはそう思う」「そう思わない」の割合が減少しています。



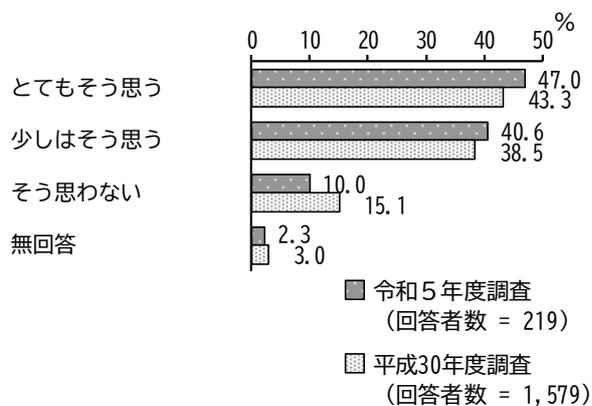
【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	とてもそう思う	少しはそう思う	そう思わない	無回答
全体	219	52.1	42.0	4.6	1.4
生活困難層	17	35.3	58.8	5.9	—
非生活困難層	172	51.7	42.4	4.1	1.7

⑤ 学校の先生と話すのはうれしいと思う

平成 30 年度調査と比較すると、「そう思わない」の割合が減少しています。



【生活貧困別】

単位：％

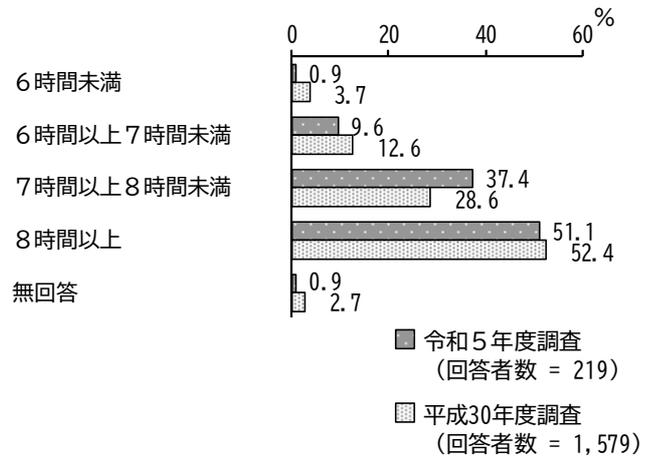
区分	回答者数 (件)	とてもそう思う	少しはそう思う	そう思わない	無回答
全体	219	47.0	40.6	10.0	2.3
生活困難層	17	58.8	35.3	5.9	—
非生活困難層	172	45.3	41.3	10.5	2.9

(5) あなたの健康状況について

問5 学校に行く日の睡眠時間を教えてください。(〇はひとつだけ)

「8時間以上」の割合が51.1%と最も高く、次いで「7時間以上8時間未満」の割合が37.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7時間以上8時間未満」の割合が増加しています。



【生活貧困別】

単位：%

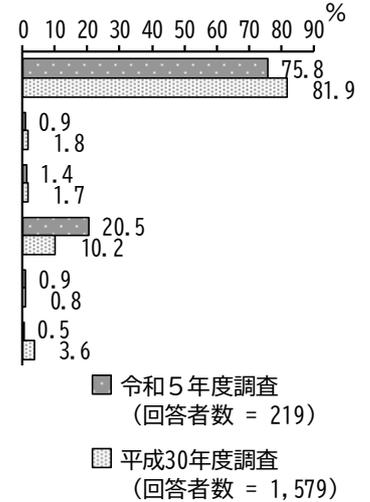
区分	回答者数(件)	6時間未満	6時間以上7時間未満	7時間以上8時間未満	8時間以上	無回答
全体	219	0.9	9.6	37.4	51.1	0.9
生活困難層	17	—	11.8	41.2	47.1	—
非生活困難層	172	1.2	9.3	39.0	49.4	1.2

問6 あなたはいつ歯みがきをしますか。(○はひとつだけ)

「朝・昼・夜にみがく」の割合が 75.8%と最も高く、次いで「夜だけみがく」の割合が 20.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「夜だけみがく」の割合が増加しています。一方、「朝・昼・夜にみがく」の割合が減少しています。

朝・昼・夜にみがく
朝だけみがく
昼だけみがく
夜だけみがく
みがかない
無回答



【生活貧困別】

単位：%

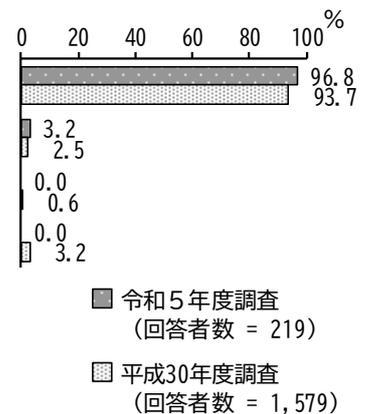
区分	回答者数(件)	朝・昼・夜にみがく	朝だけみがく	昼だけみがく	夜だけみがく	みがかない	無回答
全体	219	75.8	0.9	1.4	20.5	0.9	0.5
生活困難層	17	52.9	—	—	41.2	5.9	—
非生活困難層	172	77.3	1.2	1.7	19.2	—	0.6

問7 お風呂（または、シャワー）に入る回数はどのくらいですか。(○はひとつだけ)

「ほぼ毎日」の割合が 96.8%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

ほぼ毎日
2～3日に1回くらい
4日に1回か、それより少ない
無回答



【生活貧困別】

単位：％

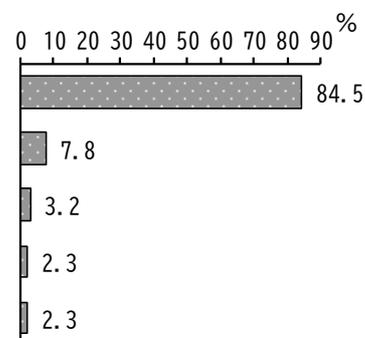
区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	2～3日に1回くらい	4日に1回か、それより少ない	無回答
全体	219	96.8	3.2	—	—
生活困難層	17	100.0	—	—	—
非生活困難層	172	96.5	3.5	—	—

問8 あなたは週にどのくらい朝食を食べていますか。(○はひとつだけ)

「毎日食べる」の割合が 84.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 219

- 毎日食べる
- 食べる方が多い(週4～6日)
- 食べない方が多い(週1～3日)
- ほとんど食べない
- 無回答



【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	毎日食べる	食べる方が多い (週4～6日)	食べない方が多い (週1～3日)	ほとんど食べない	無回答
全体	219	84.5	7.8	3.2	2.3	2.3
生活困難層	17	94.1	—	5.9	—	—
非生活困難層	172	83.7	8.7	2.3	2.3	2.9

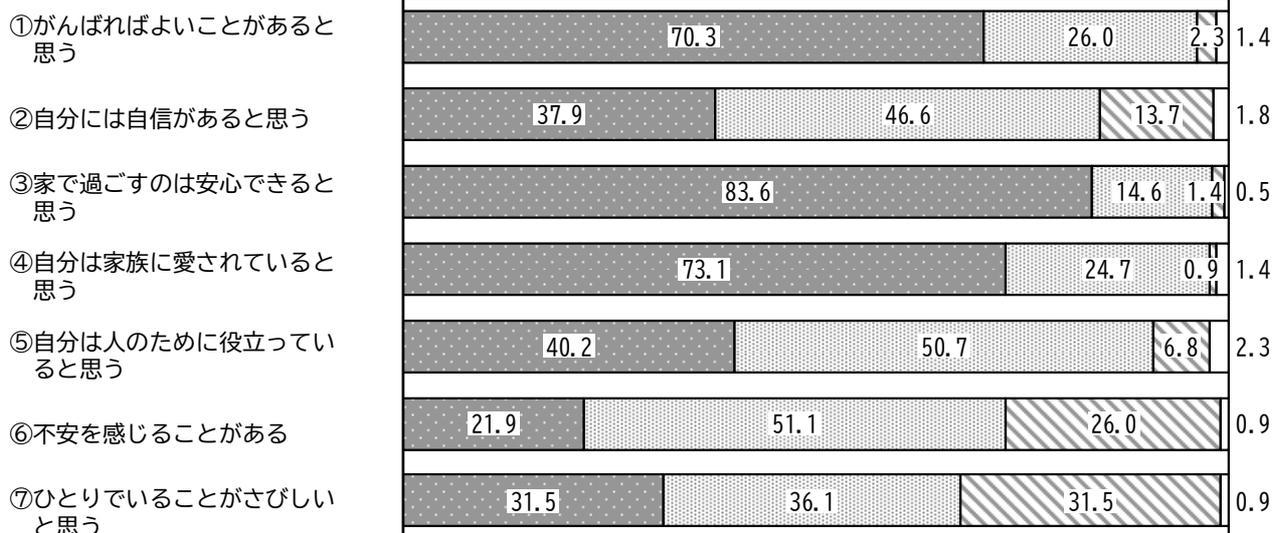
(6) あなたがふだん考えていることについて

問9 あなたは、以下の①から⑦のことについて、どのように思いますか。それぞれについて、○をひとつつけてください。

『③家で過ごすのは安心できると思う』で「とてもそう思う」の割合が高くなっています。

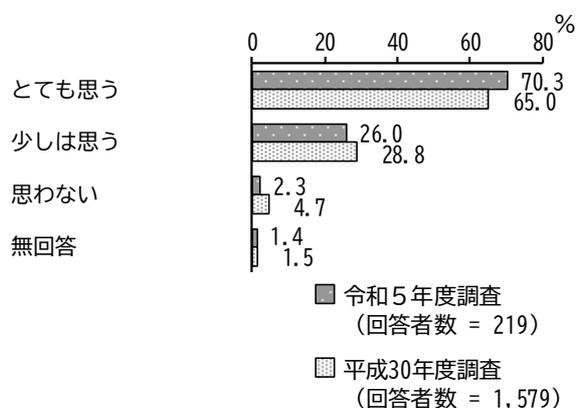
■ とても思う ▨ 少しは思う ▩ 思わない □ 無回答

回答者数 = 219



① がんばればよいことがあると思う

平成30年度調査と比較すると、「とても思う」の割合が増加しています。



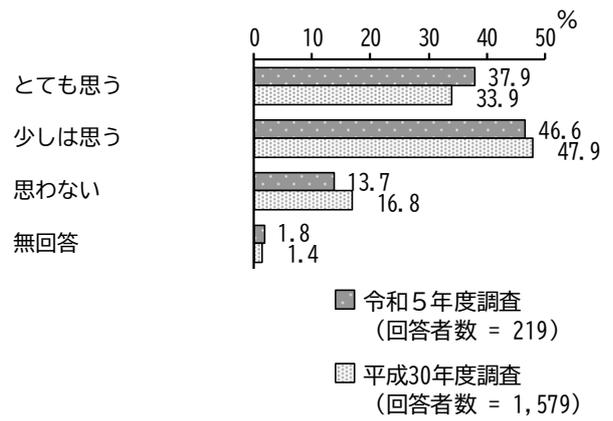
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全体	219	70.3	26.0	2.3	1.4
生活困難層	17	82.4	11.8	5.9	—
非生活困難層	172	69.8	26.2	2.3	1.7

② 自分には自信があると思う

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



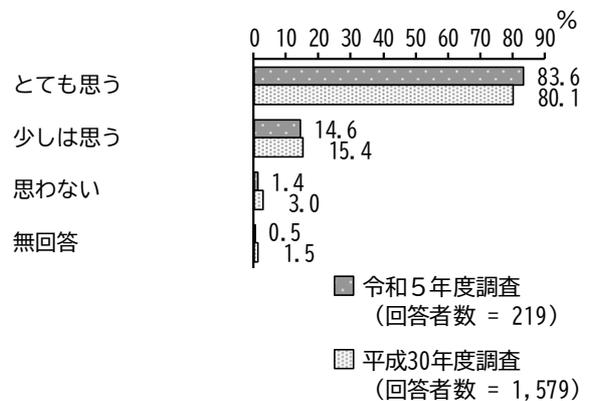
【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全 体	219	37.9	46.6	13.7	1.8
生活困難層	17	23.5	64.7	11.8	—
非生活困難層	172	36.0	47.1	14.5	2.3

③ 家で過ごすのは安心できると思う

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は
みられません。



【生活貧困別】

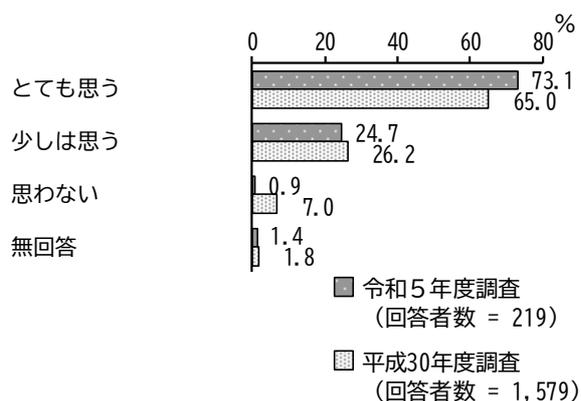
単位：％

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全 体	219	83.6	14.6	1.4	0.5
生活困難層	17	88.2	11.8	—	—
非生活困難層	172	83.7	14.0	1.7	0.6

④ 自分は家族に愛されていると思う

「とても思う」の割合が73.1%と最も高く、次いで「少しは思う」の割合が24.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「とても思う」の割合が増加しています。一方、「思わない」の割合が減少しています。



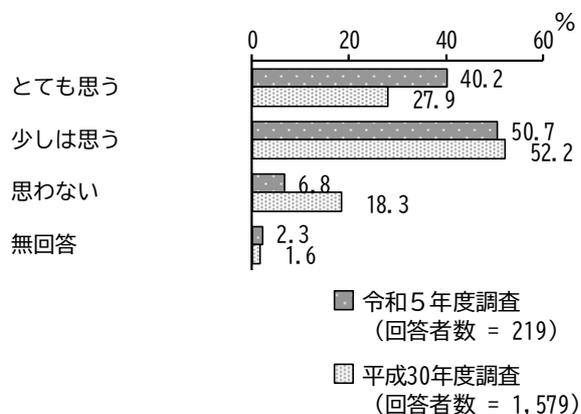
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全体	219	73.1	24.7	0.9	1.4
生活困難層	17	76.5	23.5	—	—
非生活困難層	172	72.7	25.0	0.6	1.7

⑤ 自分は人のために役立っていると思う

平成30年度調査と比較すると、「とても思う」の割合が増加しています。一方、「思わない」の割合が減少しています。



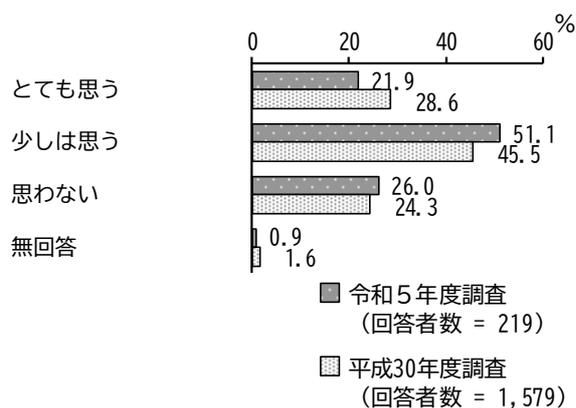
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全体	219	40.2	50.7	6.8	2.3
生活困難層	17	41.2	58.8	—	—
非生活困難層	172	39.0	51.2	7.0	2.9

⑥ 不安を感じることがある

平成 30 年度調査と比較すると、「少しは思う」の割合が増加しています。一方、「とても思う」の割合が減少しています。



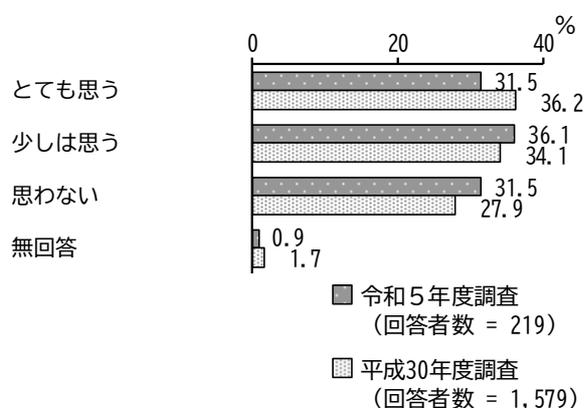
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全体	219	21.9	51.1	26.0	0.9
生活困難層	17	35.3	41.2	23.5	—
非生活困難層	172	22.1	52.3	24.4	1.2

⑦ ひとりであることがさびしいと思う

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活貧困別】

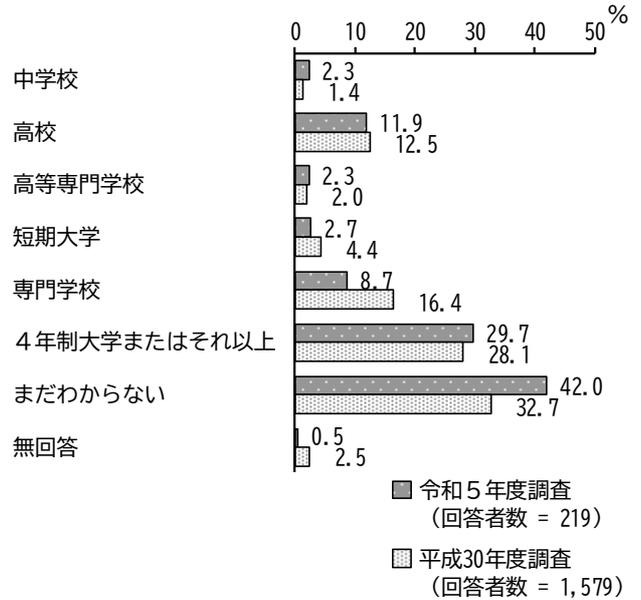
単位：%

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全体	219	31.5	36.1	31.5	0.9
生活困難層	17	29.4	35.3	35.3	—
非生活困難層	172	33.7	33.7	31.4	1.2

問 10 どの段階まで進学したいですか。(〇はひとつだけ)

「まだわからない」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「4年制大学またはそれ以上」の割合が 29.7%、「高校」の割合が 11.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「まだわからない」の割合が増加しています。一方、「専門学校」の割合が減少しています。



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	中学校	高校	高等専門学校	短期大学	専門学校	それ以上 4年制大学または	まだわからない	無回答
全 体	219	2.3	11.9	2.3	2.7	8.7	29.7	42.0	0.5
生活困難層	17	—	17.6	—	—	—	5.9	70.6	5.9
非生活困難層	172	1.7	12.2	2.9	3.5	9.3	29.7	40.7	—

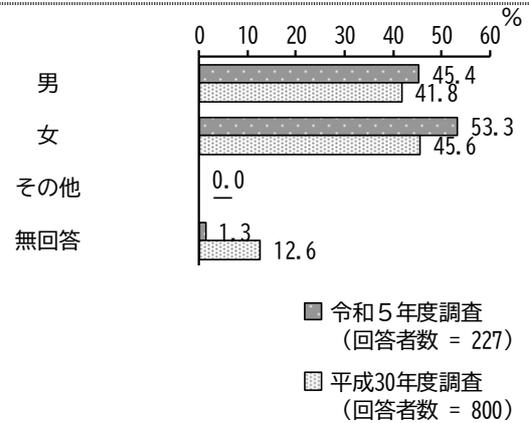
4 中学生本人

(1) 回答者属性

問1 あなたの性別を教えてください。(○はひとつだけ)

「男」の割合が 45.4%、「女」の割合が 53.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「女」の割合が増加しています。



※前回調査では、「その他」の選択肢はありませんでした。

【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	男	女	その他	無回答
全体	227	45.4	53.3	-	1.3
生活困難層	10	70.0	30.0	-	-
非生活困難層	191	47.6	51.3	-	1.0

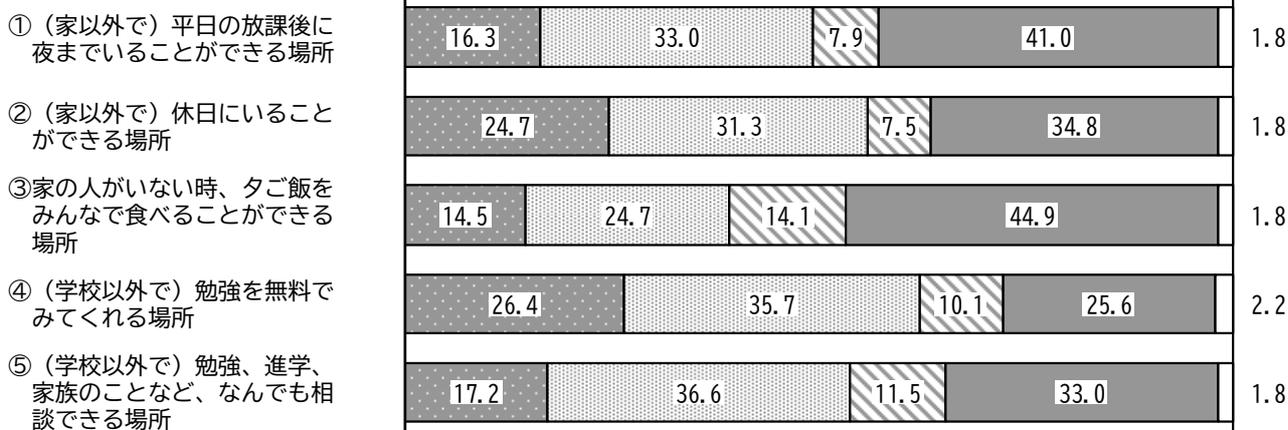
(2) 学校以外でのふだんの生活の状況について

問2 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。それぞれについて、○をひとつつけてください。

『③家の人がない時、夕ご飯をみんなで食べることができる場所』で「使う必要はない」の割合が、『④（学校以外で）勉強を無料でみってくれる場所』で「使ってみたい」の割合が高くなっています。また、『⑤（学校以外で）勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所』で「興味がある」の割合が高くなっています。

■使ってみたい □興味がある ▨使いたくない ■使う必要はない □無回答

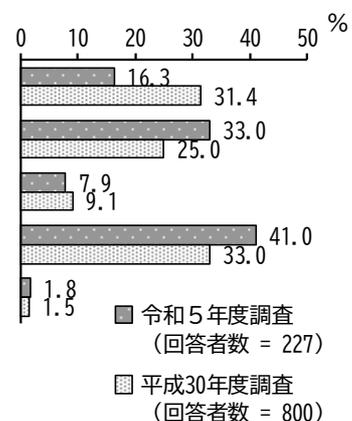
回答者数 = 227



①（家以外で）平日の放課後に夜までいることができる場所

平成30年度調査と比較すると、「興味がある」「使う必要はない」の割合が増加しています。一方、「使ってみたい」の割合が減少しています。

使ってみたい
興味がある
使いたくない
使う必要はない
無回答



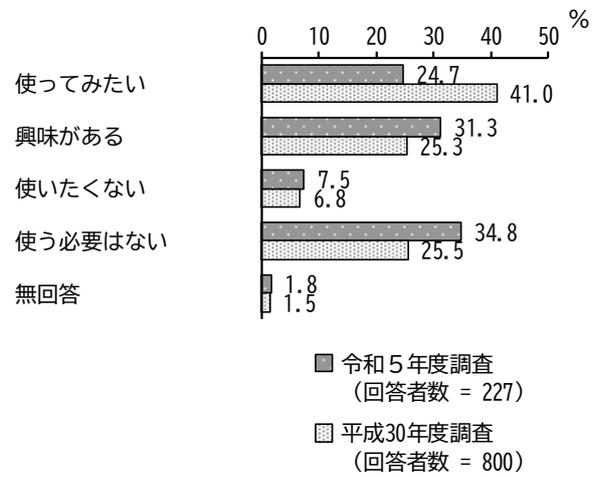
【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	無回答
全体	227	16.3	33.0	7.9	41.0	1.8
生活困難層	10	—	30.0	10.0	60.0	—
非生活困難層	191	17.3	33.0	8.4	39.8	1.6

② (家以外で) 休日にいることができる場所

平成 30 年度調査と比較すると、「興味がある」「使う必要はない」の割合が増加しています。一方、「使ってみたい」の割合が減少しています。



【生活貧困別】

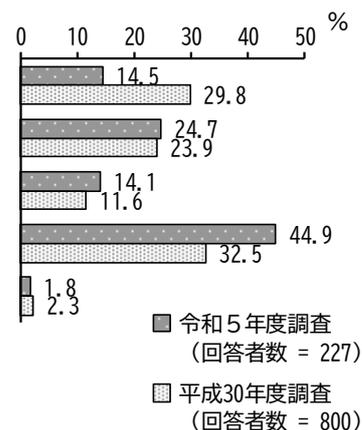
単位：％

区分	回答者数(件)	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	無回答
全体	227	24.7	31.3	7.5	34.8	1.8
生活困難層	10	10.0	10.0	10.0	70.0	—
非生活困難層	191	25.7	31.9	8.4	32.5	1.6

③家の人がいない時、夕ご飯をみんなで食べることができる場所

平成 30 年度調査と比較すると、「使う必要はない」の割合が増加しています。一方、「使ってみたい」の割合が減少しています。

使ってみたい
興味がある
使いたくない
使う必要はない
無回答



【生活貧困別】

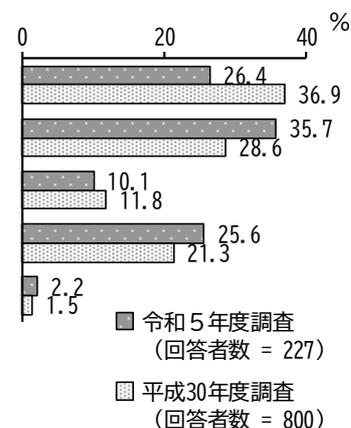
単位：％

区分	回答者数 (件)	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	無回答
全体	227	14.5	24.7	14.1	44.9	1.8
生活困難層	10	—	20.0	10.0	70.0	—
非生活困難層	191	15.2	25.1	14.1	44.0	1.6

④（学校以外で）勉強を無料でみてくれる場所

平成 30 年度調査と比較すると、「興味がある」の割合が増加しています。一方、「使ってみたい」の割合が減少しています。

使ってみたい
興味がある
使いたくない
使う必要はない
無回答



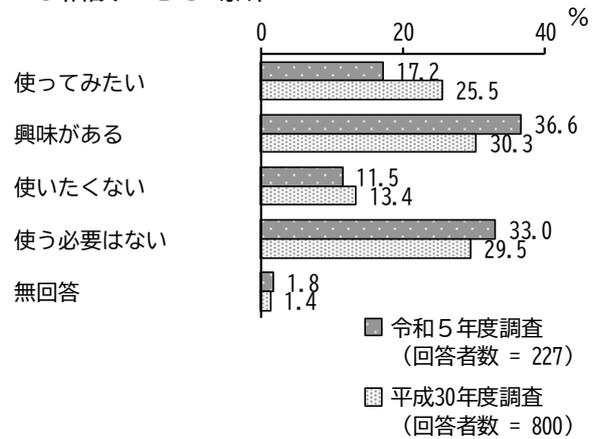
【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	無回答
全体	227	26.4	35.7	10.1	25.6	2.2
生活困難層	10	10.0	50.0	20.0	20.0	—
非生活困難層	191	26.7	35.1	9.9	26.2	2.1

⑤ (学校以外で) 勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所

平成 30 年度調査と比較すると、「興味がある」の割合が増加しています。一方、「使ってみたい」の割合が減少しています。



【生活貧困別】

単位：％

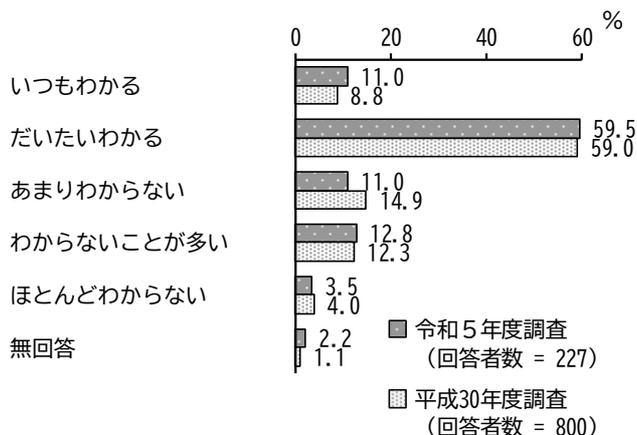
区分	回答者数(件)	使ってみたい	興味がある	使いたくない	使う必要はない	無回答
全体	227	17.2	36.6	11.5	33.0	1.8
生活困難層	10	10.0	50.0	—	40.0	—
非生活困難層	191	17.3	35.6	11.5	34.0	1.6

(3) 学校のことや勉強のことについて

問3 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(○はひとつだけ)

「だいたいわかる」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「わからないことが多い」の割合が 12.8%、「いつもわかる」、「あまりわからない」の割合が 11.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	いつもわかる	だいたいわかる	あまりわからない	わからないことが多い	ほとんどわからない	無回答
全体	227	11.0	59.5	11.0	12.8	3.5	2.2
生活困難層	10	—	40.0	—	50.0	10.0	—
非生活困難層	191	12.0	62.3	12.0	7.9	3.7	2.1

(4) いろいろな人とのかかわりについて

問4 人とのかかわりについて、ふだんどのように思っていますか。以下の①から⑤のことについて、あなたの気持ちに近いものひとつを選んで○をつけてください。

『②友達と仲良くしていると思う』で「とてもそう思う」の割合が、『③友達に好かれていると思う』で「少しはそう思う」の割合が高くなっています。また、『⑤学校の先生と話すのはうれしいと思う』で「そう思わない」の割合が高くなっています。

■ とてもそう思う □ 少しはそう思う ▨ そう思わない □ 無回答

回答者数 = 227

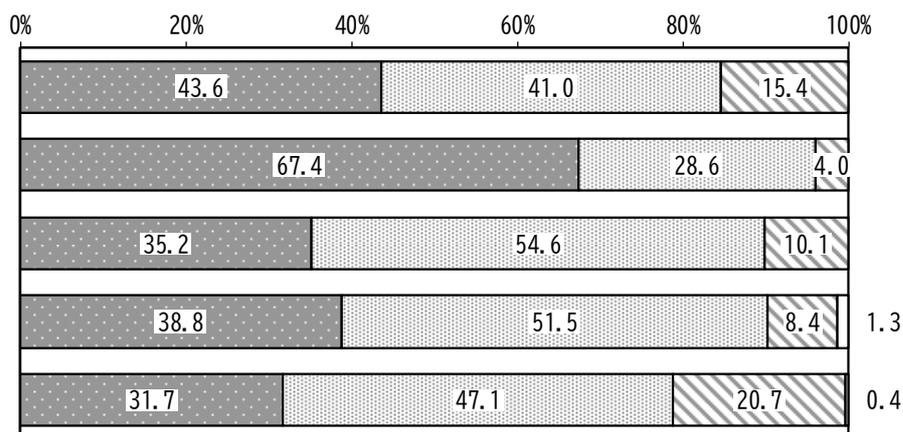
①友達とたくさん遊んでいると思う

②友達と仲良くしていると思う

③友達に好かれていると思う

④学校の先生からよいところを認められていると思う

⑤学校の先生と話すのはうれしいと思う



①友達とたくさん遊んでいると思う

【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	とてもそう思う	少しはそう思う	そう思わない	無回答
全体	227	43.6	41.0	15.4	—
生活困難層	10	50.0	20.0	30.0	—
非生活困難層	191	43.5	41.9	14.7	—

②友達と仲良くしていると思う

【生活貧困別】

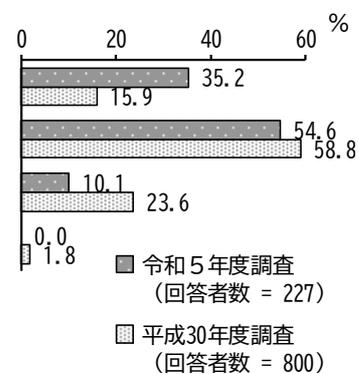
単位：％

区分	回答者数 (件)	とても そう思う	少しは そう思う	そう 思わない	無 回答
全 体	227	67.4	28.6	4.0	—
生活困難層	10	70.0	20.0	10.0	—
非生活困難層	191	69.6	27.2	3.1	—

③友達に好かれていると思う

平成 30 年度調査と比較すると、「とてもそう思う」の割合が増加しています。一方、「そう思わない」の割合が減少しています。

とてもそう思う
少しはそう思う
そう思わない
無回答



【生活貧困別】

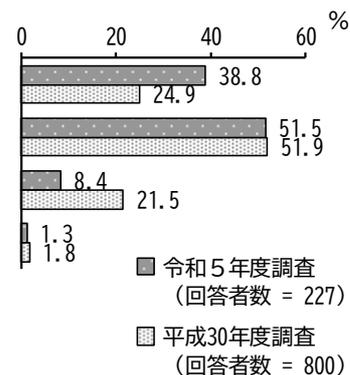
単位：％

区分	回答者数 (件)	とても そう思う	少しは そう思う	そう 思わない	無 回答
全 体	227	35.2	54.6	10.1	—
生活困難層	10	30.0	40.0	30.0	—
非生活困難層	191	36.1	56.0	7.9	—

④学校の先生からよいところを認められていると思う

平成 30 年度調査と比較すると、「とてもそう思う」の割合が増加しています。一方、「そう思わない」の割合が減少しています。

とてもそう思う
少しはそう思う
そう思わない
無回答



【生活貧困別】

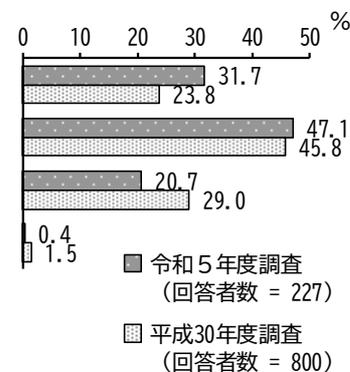
単位：%

区分	回答者数 (件)	とてもそう思う	少しはそう思う	そう思わない	無回答
全体	227	38.8	51.5	8.4	1.3
生活困難層	10	—	80.0	20.0	—
非生活困難層	191	42.4	48.7	7.3	1.6

⑤学校の先生と話すのはうれしいと思う

平成 30 年度調査と比較すると、「とてもそう思う」の割合が増加しています。一方、「そう思わない」の割合が減少しています。

とてもそう思う
少しはそう思う
そう思わない
無回答



【生活貧困別】

単位：%

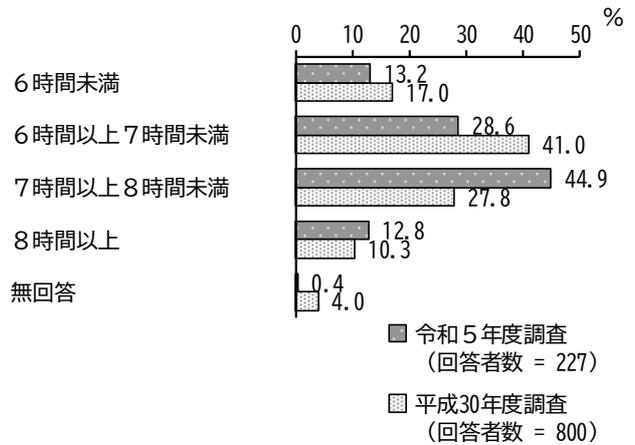
区分	回答者数 (件)	とてもそう思う	少しはそう思う	そう思わない	無回答
全体	227	31.7	47.1	20.7	0.4
生活困難層	10	10.0	70.0	20.0	—
非生活困難層	191	34.0	45.0	20.4	0.5

(5) あなたの健康状況について

問5 学校に行く日の睡眠時間を教えてください。(○はひとつだけ)

「7時間以上8時間未満」の割合が44.9%と最も高く、次いで「6時間以上7時間未満」の割合が28.6%、「6時間未満」の割合が13.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「7時間以上8時間未満」の割合が増加しています。一方、「6時間以上7時間未満」の割合が減少しています。



【生活貧困別】

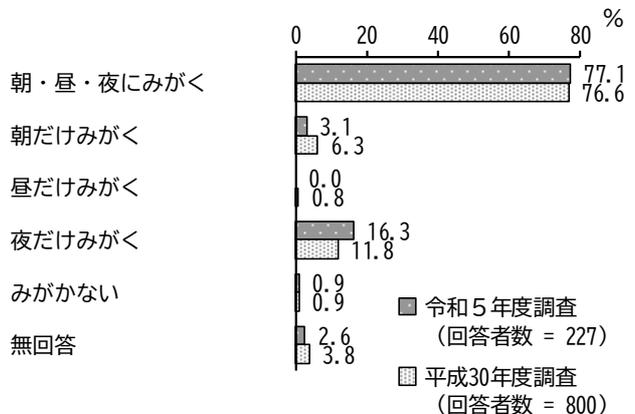
単位：%

区分	回答者数(件)	6時間未満	6時間以上7時間未満	7時間以上8時間未満	8時間以上	無回答
全体	227	13.2	28.6	44.9	12.8	0.4
生活困難層	10	10.0	30.0	50.0	10.0	—
非生活困難層	191	12.0	27.2	45.5	14.7	0.5

問6 あなたはいつ歯みがきをしますか。(○はひとつだけ)

「朝・昼・夜にみがく」の割合が77.1%と最も高く、次いで「夜だけみがく」の割合が16.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	朝・昼・夜に みがく	朝 だけみがく	昼 だけみがく	夜 だけみがく	みがかない	無回答
全 体	227	77.1	3.1	—	16.3	0.9	2.6
生活困難層	10	70.0	—	—	20.0	—	10.0
非生活困難層	191	77.0	3.7	—	16.2	1.0	2.1

問7 お風呂（または、シャワー）に入る回数はどのくらいですか。（○はひとつだけ）

「ほぼ毎日」の割合が 94.7%と最も高くなっています。

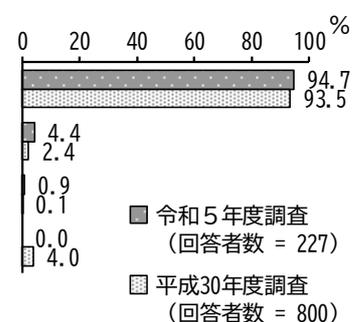
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

ほぼ毎日

2～3日に1回くらい

4日に1回か、それより少ない

無回答



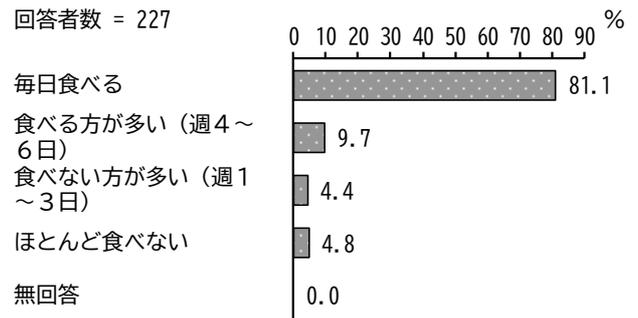
【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	ほぼ毎日	2～3日に1回 くらい	4日に1回か、 それより少ない	無回答
全 体	227	94.7	4.4	0.9	—
生活困難層	10	80.0	10.0	10.0	—
非生活困難層	191	95.8	3.7	0.5	—

問8 あなたは週にどのくらい朝食を食べていますか。(○はひとつだけ)

「毎日食べる」の割合が 81.1%と最も高くな
っています。 回答者数 = 227



【生活貧困別】

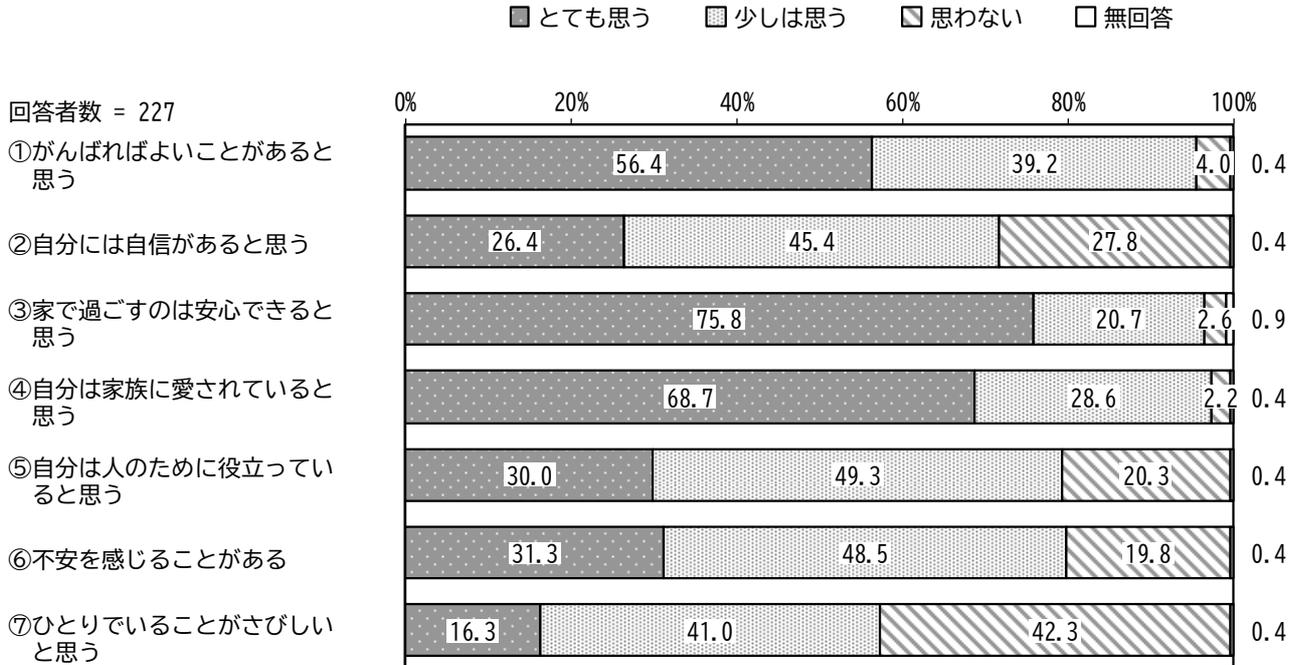
単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日食べる	食べる方が多い (週4~6日)	食べない方が多い (週1~3日)	ほとんど食べない	無回答
全 体	227	81.1	9.7	4.4	4.8	—
生活困難層	10	70.0	30.0	—	—	—
非生活困難層	191	81.7	8.4	5.2	4.7	—

(6) あなたがふだん考えていることについて

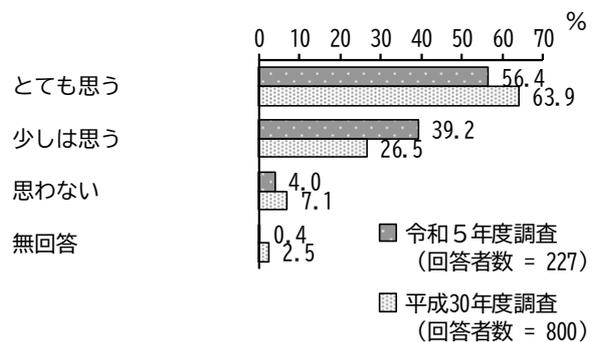
問9 あなたは、以下の①から⑦のことについて、どのように思いますか。それぞれについて、○をひとつつけてください。

『③家で過ごすのは安心できると思う』で「とても思う」の割合が、『⑤自分は人のために役立っていると思う』で「少しは思う」の割合が高くなっています。また、『⑦ひとりであることがさびしいと思う』で「思わない」の割合が高くなっています。



①がんばればよいことがあると思う

平成30年度調査と比較すると、「少しは思う」の割合が増加しています。一方、「とても思う」の割合が減少しています。



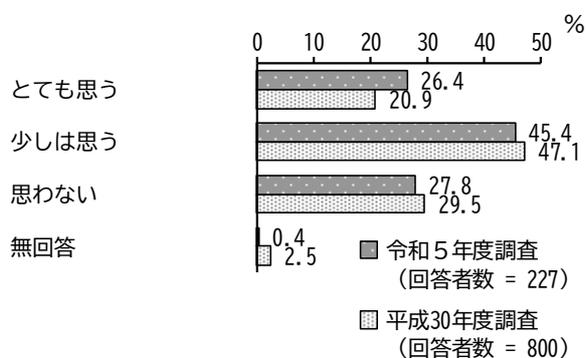
【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全 体	227	56.4	39.2	4.0	0.4
生活困難層	10	30.0	60.0	10.0	—
非生活困難層	191	58.6	36.6	4.2	0.5

②自分には自信があると思う

平成 30 年度調査と比較すると、「とても思う」の割合が増加しています。



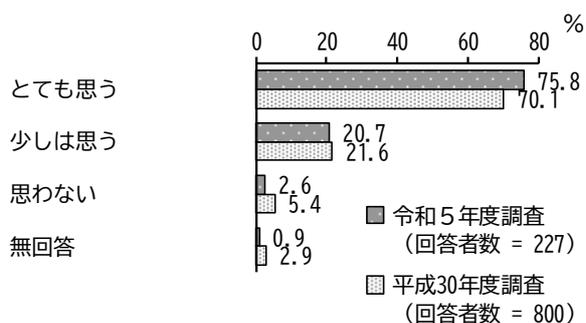
【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全 体	227	26.4	45.4	27.8	0.4
生活困難層	10	10.0	60.0	30.0	—
非生活困難層	191	28.8	44.5	26.2	0.5

③家で過ごすのは安心できると思う

平成 30 年度調査と比較すると、「とても思う」の割合が増加しています。



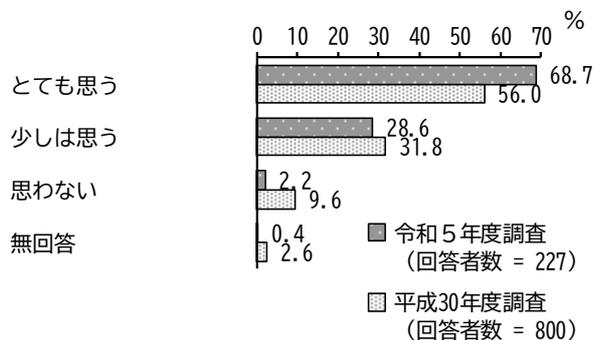
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全 体	227	75.8	20.7	2.6	0.9
生活困難層	10	90.0	10.0	—	—
非生活困難層	191	75.9	19.9	3.1	1.0

④自分は家族に愛されていると思う

平成 30 年度調査と比較すると、「とても思う」の割合が増加しています。一方、「思わない」の割合が減少しています。



【生活貧困別】

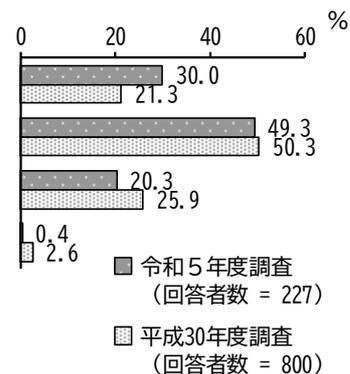
単位：%

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全 体	227	68.7	28.6	2.2	0.4
生活困難層	10	70.0	30.0	—	—
非生活困難層	191	70.7	26.7	2.1	0.5

⑤自分は人のために役立っていると思う

平成 30 年度調査と比較すると、「とても思う」の割合が増加しています。一方、「思わない」の割合が減少しています。

とても思う
少しは思う
思わない
無回答



【生活貧困別】

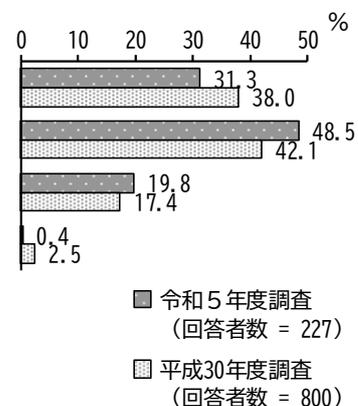
単位：%

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全体	227	30.0	49.3	20.3	0.4
生活困難層	10	20.0	50.0	30.0	—
非生活困難層	191	33.0	47.6	18.8	0.5

⑥不安を感じることもある

平成 30 年度調査と比較すると、「少しは思う」の割合が増加しています。一方、「とても思う」の割合が減少しています。

とても思う
少しは思う
思わない
無回答



【生活貧困別】

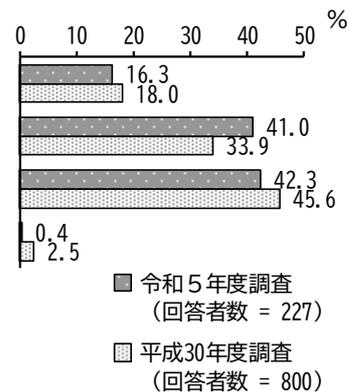
単位：%

区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全体	227	31.3	48.5	19.8	0.4
生活困難層	10	30.0	20.0	50.0	—
非生活困難層	191	30.4	51.3	17.8	0.5

⑦ひとりであることがさびしいと思う

平成 30 年度調査と比較すると、「少しは思う」の割合が増加しています。

とても思う
 少しは思う
 思わない
 無回答



【生活貧困別】

単位：%

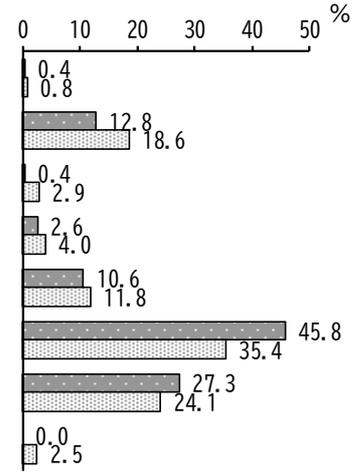
区分	回答者数 (件)	とても思う	少しは思う	思わない	無回答
全体	227	16.3	41.0	42.3	0.4
生活困難層	10	10.0	30.0	60.0	—
非生活困難層	191	17.3	40.8	41.4	0.5

問10 どの段階まで進学したいですか。(〇はひとつだけ)

「4年制大学またはそれ以上」の割合が45.8%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が27.3%、「高校」の割合が12.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「4年制大学またはそれ以上」の割合が増加しています。一方、「高校」の割合が減少しています。

中学校
高校
高等専門学校
短期大学
専門学校
4年制大学またはそれ以上
まだわからない
無回答



■ 令和5年度調査 (回答者数 = 227)
 □ 平成30年度調査 (回答者数 = 800)

【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	中学校	高校	高等専門学校	短期大学	専門学校	4年制大学またはそれ以上	まだわからない	無回答
全体	227	0.4	12.8	0.4	2.6	10.6	45.8	27.3	—
生活困難層	10	—	40.0	—	10.0	20.0	30.0	—	—
非生活困難層	191	0.5	10.5	0.5	2.6	9.4	47.6	28.8	—

5 小学生保護者

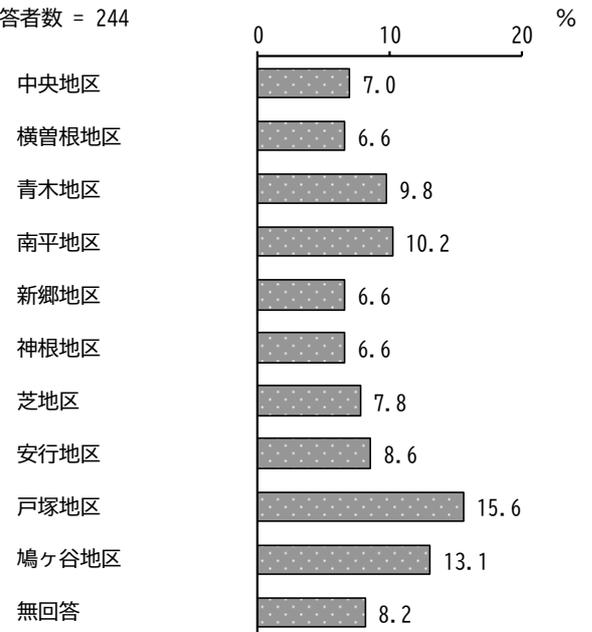
※子どもの生活実態調査における、小学生保護者の集計については、平成 30 年度調査と比較するため小学5年生保護者を抽出し集計をしています。

(1) 子どもと家族の状況について

問1 お住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

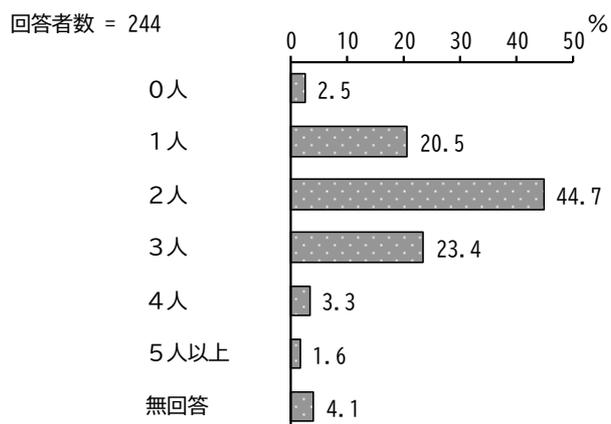
「戸塚地区」の割合が 15.6%と最も高く、次いで「鳩ヶ谷地区」の割合が 13.1%、「南平地区」の割合が 10.2%となっています。

回答者数 = 244



問3 あて名のお子さんのきょうだいは、何人いますか。2人以上のお子さんがいる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。（内に数字でご記入ください。）

「2人」の割合が44.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が23.4%、「1人」の割合が20.5%となっています。



【生活貧困別】

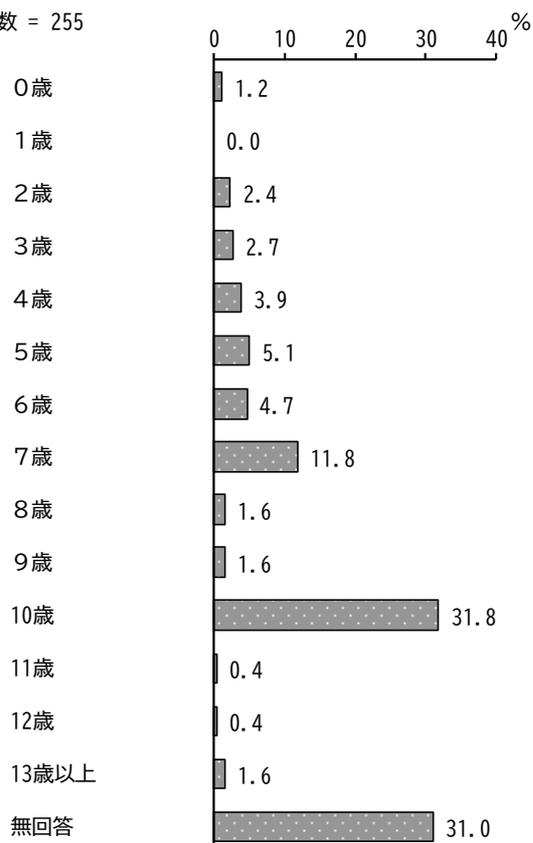
単位：%

区分	回答者数 (件)	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体	244	2.5	20.5	44.7	23.4	3.3	1.6	4.1
生活困難層	21	—	9.5	57.1	23.8	4.8	4.8	—
非生活困難層	203	3.0	22.2	45.3	25.1	3.0	1.5	—

きょうだいの年齢

「10歳」の割合が31.8%と最も高く、次いで「7歳」の割合が11.8%となっています。

回答者数 = 255



【生活貧困別】

単位：%

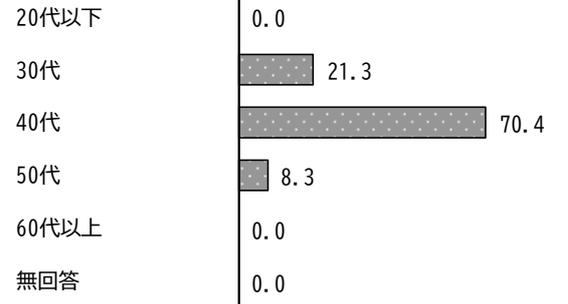
区分	回答者数(件)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳以上	無回答
全体	255	1.2	—	2.4	2.7	3.9	5.1	4.7	11.8	1.6	1.6	31.8	0.4	0.4	1.6	31.0
生活困難層	21	—	—	4.8	—	9.5	4.8	9.5	23.8	—	4.8	23.8	—	—	—	19.0
非生活困難層	203	1.0	—	2.5	3.4	3.9	5.9	4.4	11.3	2.0	1.5	36.0	—	0.5	2.0	25.6

問4 あて名のお子さんの母親、父親の現在の年齢を教えてください。
(それぞれ○は1つ)

①母親

回答者数 = 240

「40代以上」の割合が70.4%と最も高く、次いで「30代」の割合が21.3%となっています。



【生活貧困別】

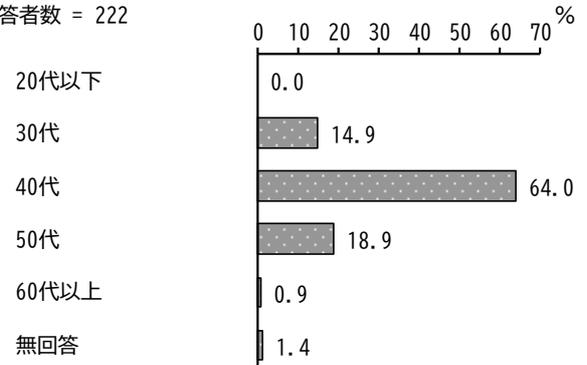
単位：%

区分	回答者数 (件)	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	無回答
全体	240	—	21.3	70.4	8.3	—	—
生活困難層	20	—	55.0	40.0	5.0	—	—
非生活困難層	200	—	17.5	73.5	9.0	—	—

②父親

「40代以上」の割合が64.0%と最も高く、次いで「50代」の割合が18.9%、「30代」の割合が14.9%となっています。

回答者数 = 222

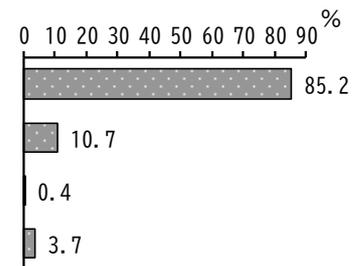


問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

「母親」の割合が 85.2%、「父親」の割合が 10.7%となっています。

回答者数 = 244

母親
父親
その他
無回答



【生活貧困別】

単位：%

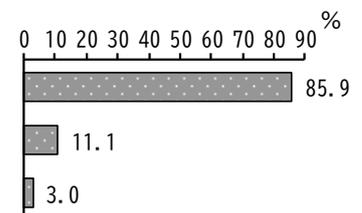
区分	回答者数 (件)	母親	父親	その他	無回答
全体	244	85.2	10.7	0.4	3.7
生活困難層	21	76.2	14.3	-	9.5
非生活困難層	203	86.2	11.3	0.5	2.0

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶者、パートナーの有無についてお答えください。(〇は1つ)

「配偶者（パートナー）がいる」の割合が 85.9%、「配偶者（パートナー）はいない」の割合が 11.1%となっています。

回答者数 = 234

配偶者（パートナー）がいる
配偶者（パートナー）はいない
無回答



【生活貧困別】

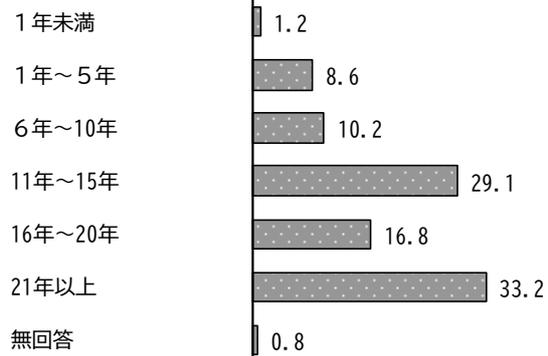
単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者（パートナー）がいる	配偶者（パートナー）はいない	無回答
全体	234	85.9	11.1	3.0
生活困難層	19	36.8	57.9	5.3
非生活困難層	198	91.4	5.6	3.0

問7 川口市に通算で何年お住まいですか。(○は1つ)

「21年以上」の割合が33.2%と最も高く、次いで「11年～15年」の割合が29.1%、「16年～20年」の割合が16.8%となっています。

回答者数 = 244



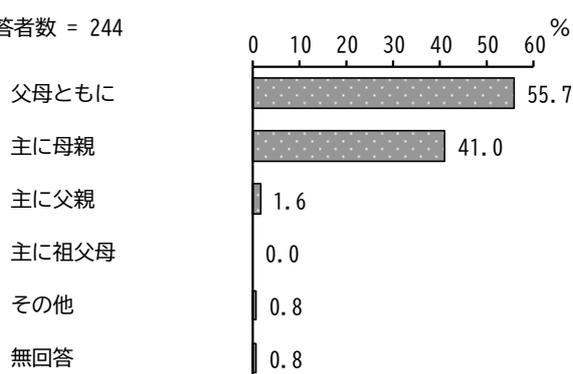
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	1年未満	6年～10年	16年～20年	1年～5年	11年～15年	21年以上	無回答
全体	244	1.2	8.6	10.2	29.1	16.8	33.2	0.8
生活困難層	21	—	14.3	—	28.6	19.0	38.1	—
非生活困難層	203	1.5	7.9	10.3	29.1	17.7	33.0	0.5

問8 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。
 あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

「父母ともに」の割合が 55.7%と最も高く、回答者数 = 244
 次いで「主に母親」の割合が 41.0%となっています。



【生活貧困別】

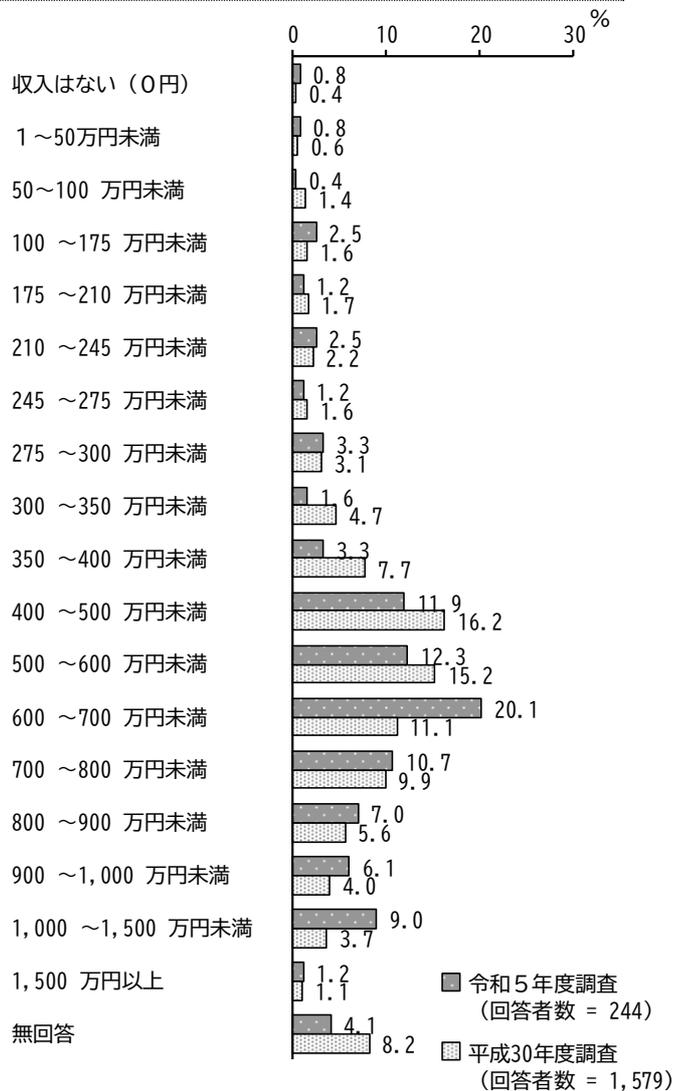
単位：%

区分	回答者数(件)	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全体	244	55.7	41.0	1.6	—	0.8	0.8
生活困難層	21	14.3	76.2	4.8	—	4.8	—
非生活困難層	203	60.1	37.4	1.5	—	0.5	0.5

問9 昨年1年間（2022年1月～2022年12月）のご家族の手取り収入（税金や保険料を引いた、実際に手元に入ってくるお金）の額を教えてください。（就労で得た収入のほか、公的な手当や援助による収入なども含めた1年間の手取り収入になります。）（○は1つ）

「600～700万円未満」の割合が20.1%と最も高く、次いで「500～600万円未満」の割合が12.3%、「400～500万円未満」の割合が11.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「600～700万円未満」「1,000～1,500万円未満」の割合が増加しています。



【生活貧困別】

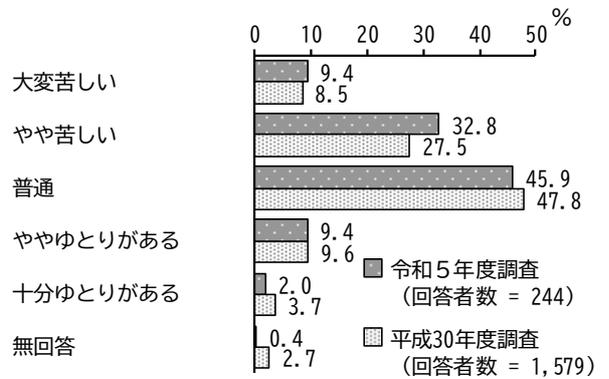
単位：％

区分	回答者数(件)	収入はない(0円)	1～50万円未満	50～100万円未満	100～175万円未満	175～210万円未満	210～245万円未満	245～275万円未満	275～300万円未満	300～350万円未満
全体	244	0.8	0.8	0.4	2.5	1.2	2.5	1.2	3.3	1.6
生活困難層	21	9.5	4.8	4.8	28.6	14.3	28.6	4.8	4.8	—
非生活困難層	203	—	—	—	—	—	—	0.5	3.0	2.0

区分	350～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上	無回答
全体	3.3	11.9	12.3	20.1	10.7	7.0	6.1	9.0	1.2	4.1
生活困難層	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非生活困難層	3.4	13.8	14.3	23.6	12.8	7.9	6.9	10.3	1.5	—

問10 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(〇は1つ)

「普通」の割合が45.9%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が32.8%となっています。平成30年度調査と比較すると、「やや苦しい」の割合が増加しています。



【生活貧困別】

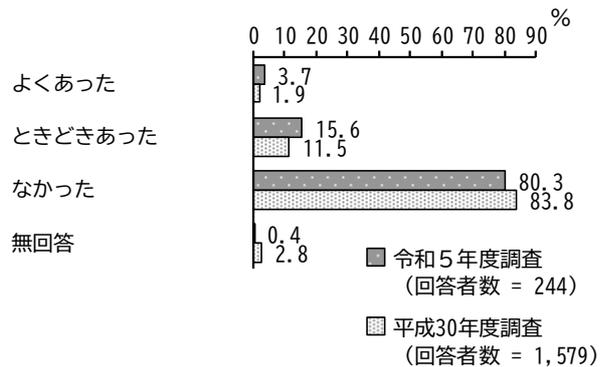
単位：％

区分	回答者数(件)	大変苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとりがある	十分ゆとりがある	無回答
全体	244	9.4	32.8	45.9	9.4	2.0	0.4
生活困難層	21	47.6	38.1	9.5	4.8	—	—
非生活困難層	203	5.4	33.0	48.8	10.8	2.0	—

問11 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料または衣類が買えないことがありましたか。(○は1つ)

「なかった」の割合が80.3%と最も高く、次いで「ときどきあった」の割合が15.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活貧困別】

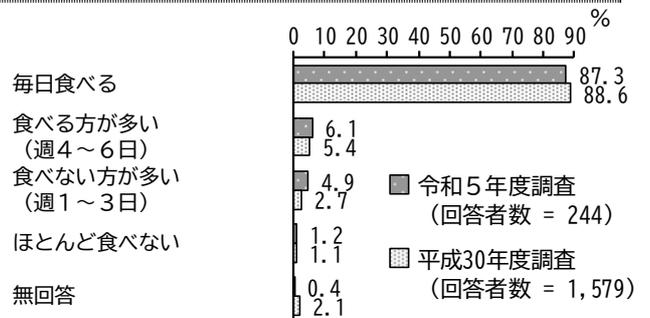
単位：%

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	なかった	無回答
全体	244	3.7	15.6	80.3	0.4
生活困難層	21	14.3	61.9	23.8	—
非生活困難層	203	3.0	10.8	86.2	—

問12 お子さんは、普段、朝食を食べていますか。この1か月を振り返って、最も当てはまる番号を選んでください。(○は1つ)

「毎日食べる」の割合が87.3%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	毎日食べる	食べる方が多い (週4~6日)	食べない方が多い (週1~3日)	ほとんど食べない	無回答
全体	244	87.3	6.1	4.9	1.2	0.4
生活困難層	21	81.0	4.8	9.5	4.8	—
非生活困難層	203	88.2	6.9	4.4	0.5	—

(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問13 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族、知人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

「緊急時もしくは用事的时候には祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が48.0%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事的时候には子どもをみてもらえる友人、知人がいる」の割合が31.1%、「だれもいない」の割合が19.3%となっています。

回答者数 = 244

日常的に祖父母などの親族にみてもらえる

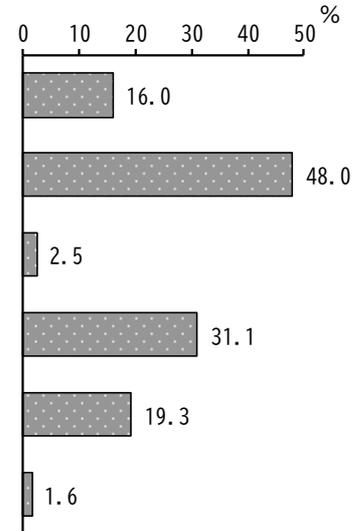
緊急時もしくは用事的时候には祖父母などの親族にみてもらえる

日常的に子どもをみてもらえる友人、知人がいる

緊急時もしくは用事的时候には子どもをみてもらえる友人、知人がいる

だれもいない

無回答



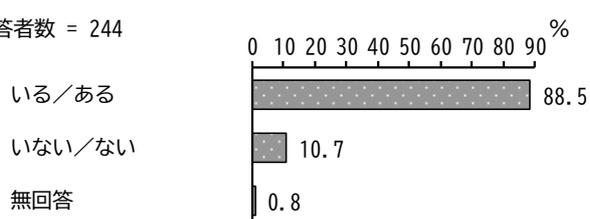
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事的时候には祖父母などの親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人、知人がいる	緊急時もしくは用事的时候には子どもをみてもらえる友人、知人がいる	だれもいない	無回答
全体	244	16.0	48.0	2.5	31.1	19.3	1.6
生活困難層	21	9.5	52.4	—	23.8	9.5	9.5
非生活困難層	203	16.7	48.8	3.0	32.0	18.2	1.0

問 14 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。(○は1つ)

「いる／ある」の割合が88.5%、「いない／ない」の割合が10.7%となっています。 回答者数 = 244



【生活貧困別】

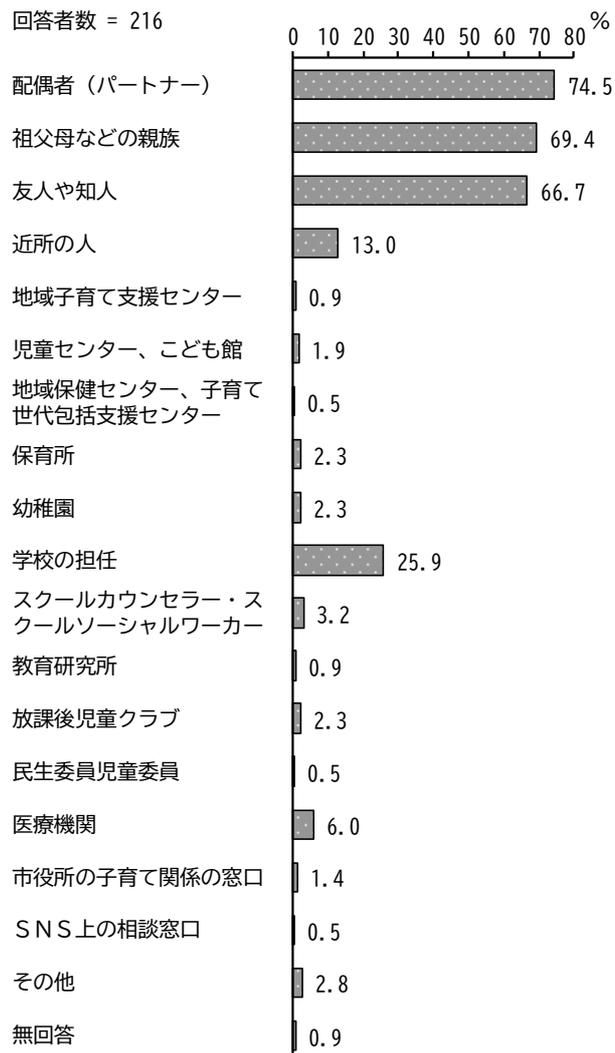
単位：%

区分	回答者数 (件)	いる／ある	いない／ない	無回答
全 体	244	88.5	10.7	0.8
生活困難層	21	85.7	14.3	—
非生活困難層	203	89.7	9.9	0.5

問 14-1 あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

「配偶者（パートナー）」の割合が74.5%と最も高く、次いで「祖父母などの親族」の割合が69.4%、「友人や知人」の割合が66.7%となっています。

回答者数 = 216



【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	配偶者(パートナー)	祖父母などの親族	友人や知人	近所の人	地域子育て支援センター	児童センター、こども館	地域保健センター、子育て世代包括支援センター	保育所	幼稚園
全体	216	74.5	69.4	66.7	13.0	0.9	1.9	0.5	2.3	2.3
生活困難層	18	22.2	66.7	61.1	11.1	—	—	—	11.1	—
非生活困難層	182	79.7	69.8	67.6	13.7	1.1	2.2	0.5	1.6	2.7

区分	幼稚園	学校の担任	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	教育研究所	放課後児童クラブ	民生委員児童委員	医療機関	市役所の子育て関係の窓口	SNS上の相談窓	その他	無回答
全体	25.9	3.2	0.9	2.3	0.5	6.0	1.4	0.5	2.8	0.9	25.9
生活困難層	16.7	—	—	5.6	5.6	5.6	—	—	5.6	5.6	16.7
非生活困難層	26.9	3.8	1.1	2.2	—	6.0	1.6	0.5	2.7	0.5	26.9

問 15 今後、あて名のお子さんの子育てに関して困りごとが出てきた場合、どのような手段で相談したいですか。(あてはまるものすべてに○)

「対面」、「いずれの方法でも相談しない」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「電話」の割合が 30.8%となっています。

回答者数 = 26

対面

電話

メール

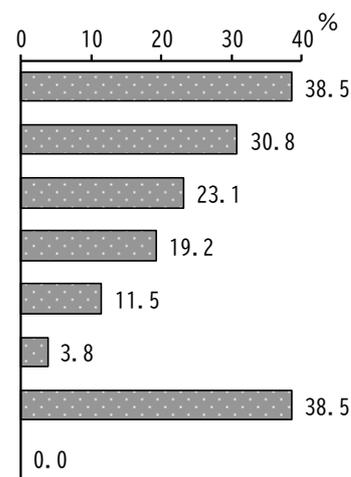
オンライン

自宅などへの訪問支援

その他

いずれの方法でも相談しない

無回答



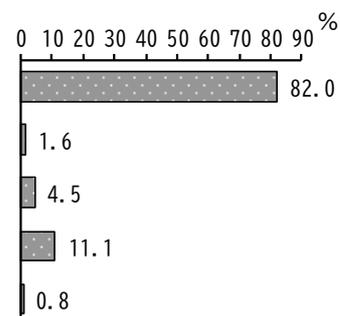
問 16 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることがありますか。
 (それぞれ最もあてはまるものに○を1つ)

海水浴・プールに行く

「ある」の割合が 82.0%と最も高く、次いで
 「ない(その他の理由で)」の割合が11.1%とな
 っています。

回答者数 = 244

ある
 ない(金銭的な理由で)
 ない(時間の制約で)
 ない(その他の理由で)
 無回答



【生活貧困別】

単位：%

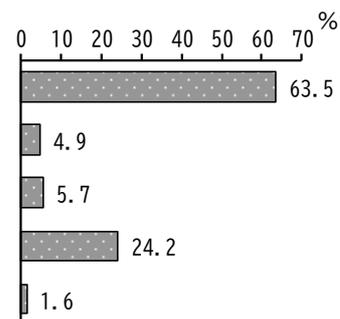
区分	回答者数(件)	ある	ない(金銭的な理由で)	ない(時間の制約で)	ない(その他の理由で)	無回答
全 体	244	82.0	1.6	4.5	11.1	0.8
生活困難層	21	71.4	4.8	4.8	14.3	4.8
非生活困難層	203	83.3	1.5	4.4	10.3	0.5

博物館・科学館・美術館などに行く

「ある」の割合が 63.5%と最も高く、次いで「ない（その他の理由で）」の割合が 24.2%となっています。

回答者数 = 244

- ある
- ない（金銭的な理由で）
- ない（時間の制約で）
- ない（その他の理由で）
- 無回答



【生活貧困別】

単位：%

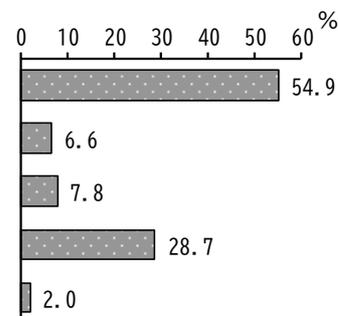
区分	回答者数 (件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全 体	244	63.5	4.9	5.7	24.2	1.6
生活困難層	21	19.0	19.0	4.8	52.4	4.8
非生活困難層	203	68.5	3.4	5.9	20.7	1.5

キャンプやバーベキューに行く

「ある」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「ない（その他の理由で）」の割合が 28.7%となっています。

回答者数 = 244

- ある
- ない（金銭的な理由で）
- ない（時間の制約で）
- ない（その他の理由で）
- 無回答



【生活貧困別】

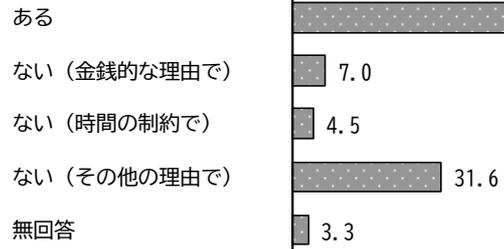
単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全 体	244	54.9	6.6	7.8	28.7	2.0
生活困難層	21	42.9	19.0	4.8	28.6	4.8
非生活困難層	203	57.1	4.9	7.9	28.6	1.5

スポーツ観戦や劇場に行く

「ある」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「ない（その他の理由で）」の割合が 31.6%となっています。

回答者数 = 244



【生活貧困別】

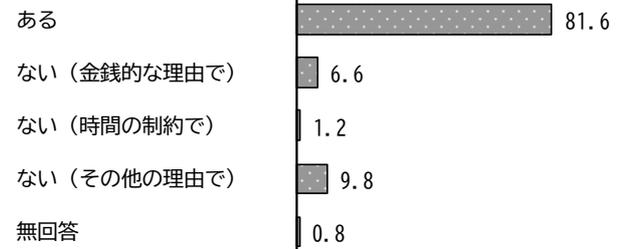
単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全 体	244	53.7	7.0	4.5	31.6	3.3
生活困難層	21	38.1	19.0	4.8	33.3	4.8
非生活困難層	203	56.2	4.9	4.4	31.5	3.0

習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる

「ある」の割合が 81.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 244



【生活貧困別】

単位：%

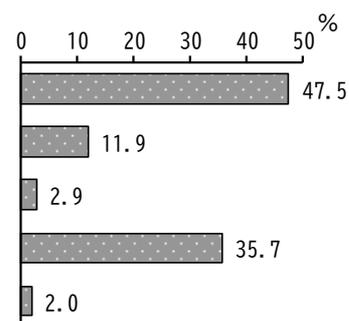
区分	回答者数 (件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全 体	244	81.6	6.6	1.2	9.8	0.8
生活困難層	21	47.6	23.8	—	23.8	4.8
非生活困難層	203	85.2	4.4	1.0	8.9	0.5

学習塾に通わせる

「ある」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「ない（その他の理由で）」の割合が 35.7%、「ない（金銭的な理由で）」の割合が 11.9%となっています。

回答者数 = 244

ある
ない（金銭的な理由で）
ない（時間の制約で）
ない（その他の理由で）
無回答



【生活貧困別】

単位：%

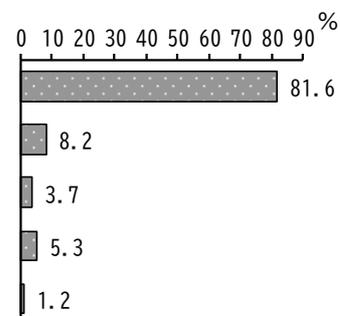
区分	回答者数 (件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全体	244	47.5	11.9	2.9	35.7	2.0
生活困難層	21	28.6	38.1	4.8	23.8	4.8
非生活困難層	203	49.3	8.9	3.0	36.9	2.0

1年に1回程度家族旅行に行く

「ある」の割合が 81.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 244

ある
ない（金銭的な理由で）
ない（時間の制約で）
ない（その他の理由で）
無回答



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全体	244	81.6	8.2	3.7	5.3	1.2
生活困難層	21	57.1	28.6	—	14.3	—
非生活困難層	203	85.2	6.4	3.0	4.4	1.0

(3) 保護者の働く状況について

問 17 あて名のお子さんの保護者の現在の働く状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

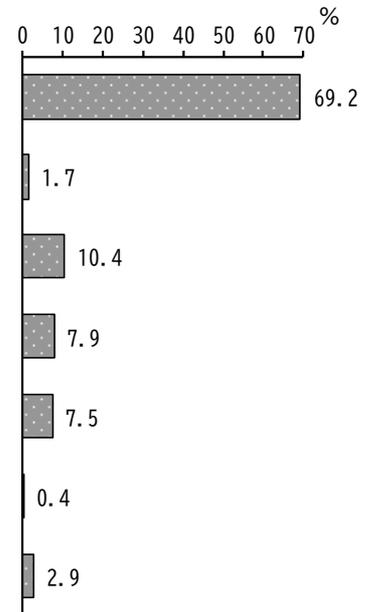
(1) 現在の働く状況は以下のどれですか。（それぞれ○は1つ）

①母親

「フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中ではない」の割合が 69.2%と最も高く、次いで「パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中ではない」の割合が 10.4%となっています。

回答者数 = 240

フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中ではない
 フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中である
 パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中ではない
 パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中である
 以前は働いていたが、今は働いていない
 これまで働いたことがない
 無回答



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中ではない	フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中である	パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中ではない	パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中である	以前は働いていたが、今は働いていない	これまで働いたことがない	無回答
全体	240	69.2	1.7	10.4	7.9	7.5	0.4	2.9
生活困難層	12	66.7	—	8.3	8.3	16.7	—	—
非生活困難層	208	68.8	1.9	11.1	7.2	7.2	0.5	3.4

②父親

「フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中ではない」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中である」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 222

フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中ではない

フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中である

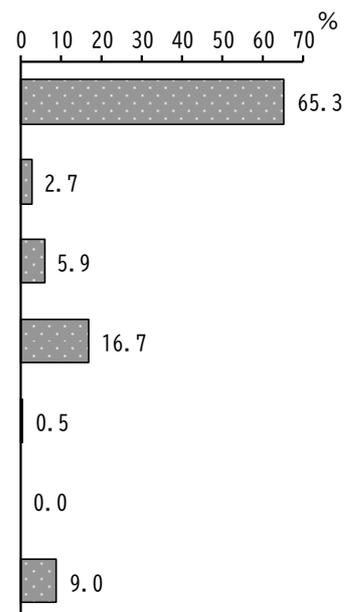
パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中ではない

パート、アルバイトなどで働いていて産休、育休、介護休業中である

以前は働いていたが、今は働いていない

これまで働いたことがない

無回答



③その他

「フルタイムで働いていて産休、育休、介護休業中ではない」が1件となっています。

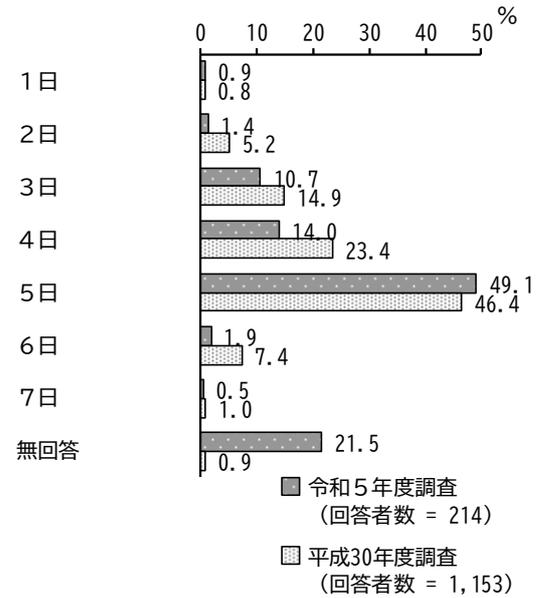
(2) 1週あたりの「働く日数」、1日あたりの「働く時間（残業時間を含む）」をお答えください。
 (内に数字でご記入ください。)

①母親

1週あたりの就労日数

「5日」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が 14.0%、「3日」の割合が 10.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「4日」「6日」の割合が減少しています。



【生活貧困別】

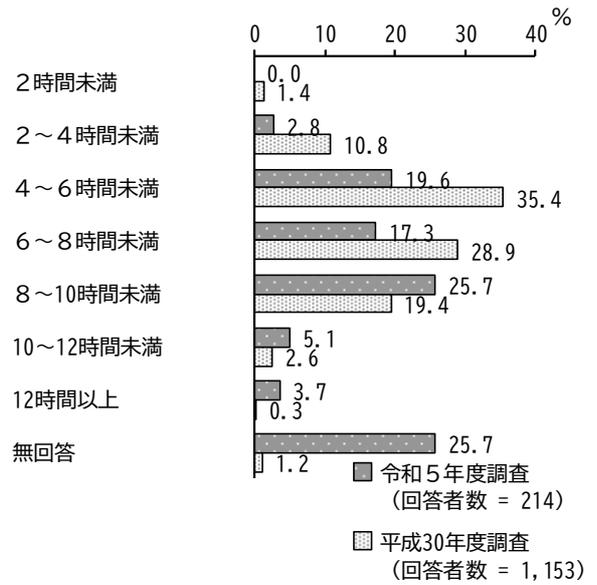
単位：%

区分	回答者数(件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全体	214	0.9	1.4	10.7	14.0	49.1	1.9	0.5	21.5
生活困難層	10	—	—	—	10.0	50.0	—	—	40.0
非生活困難層	185	1.1	1.6	11.9	14.6	48.1	1.6	0.5	20.5

1日当たりの就労時間

「8～10時間未満」の割合が25.7%と最も高く、次いで「4～6時間未満」の割合が19.6%、「6～8時間未満」の割合が17.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「8～10時間未満」の割合が増加しています。一方、「2～4時間未満」「4～6時間未満」「6～8時間未満」の割合が減少しています。



【生活貧困別】

単位：%

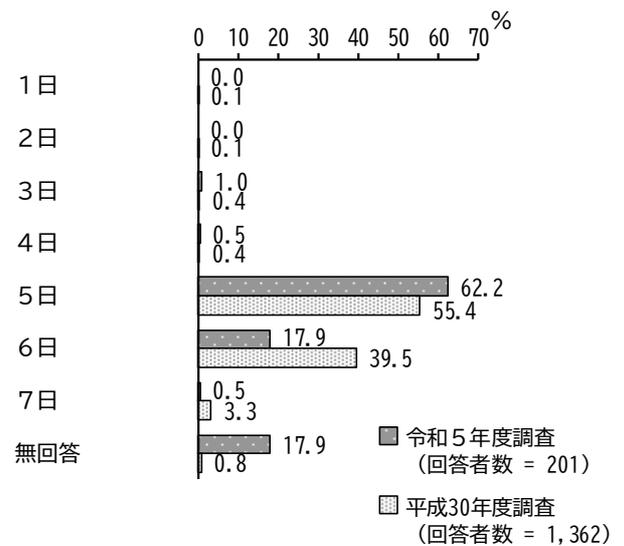
区分	回答者数(件)	2時間未満	2～4時間未満	4～6時間未満	6～8時間未満	8～10時間未満	10～12時間未満	12時間以上	無回答
全体	214	—	2.8	19.6	17.3	25.7	5.1	3.7	25.7
生活困難層	10	—	—	10.0	10.0	40.0	—	—	40.0
非生活困難層	185	—	3.2	20.5	17.3	25.4	4.9	4.3	24.3

②父親

1週当たりの就労日数

「5日」の割合が62.2%と最も高く、次いで「6日」の割合が17.9%となっています。

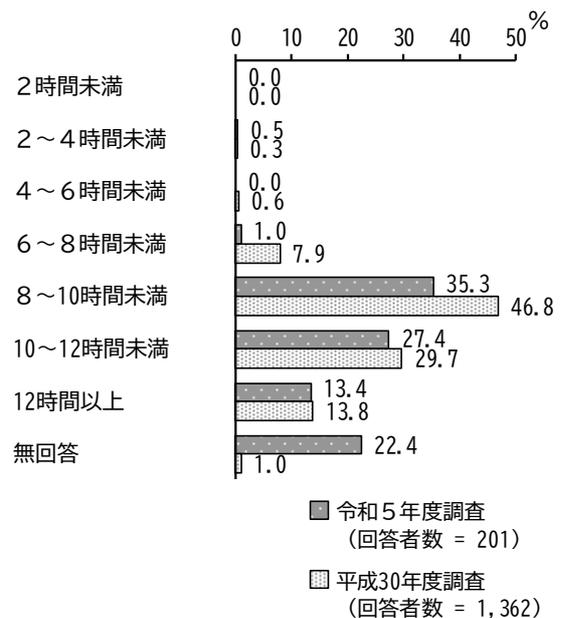
平成30年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。



1日当たりの就労時間

「8～10時間未満」の割合が35.3%と最も高く、次いで「10～12時間未満」の割合が27.4%、「12時間以上」の割合が13.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「6～8時間未満」「8～10時間未満」の割合が減少しています。



③その他

1週当たりの就労日数

有効回答がありませんでした。

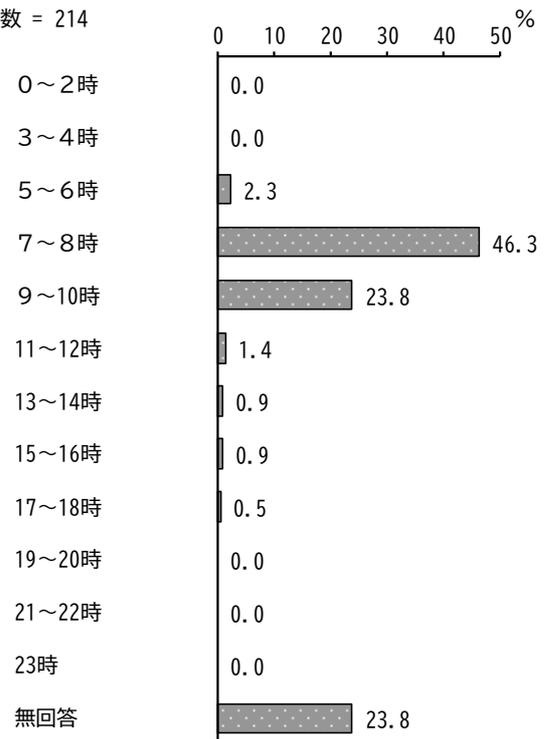
(3) 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(内に数字でご記入ください。)

①母親

家を出る時刻

「7～8時」の割合が46.3%と最も高く、次いで「9～10時」の割合が23.8%となっています。

回答者数 = 214



【生活貧困別】

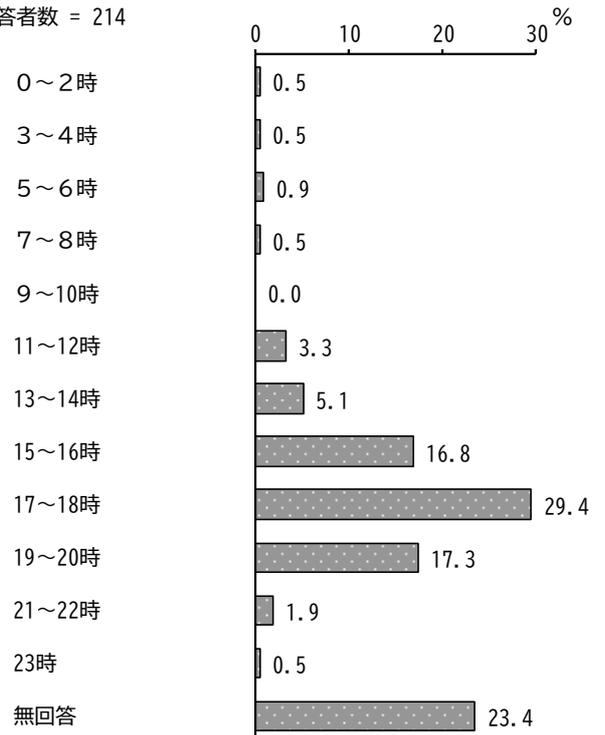
単位：%

区分	回答者数 (件)	0 ～ 2時	3 ～ 4時	5 ～ 6時	7 ～ 8時	9 ～ 10時	11 ～ 12時	13 ～ 14時	15 ～ 16時	17 ～ 18時	19 ～ 20時	21 ～ 22時	23時	無回答
全 体	214	—	—	2.3	46.3	23.8	1.4	0.9	0.9	0.5	—	—	—	23.8
生活困難層	10	—	—	—	40.0	20.0	—	—	—	—	—	—	—	40.0
非生活困難層	185	—	—	1.6	46.5	24.3	1.6	1.1	1.1	0.5	—	—	—	23.2

帰宅時刻

「17～18時」の割合が29.4%と最も高く、次いで「19～20時」の割合が17.3%、「15～16時」の割合が16.8%となっています。

回答者数 = 214



【生活貧困別】

単位：%

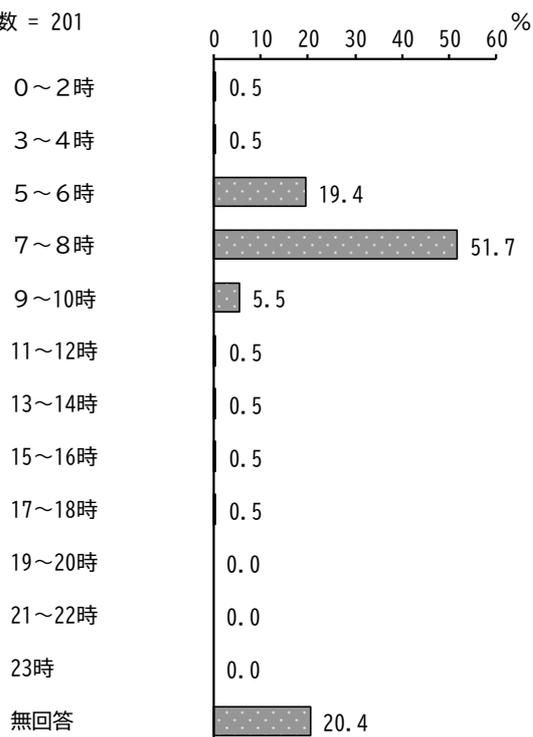
区分	回答者数(件)	0～2時	3～4時	5～6時	7～8時	9～10時	11～12時	13～14時	15～16時	17～18時	19～20時	21～22時	23時	無回答
全体	214	0.5	0.5	0.9	0.5	—	3.3	5.1	16.8	29.4	17.3	1.9	0.5	23.4
生活困難層	10	—	—	—	—	—	—	—	10.0	30.0	20.0	—	—	40.0
非生活困難層	185	0.5	0.5	1.1	0.5	—	3.8	5.4	16.8	30.8	15.7	1.6	0.5	22.7

②父親

家を出る時刻

「7～8時」の割合が51.7%と最も高く、次いで「5～6時」の割合が19.4%となっています。

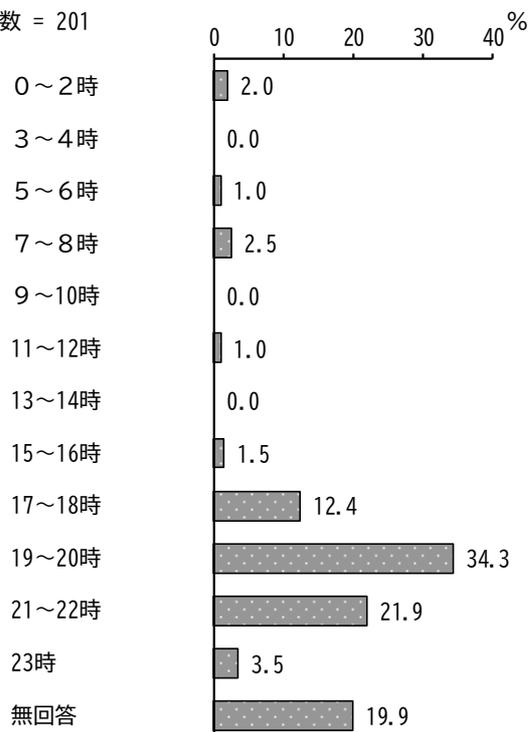
回答者数 = 201



帰宅時刻

「19～20時」の割合が34.3%と最も高く、次いで「21～22時」の割合が21.9%、「17～18時」の割合が12.4%となっています。

回答者数 = 201



③その他

家を出る時刻

有効回答がありませんでした。

帰宅時刻

有効回答がありませんでした。

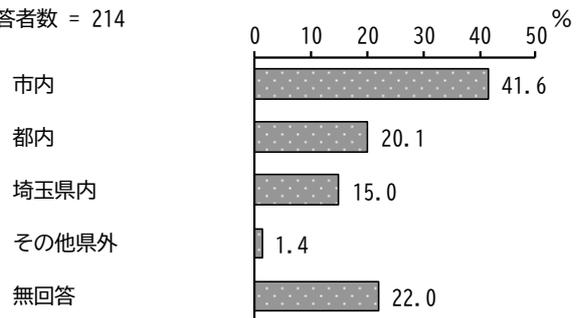
(4) 職場はどこにありますか。また、自宅から職場までの交通手段はどれですか。

①母親

勤務地 (○は1つ)

「市内」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「都内」の割合が 20.1%、「埼玉県内」の割合が 15.0%となっています。

回答者数 = 214



【生活貧困別】

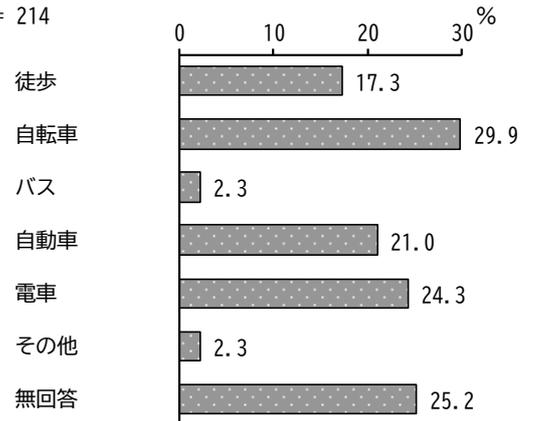
単位：%

区分	回答者数 (件)	市内	都内	埼玉県内	その他県外	無回答
全体	214	41.6	20.1	15.0	1.4	22.0
生活困難層	10	30.0	10.0	20.0	—	40.0
非生活困難層	185	43.2	19.5	14.6	1.6	21.1

通勤手段（あてはまるものすべてに○）

「自転車」の割合が 29.9%と最も高く、次いで「電車」の割合が 24.3%、「自動車」の割合が 21.0%となっています。

回答者数 = 214



【生活貧困別】

単位：%

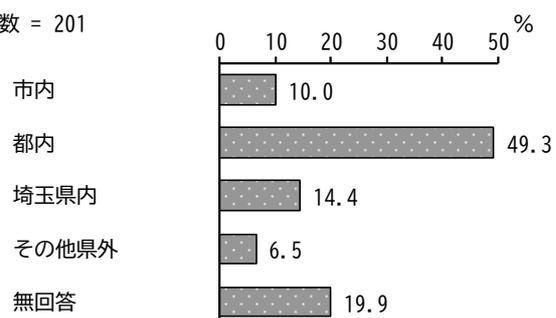
区分	回答者数 (件)	徒歩	自転車	バス	自動車	電車	その他	無回答
全体	214	17.3	29.9	2.3	21.0	24.3	2.3	25.2
生活困難層	10	—	10.0	—	30.0	10.0	—	50.0
非生活困難層	185	17.8	30.8	2.2	21.1	23.2	2.7	23.8

②父親

勤務地（○は1つ）

「都内」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「埼玉県内」の割合が 14.4%、「市内」の割合が 10.0%となっています。

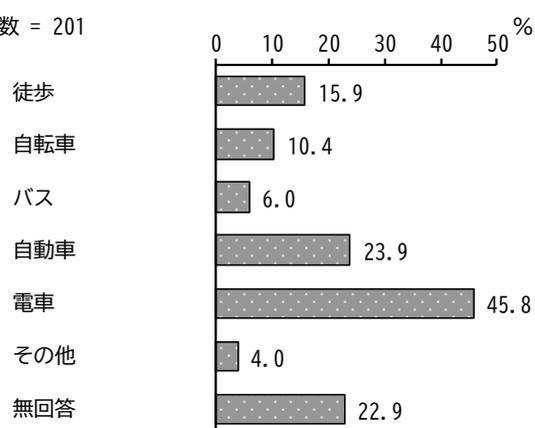
回答者数 = 201



通勤手段（あてはまるものすべてに○）

「電車」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「自動車」の割合が 23.9%、「徒歩」の割合が 15.9%となっています。

回答者数 = 201



③その他

勤務地（○は1つ）

有効回答がありませんでした。

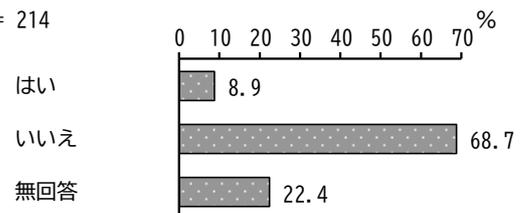
通勤手段（あてはまるものすべてに○）

有効回答がありませんでした。

(5) 過去1か月の間に自宅でテレワークを行いましたか。(○は1つ)

①母親

「はい」の割合が8.9%、「いいえ」の割合が68.7%となっています。回答者数 = 214



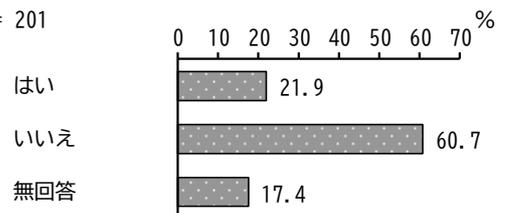
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全体	214	8.9	68.7	22.4
生活困難層	10	10.0	60.0	30.0
非生活困難層	185	9.7	68.1	22.2

②父親

「はい」の割合が21.9%、「いいえ」の割合が60.7%となっています。回答者数 = 201



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全体	201	21.9	60.7	17.4
生活困難層	8	—	75.0	25.0
非生活困難層	179	24.0	59.8	16.2

③その他

有効回答がありません。

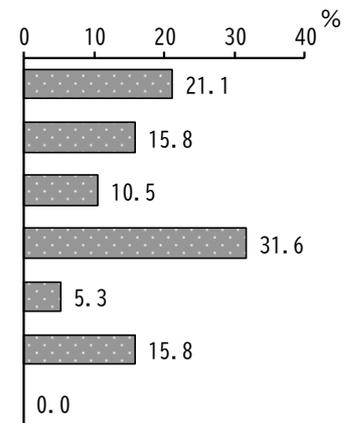
(6) 概ねどれくらいの頻度でテレワークを行いましたか。(○は1つ)

①母親

「週2日」の割合が31.6%と最も高く、次いで「週5日以上」の割合が21.1%、「週4日」、「月に数回以下」の割合が15.8%となっています。

回答者数 = 19

週5日以上
週4日
週3日
週2日
週1日
月に数回以下
無回答

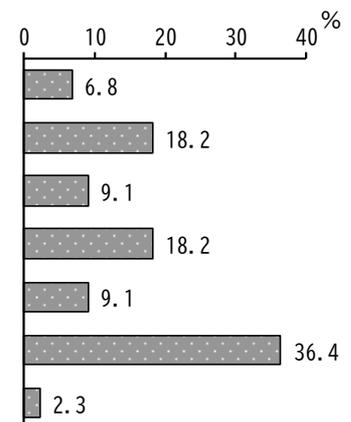


②父親

「月に数回以下」の割合が36.4%と最も高く、次いで「週4日」、「週2日」の割合が18.2%となっています。

回答者数 = 44

週5日以上
週4日
週3日
週2日
週1日
月に数回以下
無回答



③その他

有効回答がありませんでした。

(7) フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ。 内に数字でご記入ください。)

①母親

「パート、アルバイトなどで働き続けることを希望」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 11.4%となっています。

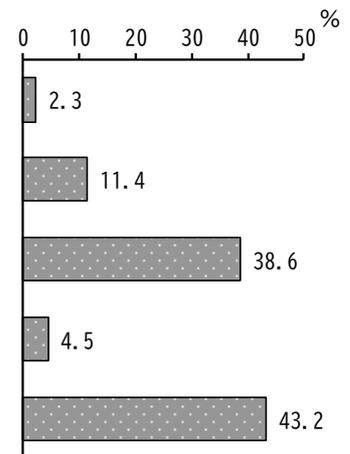
回答者数 = 44

フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート、アルバイトなどで働き続けることを希望

パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

無回答



フルタイムへの転換を実現できる見込みの時期 (子どもの年齢)

「2歳」が1件となっています。

②父親

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が 4.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 50

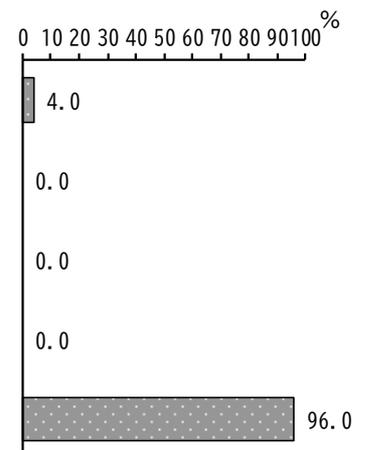
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート、アルバイトなどで働き続けることを希望

パート、アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

無回答



フルタイムへの転換を実現できる見込みの時期 (子どもの年齢)

「12歳以上」が2件となっています。

③その他

有効回答がありませんでした。

フルタイムへの転換を実現できる見込みの時期 (子どもの年齢)

有効回答がありませんでした。

(8) 今後、働く希望はありますか。(○は1つ。 内に数字でご記入ください。)

①母親

「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」の割合が36.8%と最も高く、次いで「1年より先、末子が何歳になったころに働きたい」の割合が26.3%、「1年以内に、扶養の範囲内で働きたい」の割合が21.1%となっています。

回答者数 = 19

子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)

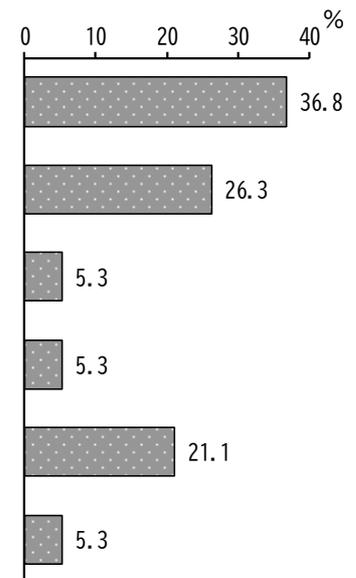
1年より先、末子が何歳になったころに働きたい

1年以内に、フルタイムで働きたい

1年以内に、パートタイム、アルバイトなど(「フルタイム」以外)で働きたい

1年以内に、扶養の範囲内で働きたい

無回答



就労を希望するときの末子の年齢

「12歳以上」が3件となっています。「3歳」、「5歳」が1件となっています。

1週当たりの希望就労日数

「3日」が1件となっています。

1日当たりの希望就労時間

「4時間」が1件となっています。

②父親

「1年以内に、フルタイムで働きたい」が1件となっています。

就労を希望するときの末子の年齢

有効回答がありませんでした。

1週当たりの希望就労日数

有効回答がありませんでした。

1日当たりの希望就労時間

有効回答がありませんでした。

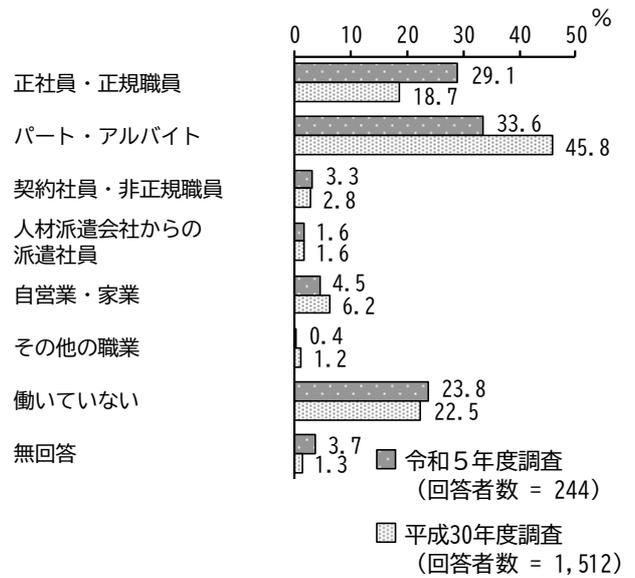
③その他

有効回答がありませんでした。

問 18 あて名のお子さんの母親の現在の職業の雇用形態は、どれになりますか。
(○は1つ)

「パート・アルバイト」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「正社員・正規職員」の割合が 29.1%、「働いていない」の割合が 23.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「正社員・正規職員」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト」の割合が減少しています。



【生活貧困別】

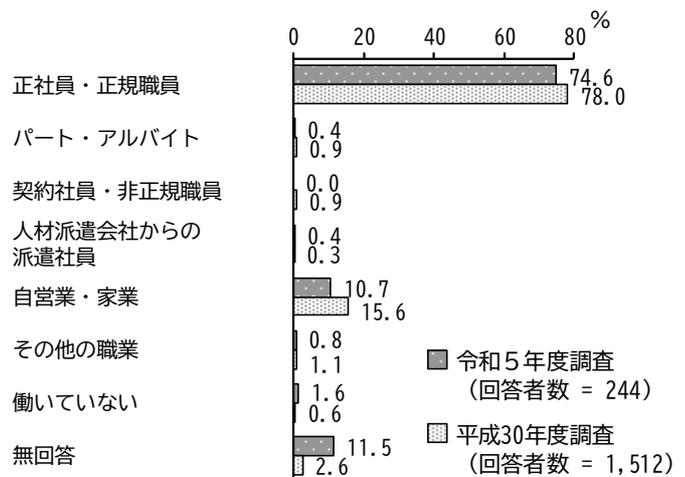
単位：%

区分	回答者数 (件)	正社員・正規職員	パート・アルバイト	契約社員・非正規職員	人材派遣会社からの派遣社員	自営業・家業	その他の職業	働いていない	無回答
全 体	244	29.1	33.6	3.3	1.6	4.5	0.4	23.8	3.7
生活困難層	21	19.0	33.3	4.8	—	4.8	4.8	19.0	14.3
非生活困難層	203	29.1	34.5	3.0	2.0	4.4	—	24.6	2.5

問 19 あて名のお子さんの父親の現在の職業の雇用形態は、どれになりますか。
(○は1つ)

「正社員・正規職員」の割合が 74.6%と最も高く、次いで「自営業・家業」の割合が 10.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活貧困別】

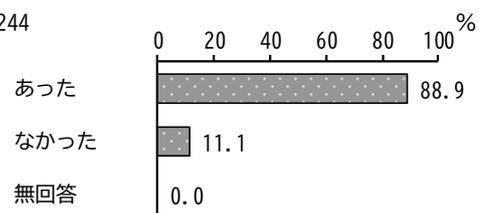
単位：%

区分	回答者数(件)	正社員・正規職員	パート・アルバイト	契約社員・非正規職員	人材派遣会社からの派遣社員	自営業・家業	その他の職業	働いていない	無回答
全 体	244	74.6	0.4	—	0.4	10.7	0.8	1.6	11.5
生活困難層	21	19.0	—	—	—	19.0	—	9.5	52.4
非生活困難層	203	82.3	0.5	—	0.5	9.4	0.5	1.0	5.9

(4) 子どもが病気のときの対応について

問 20 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで小学校を休んだことはありますか。(○は1つ)

「あった」の割合が88.9%、「なかった」の割合が11.1%となっています。 回答者数 = 244



【生活貧困別】

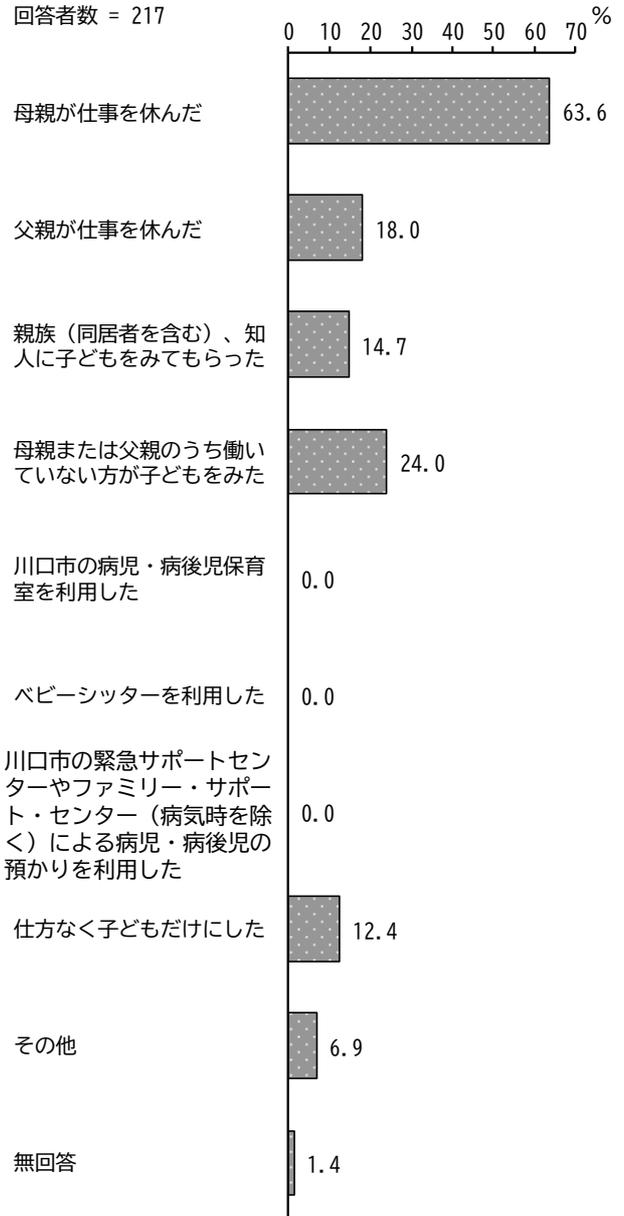
単位：%

区分	回答者数(件)	あった	なかった	無回答
全 体	244	88.9	11.1	—
生活困難層	13	92.3	7.7	—
非生活困難層	211	88.6	11.4	—

問 20-1 あて名のお子さんが病気やケガで小学校を休んだときの対応方法はどれですか。(あてはまるものすべてに○。 内に数字でご記入ください。)

① 1年間の対応方法

「母親が仕事を休んだ」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「母親または父親のうち働いていない方が子どもをみた」の割合が 24.0%、「父親が仕事を休んだ」の割合が 18.0%となっています。



【生活貧困別】

単位：％

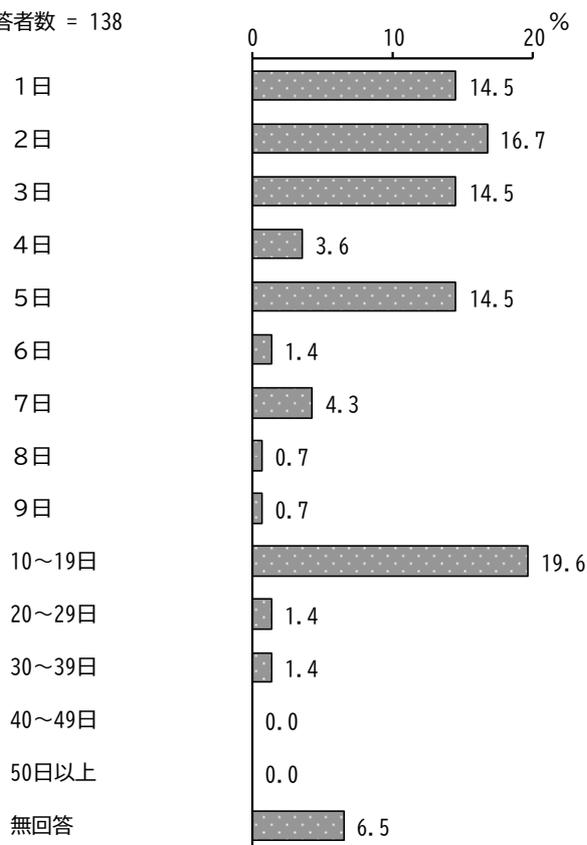
区分	回答者数(件)	母親が仕事を休んだ	父親が仕事を休んだ	親族(同居者を含む)、知人に子どもをみ てもらった	母親または父親のうち働いていない方が子 どもをみた	川口市の病児・病後児保育室を利用した	ベビーシッターを利用した	川口市の緊急サポートセンターやファミリ ーサポートセンター(病気を除く) による病児・病後児の預かりを利用した	仕方なく子どもだけにした	その他	無回答
全 体	217	63.6	18.0	14.7	24.0	—	—	—	12.4	6.9	1.4
生活困難層	12	66.7	—	8.3	25.0	—	—	—	—	8.3	—
非生活困難層	187	63.1	18.7	15.5	24.6	—	—	—	11.2	7.0	1.1

②1年当たりの日数

母親が仕事を休んだ

「10～19日」の割合が19.6%と最も高く、次
いで「2日」の割合が16.7%、「1日」、「3日」
「5日」の割合が14.5%となっています。

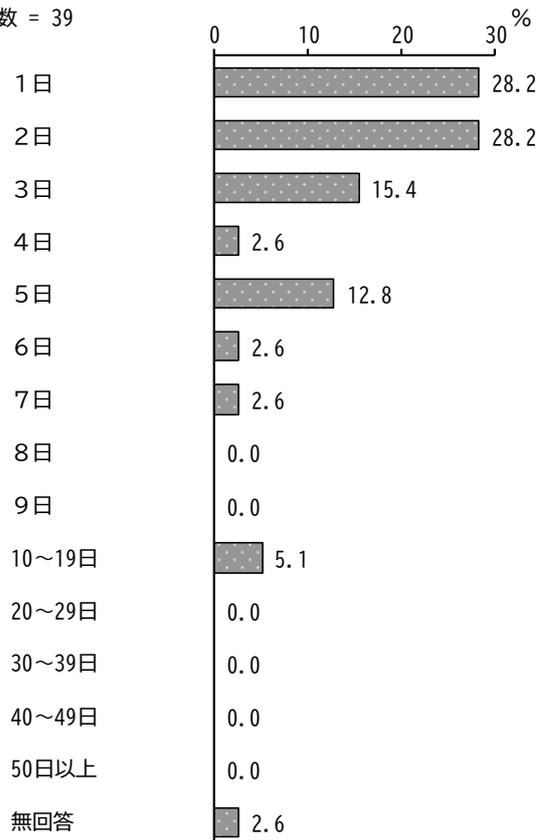
回答者数 = 138



父親が仕事を休んだ

「1日」、「2日」の割合が 28.2%と最も高く、
次いで「3日」の割合が 15.4%となっています。

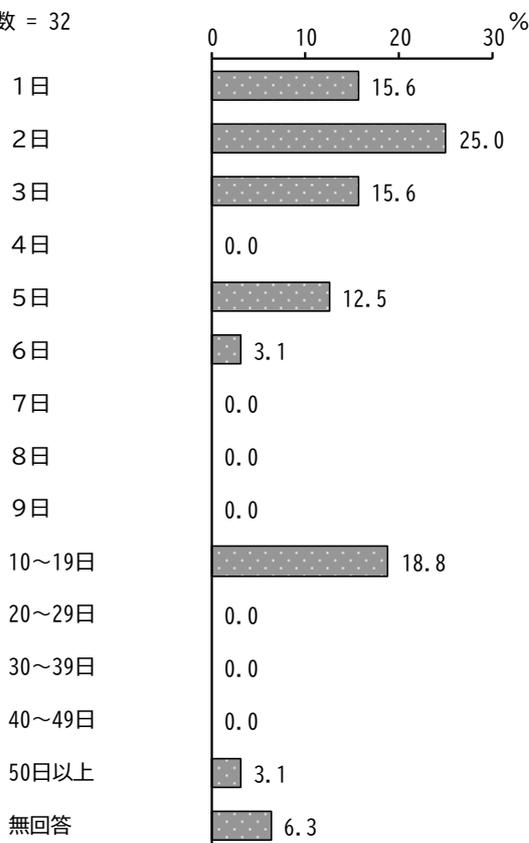
回答者数 = 39



親族、知人に子どもをみてもらった

「2日」の割合が 25.0%と最も高く、次いで
「10~19日」の割合が 18.8%、「1日」、「3日」
の割合が 15.6%となっています。

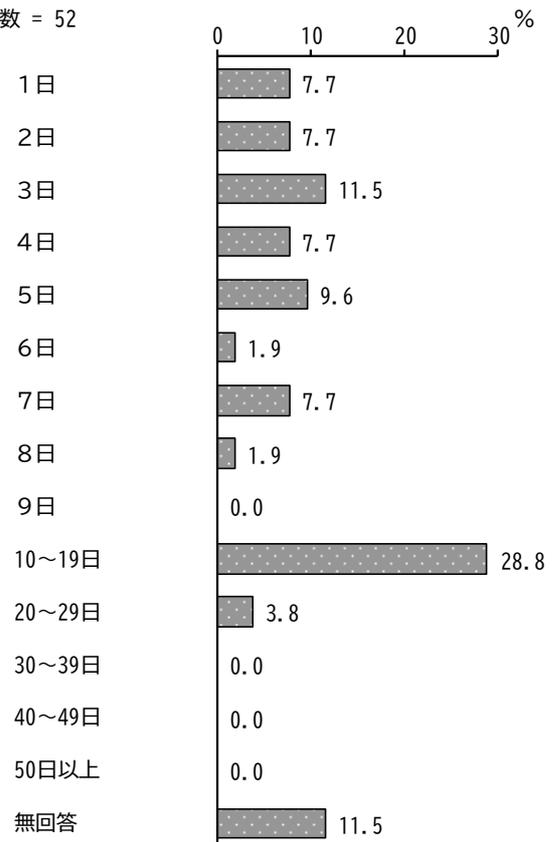
回答者数 = 32



母親または父親のうち働いていない方が子どもをみた

「10～19日」の割合が28.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が11.5%となっています。

回答者数 = 52



川口市の病児・病後児保育室を利用した
有効回答がありませんでした。

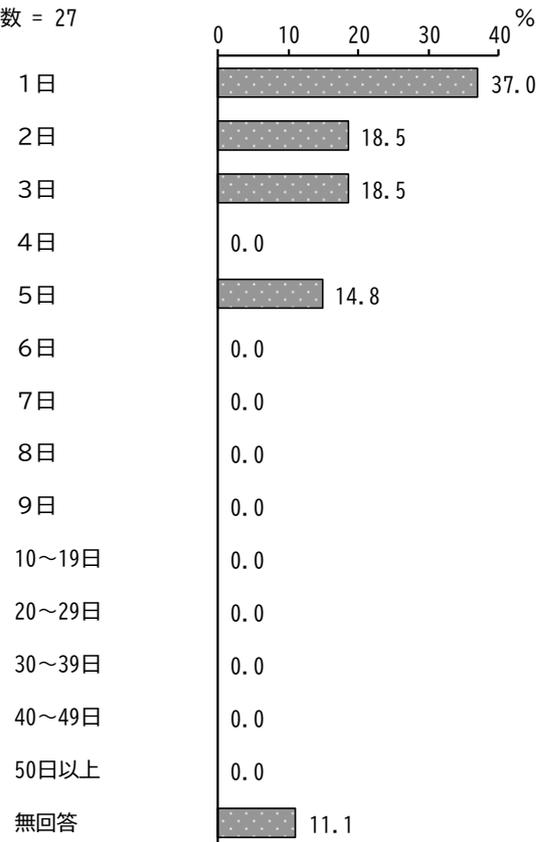
ベビーシッターを利用した
有効回答がありませんでした。

川口市の緊急サポートセンターやファミリー・サポート・センターによる病児・病後児の預かり
を利用した
有効回答がありませんでした。

仕方なく子どもだけにした

「1日」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「2日」、「3日」の割合が 18.5%となっています。

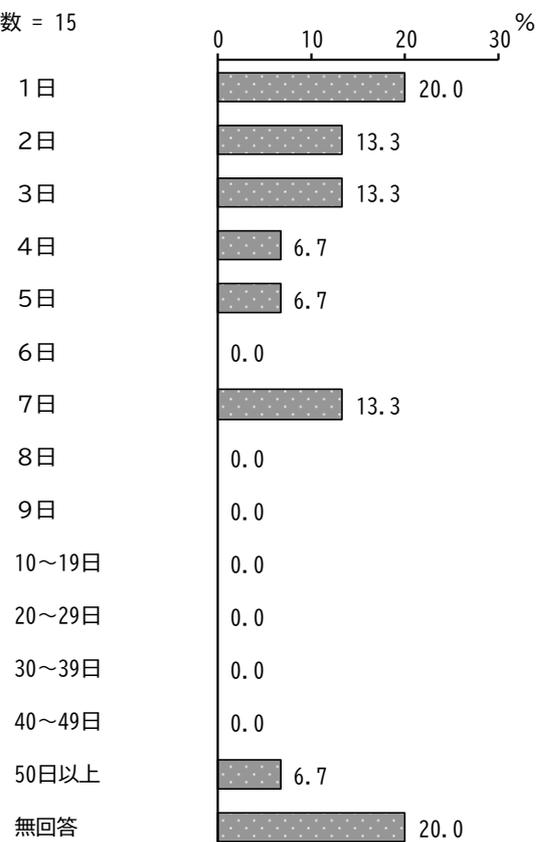
回答者数 = 27



その他

「1日」の割合が 20.0%と最も高く、次いで「2日」、「3日」、「7日」の割合が 13.3%となっています。

回答者数 = 15

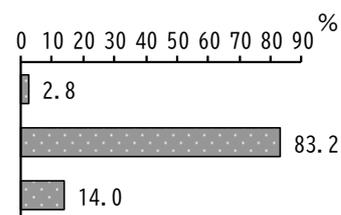


問 20-2 そのとき、「できれば病児・病後児保育室を利用したい」と思いましたか。
 (○は1つ。 内に数字でご記入ください。)

「できれば病児・病後児保育室を利用したかった」の割合が 2.8%、「利用したいとは思わなかった」の割合が 83.2%となっています。

回答者数 = 214

できれば病児・病後児保育室を利用したかった
 利用したいとは思わなかった
 無回答



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	できれば病児・病後児 保育室を利用したかった	利用したいとは思 わなかった	無回答
全 体	214	2.8	83.2	14.0
生活困難層	12	8.3	83.3	8.3
非生活困難層	185	2.7	81.6	15.7

利用したかった日数

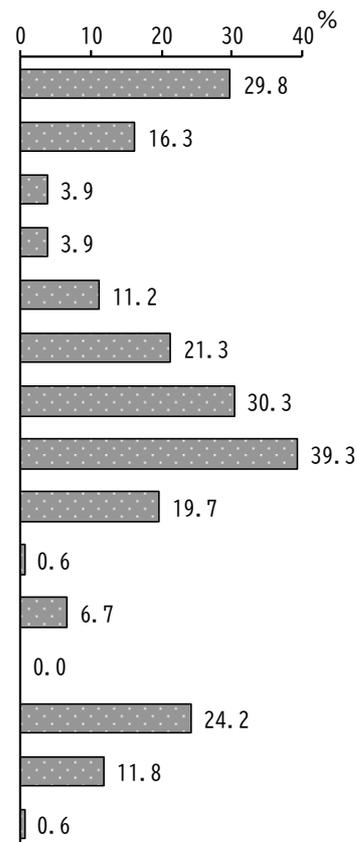
「3日」が3件となっています。「5日」が1件となっています。

問 20-3 あなたが病児・病後児保育室を利用しない理由はなんですか。
(あてはまるものすべてに○)

「親が仕事を休んで対応する方がよい」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「利用方法がわからない」の割合が 30.3%、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が 29.8%となっています。

回答者数 = 178

- 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
- 気軽にみてもらえる人がいる
- 事業の質に不安がある
- 利用可能時間・日数がよくない
- 立地が悪いため行きづらい
- 利用料がかかる、高い
- 利用方法がわからない
- 親が仕事を休んで対応する方がよい
- 利用までの手続きがわずらわしい
- 定員が埋まっていて断られた
- 利用できない病気だった
- 他のサービスで対応する方がよい
- そもそも制度を知らなかった
- その他
- 無回答



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	気軽にみてもらえる人がいる	事業の質に不安がある	利用可能時間・日数がよくない	立地が悪いため行きづらい	利用料がかかる、高い	利用方法がわからない	親が仕事を休んで対応する方がよい	利用までの手続きがわずらわしい	定員が埋まっていて断られた	利用できない病気だった	他のサービスで対応する方がよい	そもそも制度を知らなかった	その他	無回答
全体	178	29.8	16.3	3.9	3.9	11.2	21.3	30.3	39.3	19.7	0.6	6.7	—	24.2	11.8	0.6
生活困難層	10	30.0	10.0	10.0	10.0	—	40.0	40.0	40.0	20.0	—	—	—	40.0	10.0	—
非生活困難層	151	31.1	15.9	3.3	3.3	11.3	21.9	27.8	38.4	21.2	0.7	7.3	—	23.8	11.9	0.7

(5) 子どもの一時預かりなどの利用について

問 21 あて名のお子さんについて、病気の時以外に、保護者の用事などで、ときどきお子さんを預けていますか。(あてはまるものすべてに○をし、1年間のおおよその利用日数を 内にご記入ください。)

「利用していない」の割合が 93.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 244

ファミリー・サポート・センター

緊急サポートセンター

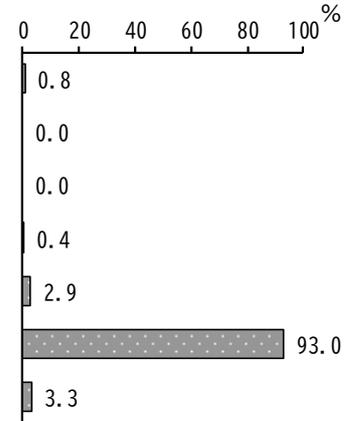
トワイライトステイ（夜間預かり事業）

ベビーシッター

その他

利用していない

無回答



【生活貧困別】

単位：%

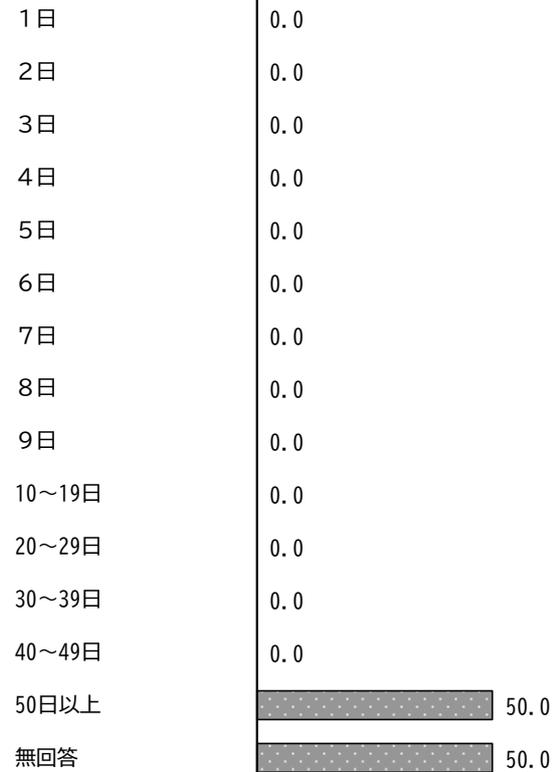
区分	回答者数(件)	ファミリー・サポート・センター	緊急サポートセンター	トワイライトステイ（夜間預かり事業）	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全 体	244	0.8	—	—	0.4	2.9	93.0	3.3
生活困難層	13	—	—	—	—	7.7	92.3	—
非生活困難層	211	0.9	—	—	0.5	2.4	93.4	3.3

ファミリー・サポート・センター

1年当たりの日数

「50日以上」が1件となっています。

回答者数 = 2



緊急サポートセンター

1年当たりの日数

有効回答がありませんでした。

トワイライトステイ（夜間預かり事業）

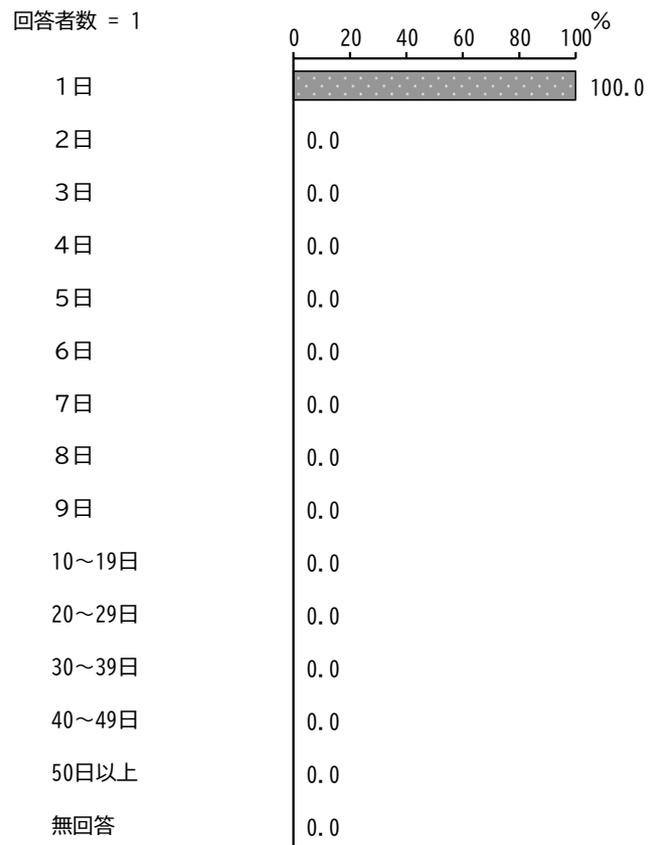
1年当たりの日数

有効回答がありませんでした。

ベビーシッター

1年当たりの日数

「1日」が1件となっています。

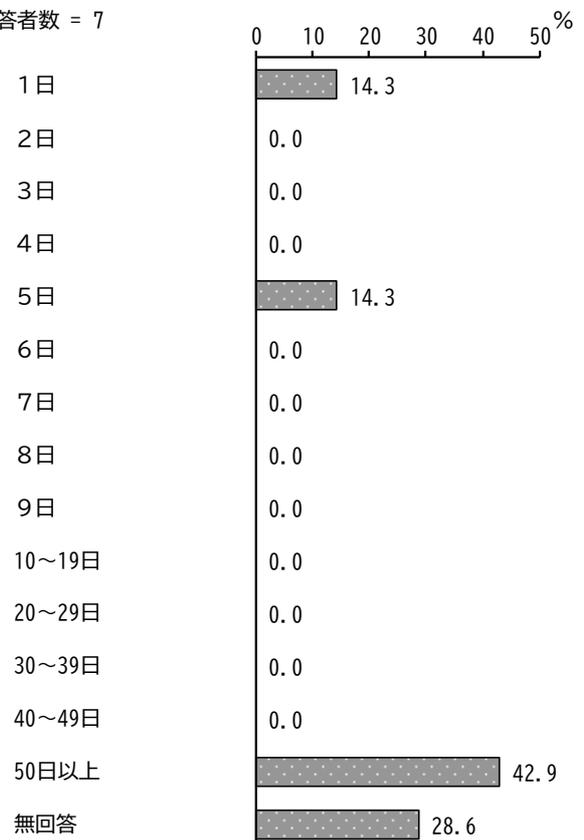


その他

1年当たりの日数

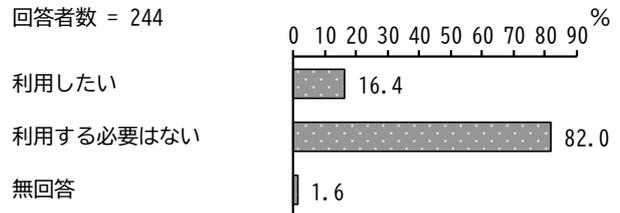
「50日以上」が3件となっています。「1日」、
「5日」が1件となっています。

回答者数 = 7



問 22 あて名のお子さんについて、保護者の用事などの目的で、お子さんを預けたいですか。(1または2のどちらかに○。1に○を付けた方はその理由をア～ケののあてはまるものすべてに○をし、1年間のおおよその、利用したい日数を 内にご記入ください。)

「利用したい」の割合が16.4%、「利用する必要はない」の割合が82.0%となっています。



【生活貧困別】

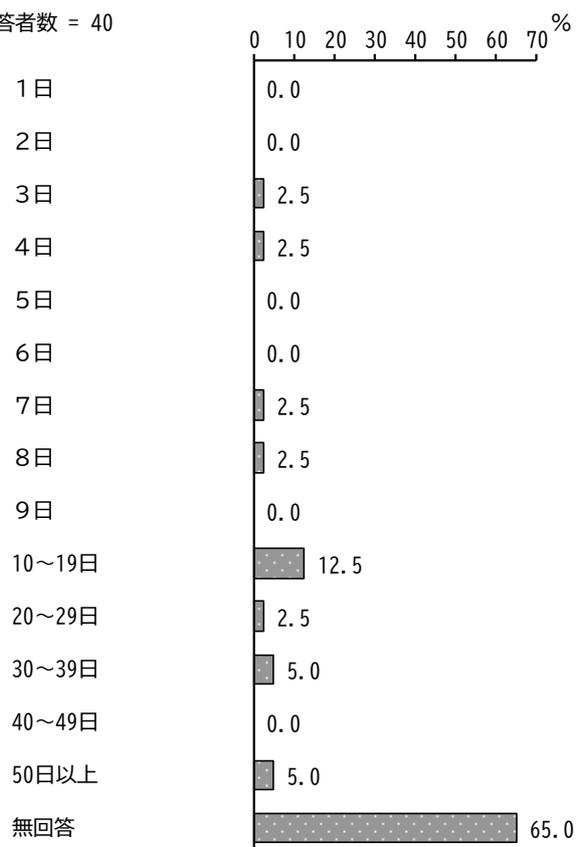
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はない	無回答
全 体	244	16.4	82.0	1.6
生活困難層	13	23.1	76.9	—
非生活困難層	211	16.6	81.5	1.9

合計日数

1年あたりの日数

「10～19日」の割合が12.5%と最も高くなつています。 回答者数 = 40



利用したいと回答した人

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や保護者の通院、祖父母の介護など」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「小学校が休みのときの子どもの預かり」の割合が 37.5%、「私用（買物、子ども（きょうだいを含む）や保護者の習い事など）」の割合が 25.0%となっています。

回答者数 = 40

私用（買物、子ども（きょうだいを含む）や保護者の習い事など）

保護者のリフレッシュ目的

冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や保護者の通院、祖父母の介護など

不定期の仕事、就職活動

小学校開始前、終了後の子どもの預かり

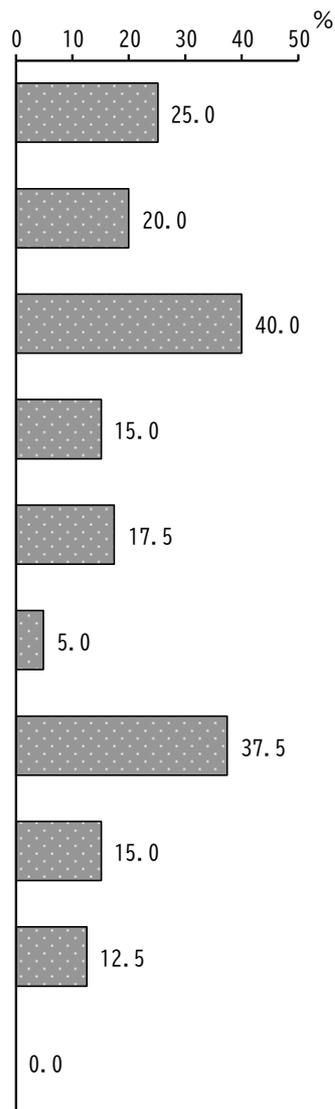
小学校までの送迎

小学校が休みのときの子どもの預かり

仕事などで帰宅が夜間になってしまうとき、宿泊を伴わない子どもの預かり

その他

無回答



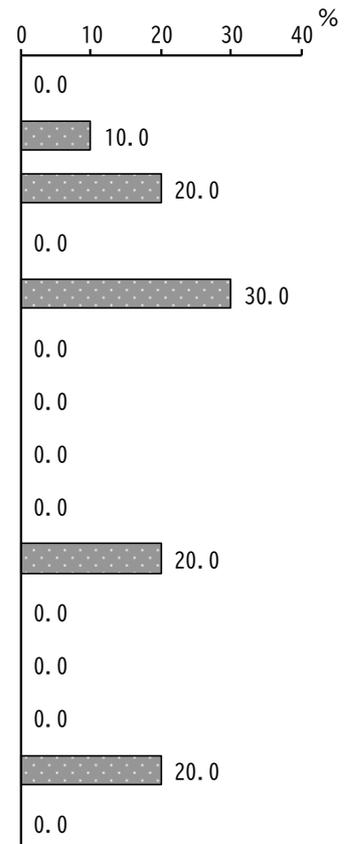
私用

1年あたりの日数

「5日」の割合が30.0%と最も高く、次いで「3日」、「10~19日」、「50日以上」の割合が20.0%となっています。

回答者数 = 10

- 1日
- 2日
- 3日
- 4日
- 5日
- 6日
- 7日
- 8日
- 9日
- 10~19日
- 20~29日
- 30~39日
- 40~49日
- 50日以上
- 無回答



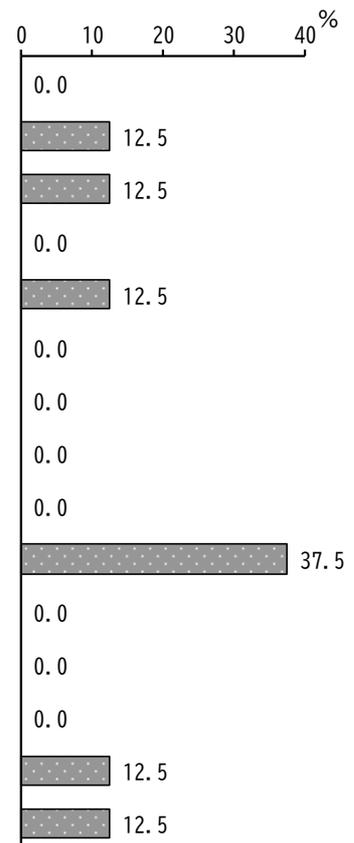
保護者のリフレッシュ目的

1年あたりの日数

「10~19日」が3件となっています。「2日」、「3日」、「5日」「50日以上」が1件となっています。

回答者数 = 8

- 1日
- 2日
- 3日
- 4日
- 5日
- 6日
- 7日
- 8日
- 9日
- 10~19日
- 20~29日
- 30~39日
- 40~49日
- 50日以上
- 無回答

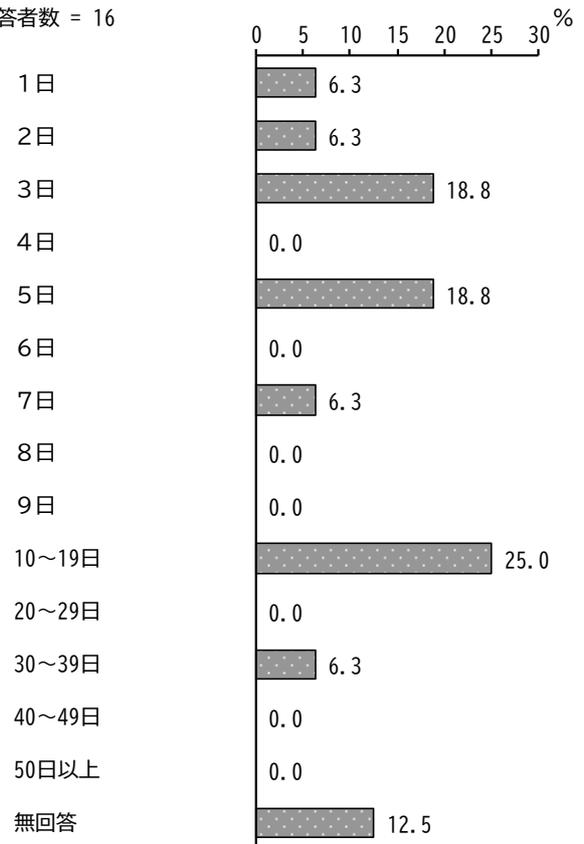


冠婚葬祭、学校行事など

1年あたりの日数

「10～19日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「3日」、「5日」の割合が18.8%となっています。

回答者数 = 16

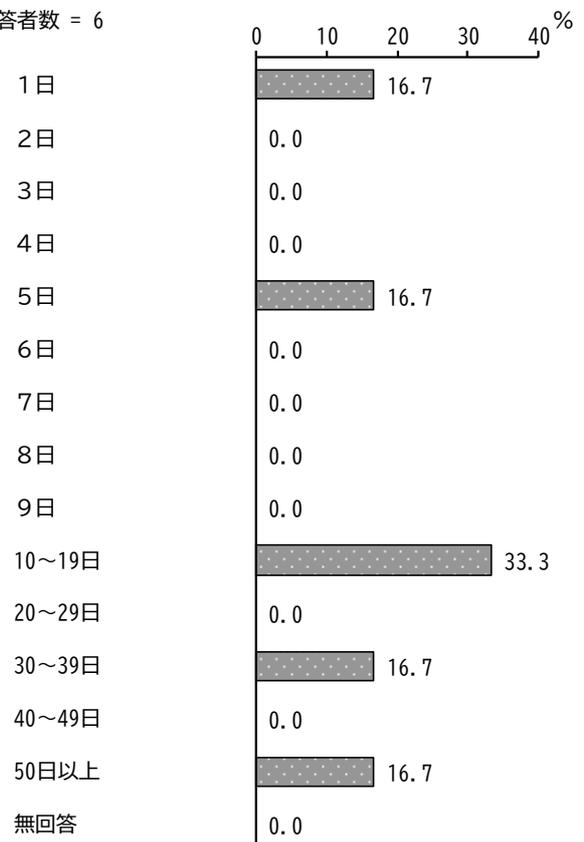


不定期の仕事、就職活動

1年あたりの日数

「10～19日」が2件となっています。「1日」、「5日」、「30～39日」「50日以上」が1件となっています。

回答者数 = 6



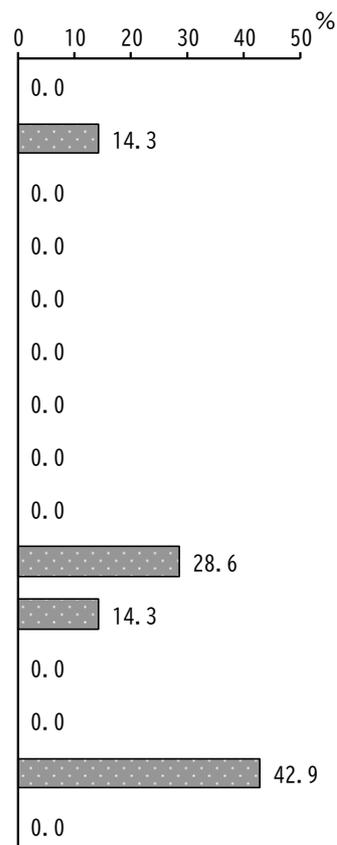
小学校開始前、終了後の子どもの預かり

1年あたりの日数

「50日以上」が3件となっています。「10～19日」が2件、「2日」、「20～29日」が1件となっています。

回答者数 = 7

- 1日
- 2日
- 3日
- 4日
- 5日
- 6日
- 7日
- 8日
- 9日
- 10～19日
- 20～29日
- 30～39日
- 40～49日
- 50日以上
- 無回答



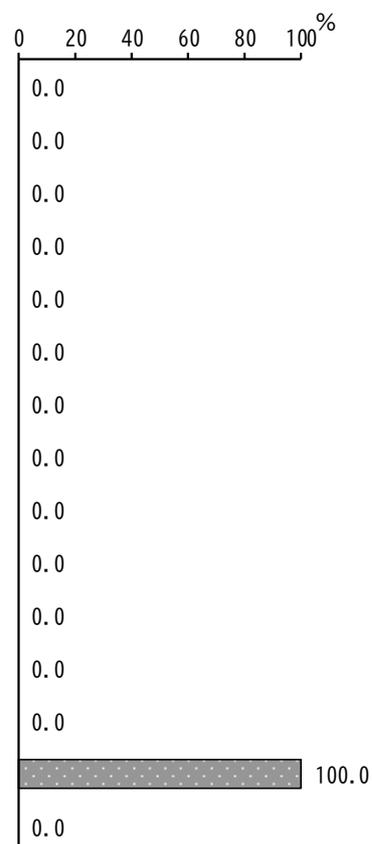
小学校までの送迎

1年あたりの日数

「50日以上」が2件となっています。

回答者数 = 2

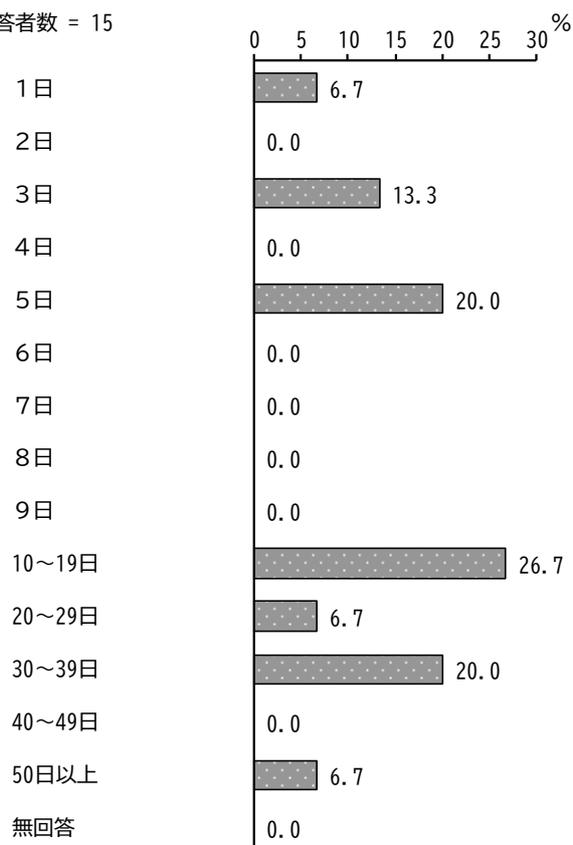
- 1日
- 2日
- 3日
- 4日
- 5日
- 6日
- 7日
- 8日
- 9日
- 10～19日
- 20～29日
- 30～39日
- 40～49日
- 50日以上
- 無回答



小学校が休みのときの子どもの預かり

1年あたりの日数

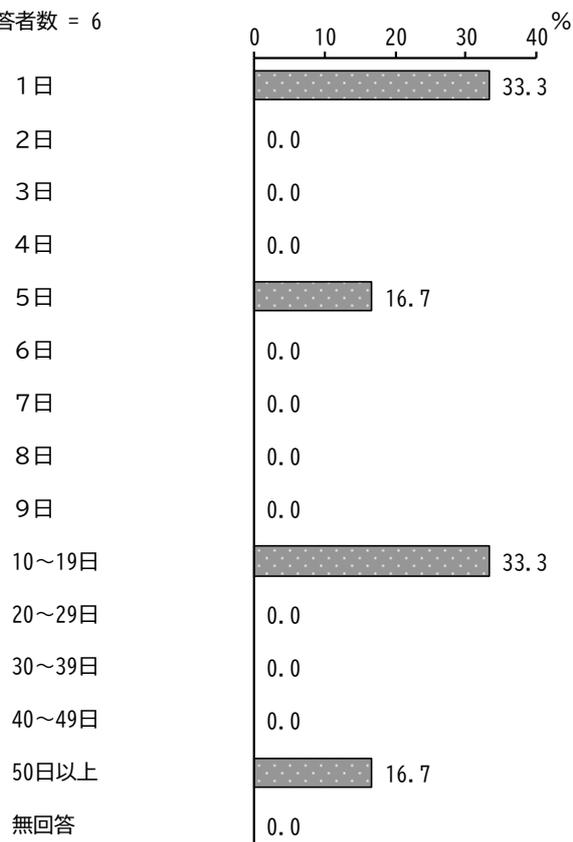
「10～19日」の割合が26.7%と最も高く、次いで「5日」、「30～39日」の割合が20.0%となっています。 回答者数 = 15



仕事などで帰宅が夜間になってしまうとき、宿泊を伴わない子どもの預かり

1年あたりの日数

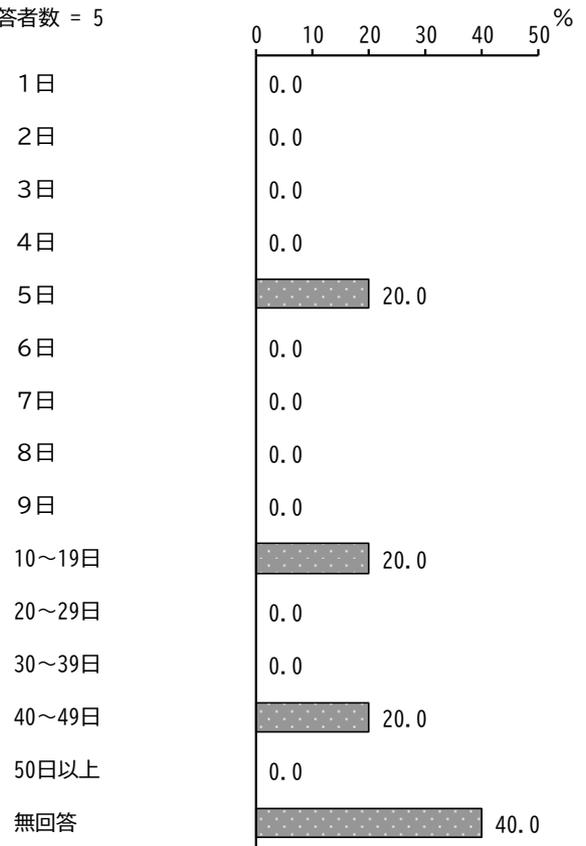
「1日」、「10～19日」が2件となっています。「5日」、「50日以上」が1件となっています。 回答者数 = 6



その他

1年あたりの日数

「5日」、「10～19日」、「40～49日」が1件と
なっています。 回答者数 = 5

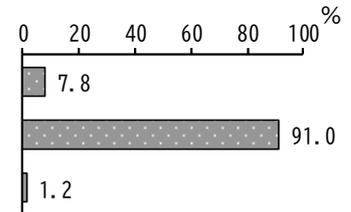


問 23 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹を含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで預けるために、年間何泊くらい短期入所生活支援事業（ショートステイ）を利用したいと思いますか。（1または2のどちらかに○。1に○を付けた方はその目的をア～エのあてはまるものすべてに○をし、泊数を 内にご記入ください。）

「利用したい」の割合が 7.8%、「利用する必要はない」の割合が 91.0%となっています。

回答者数 = 244

利用したい
利用する必要はない
無回答



【生活貧困別】

単位：%

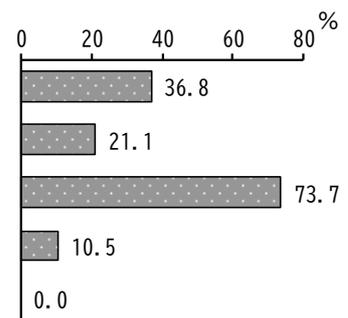
区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はない	無回答
全 体	244	7.8	91.0	1.2
生活困難層	13	15.4	84.6	—
非生活困難層	211	7.6	91.0	1.4

利用したいと回答した人

「保護者や家族の病気」の割合が 73.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭」の割合が 36.8%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 21.1%となっています。

回答者数 = 19

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答



冠婚葬祭

1年当たりの泊数

「1泊」が3件となっています。「10～19泊」が2件、「2泊」、「5泊」が1件となっています。

回答者数 = 7

1泊

2泊

3泊

4泊

5泊

6泊

7泊

8泊

9泊

10～19泊

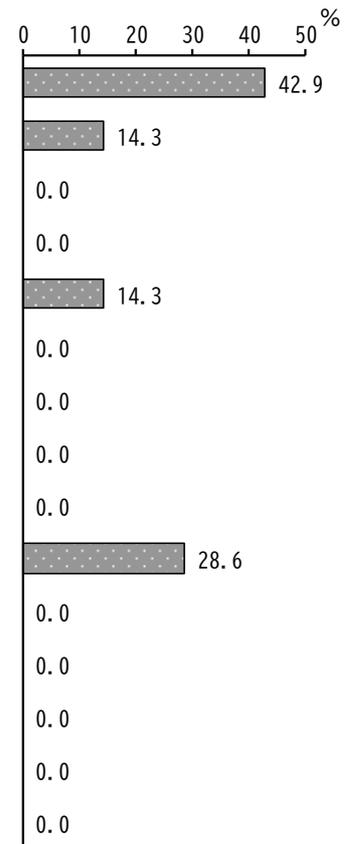
20～29泊

30～39泊

40～49泊

50泊以上

無回答



保護者や家族の育児疲れ・不安

1年当たりの泊数

「1泊」、「10～19泊」、「30～39泊」が1件となっています。

回答者数 = 4

1泊

2泊

3泊

4泊

5泊

6泊

7泊

8泊

9泊

10～19泊

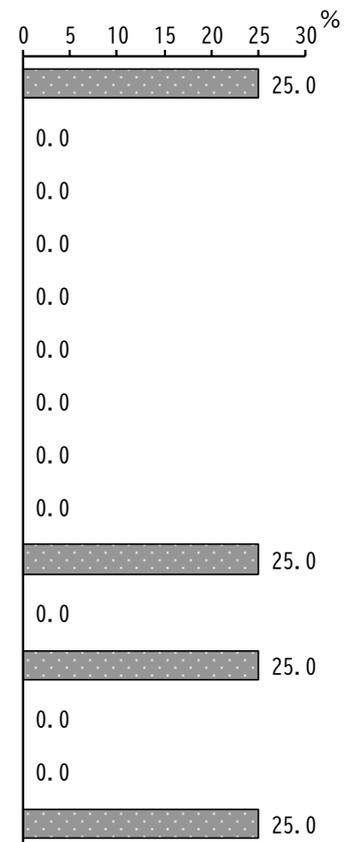
20～29泊

30～39泊

40～49泊

50泊以上

無回答

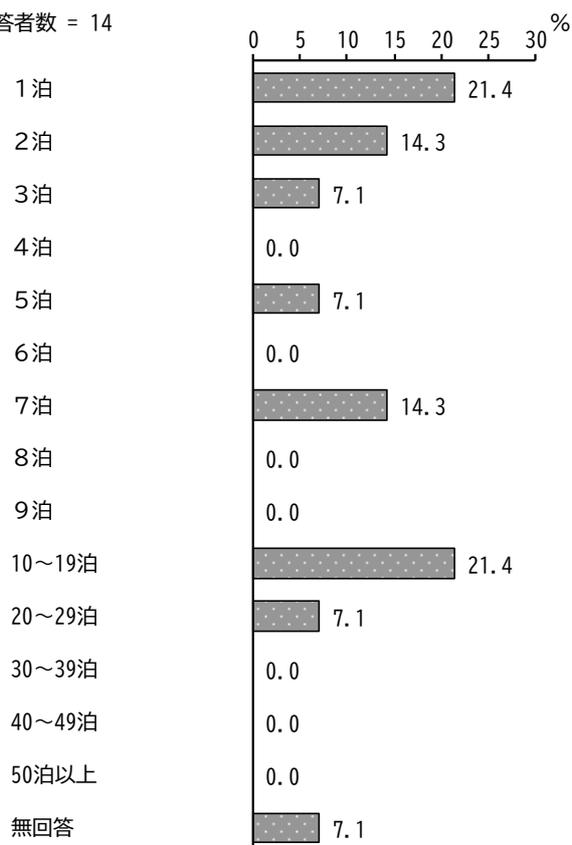


保護者や家族の病気

1年当たりの泊数

「1泊」、「10～19泊」の割合が21.4%と最も高く、次いで「2泊」、「7泊」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 14

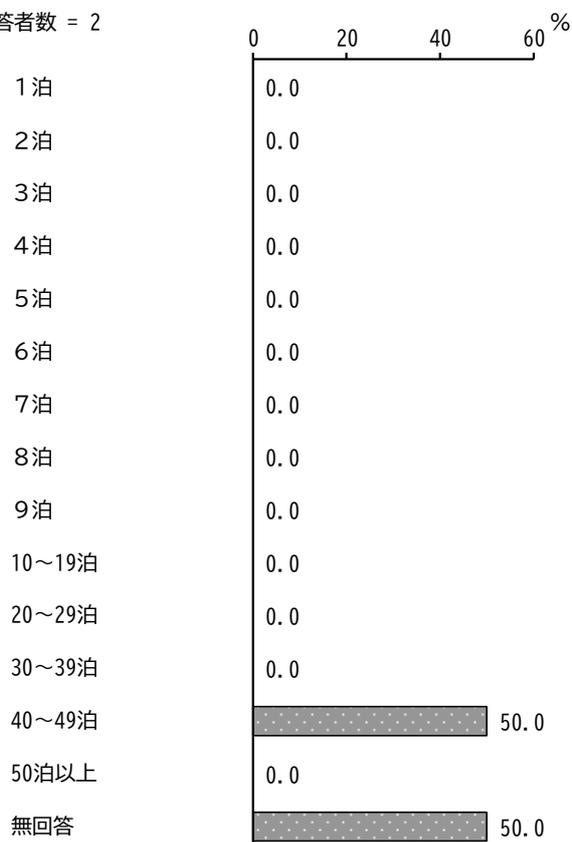


その他

1年当たりの泊数

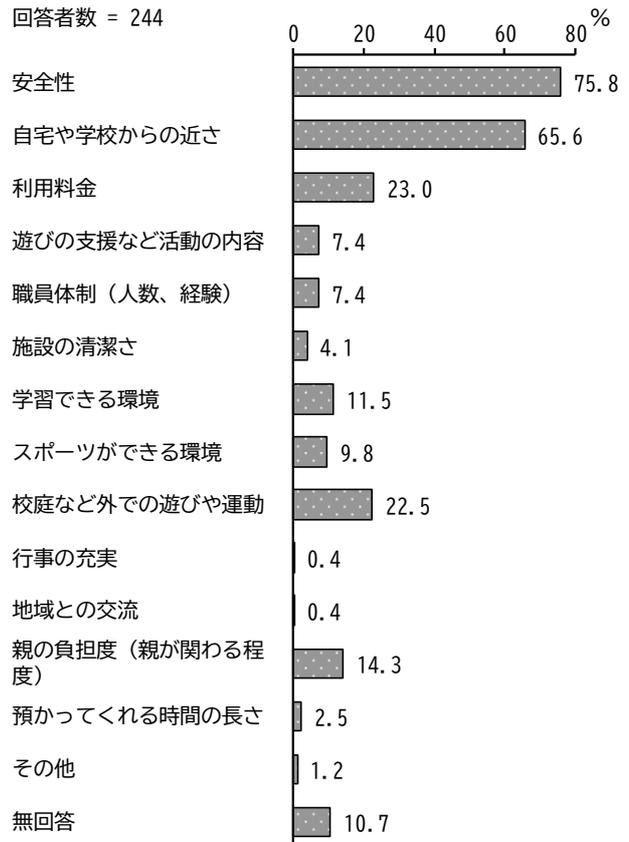
「40～49泊」が1件となっています。

回答者数 = 2



問24 あて名のお子さんが放課後を過ごす場所を選ぶときに、どのような点を重視しますか。(〇は3つまで)

「安全性」の割合が75.8%と最も高く、次いで「自宅や学校からの近さ」の割合が65.6%、「利用料金」の割合が23.0%となっています。



【生活貧困別】

単位：%

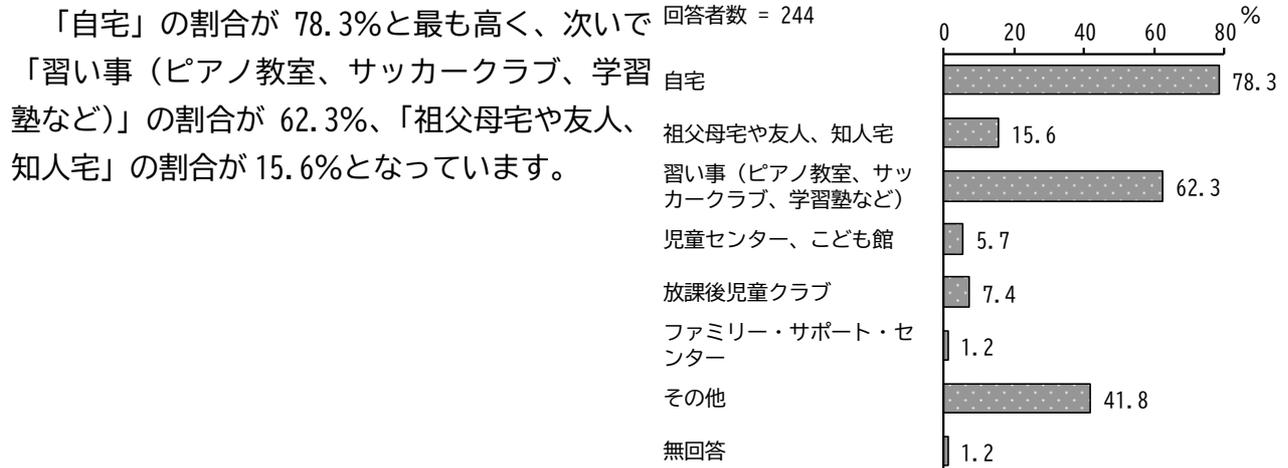
区分	回答者数(件)	安全性	自宅や学校からの近さ	利用料金	遊びの支援など活動の内容	職員体制(人数、経験)	施設の清潔さ	学習できる環境	スポーツができる環境	校庭など外での遊びや運動	行事の充実	地域との交流	親の負担度(親が関わる程度)	預かってくれる時間の長さ	その他	無回答
全体	244	75.8	65.6	23.0	7.4	7.4	4.1	11.5	9.8	22.5	0.4	0.4	14.3	2.5	1.2	10.7
生活困難層	13	84.6	53.8	15.4	15.4	7.7	—	7.7	7.7	15.4	—	7.7	7.7	—	—	7.7
非生活困難層	211	73.9	67.3	23.7	7.1	7.1	4.3	11.4	9.5	22.7	0.5	—	12.8	2.4	1.4	11.4

問25 あて名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)の時は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週(月)あたり日数をご記入ください。また、「5. 放課後児童クラブ」を選択した場合には、利用したい時間も 内にご記入ください。

有効回答がありませんでした。

(6) 子どもの放課後の過ごし方について

問 26 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）の時は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまるもの全てを選択し、それぞれ希望する週（月）あたり日数をご記入ください。また、「5. 放課後児童クラブ」を選択した場合には、利用したい時間も 内にご記入ください。



【生活貧困別】

単位：%

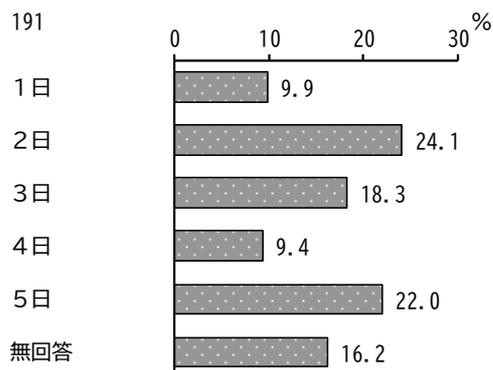
区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や友人、知人宅	習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	児童センター、こども館	放課後児童クラブ	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	244	78.3	15.6	62.3	5.7	7.4	1.2	41.8	1.2
生活困難層	13	53.8	7.7	46.2	—	7.7	—	30.8	—
非生活困難層	211	79.1	16.6	65.4	6.6	7.6	1.4	43.6	1.4

自宅

希望する利用日数

「2日」の割合が 24.1%と最も高く、次いで「5日」の割合が 22.0%、「3日」の割合が 18.3%となっています。

回答者数 = 191

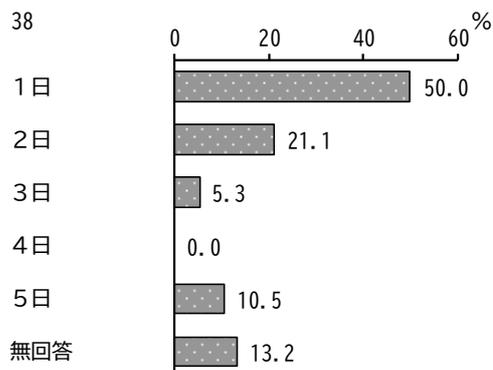


祖父母宅や友人、知人宅

希望する利用日数

「1日」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が 21.1%、「5日」の割合が 10.5%となっています。

回答者数 = 38

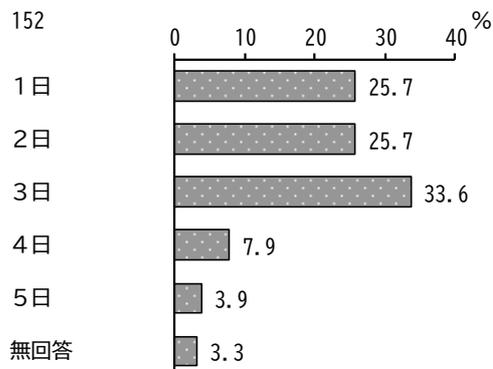


習い事

希望する利用日数

「3日」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「1日」、「2日」の割合が 25.7%となっています。

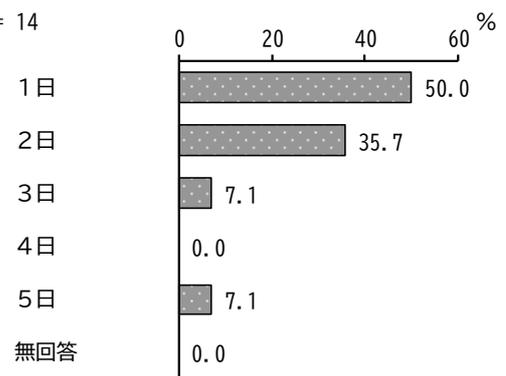
回答者数 = 152



児童センター、こども館

希望する利用日数

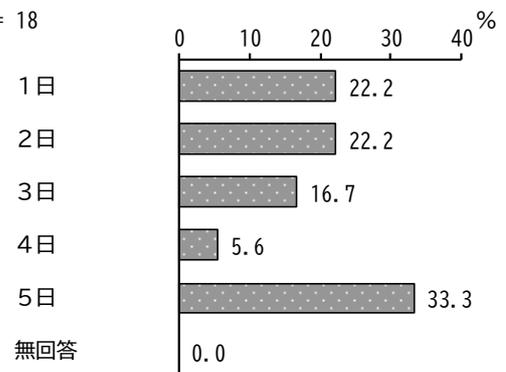
「1日」の割合が 50.0%と最も高く、次いで 回答者数 = 14
「2日」の割合が 35.7%となっています。



放課後児童クラブ

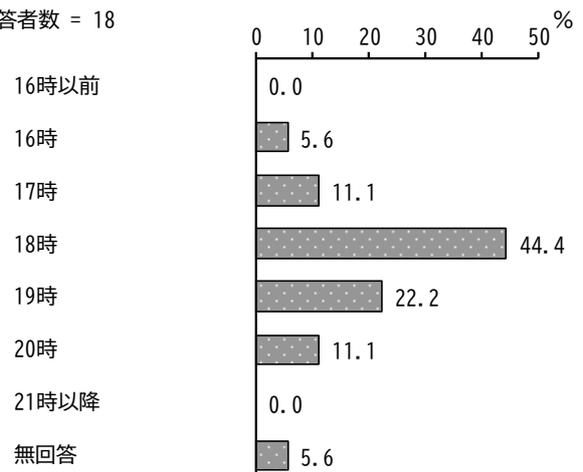
希望する利用日数

「5日」の割合が 33.3%と最も高く、次いで 回答者数 = 18
「1日」、「2日」の割合が 22.2%となっています。



希望する利用終了時間

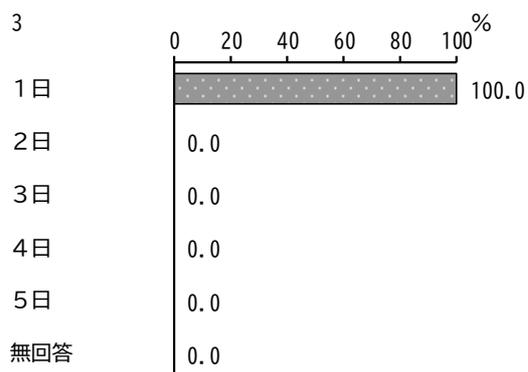
「18時」の割合が 44.4%と最も高く、次いで 回答者数 = 18
「19時」の割合が 22.2%、「17時」、「20時」の割合が 11.1%となっています。



ファミリー・サポート・センター
希望する利用日数

「1日」が3件となっています。

回答者数 = 3

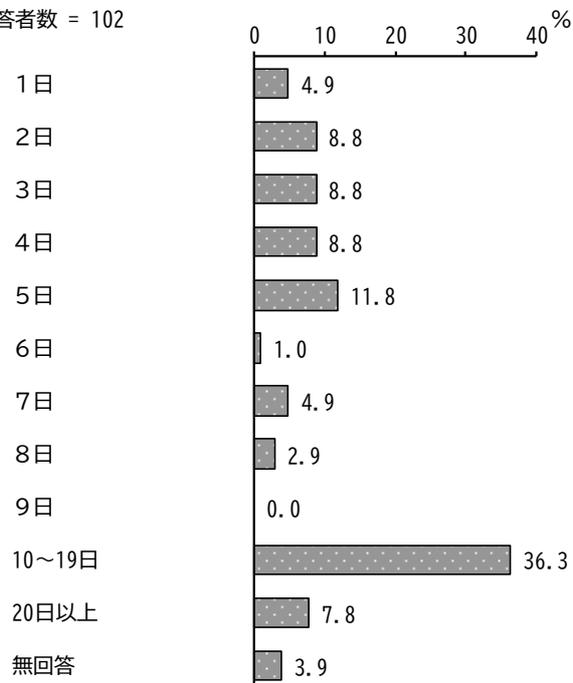


その他

希望する利用日数

「10~19日」の割合が36.3%と最も高く、次いで「5日」の割合が11.8%となっています。

回答者数 = 102



問 27 今後、学校敷地外も含めた預け先の施設（塾、スポーツクラブ、新設の放課後児童クラブ等）をあて名のお子さんが利用する場合、どのような点を重視しますか。（1位から3位まで選んで枠の中に数字をご記入ください。なお、「12. 学校敷地内の放課後児童クラブのみ利用見込み」を選択する場合は「12」のみを記載してください。）

第1位

「通っている学校から児童が歩いて通える距離にある」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「英会話教室や受験準備などの学習指導をしてくれる」、「学校から学校敷地外の放課後児童クラブまで安全に移動できる」の割合が 13.5%となっています。

回答者数 = 244

十分な広さがある

外遊びができる環境がある

英会話教室や受験準備などの学習指導をしてくれる

スポーツ指導をしてくれる

遅い時間まで預かってくれる

夕食を提供してくれる

学校敷地内の放課後児童クラブと同程度の利用料金である

通っている学校から児童が歩いて通える距離にある

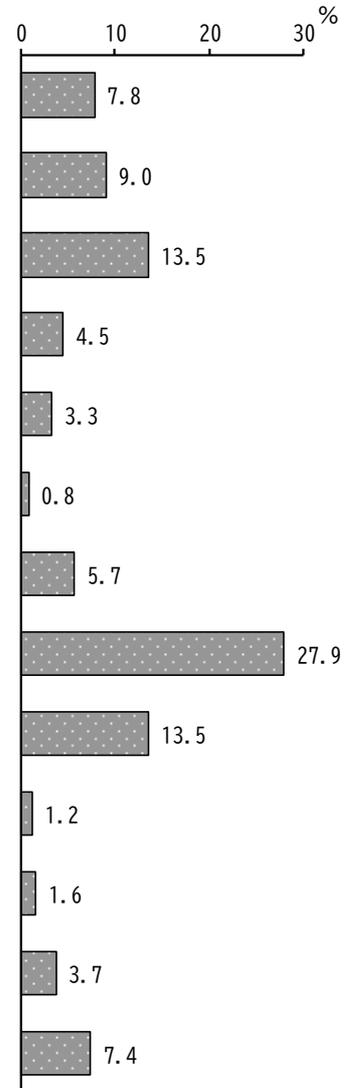
学校から学校敷地外の放課後児童クラブまで安全に移動できる

駅からの距離が近い

その他

学校敷地内の放課後児童クラブのみ利用見込み

無回答



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	十分な広さがある	外遊びができる環境がある	英会話教室や受験準備などの学習指導をしてくれる	スポーツ指導をしてくれる	遅い時間まで預かってくれる	夕食を提供してくれる
全 体	244	7.8	9.0	13.5	4.5	3.3	0.8
生活困難層	13	-	-	15.4	-	7.7	-
非生活困難層	211	8.5	10.0	13.7	4.7	2.4	0.9

区分	学校敷地内の放課後児童クラブと同程度の利用料金である	通っている学校から児童が歩いて通える距離にある	学校から学校敷地外の放課後児童クラブまで安全に移動できる	駅からの距離が近い	その他	学校敷地内の放課後児童クラブのみ利用見込み	無回答
全 体	5.7	27.9	13.5	1.2	1.6	3.7	7.4
生活困難層	7.7	23.1	7.7	-	7.7	7.7	23.1
非生活困難層	6.2	27.5	13.7	1.4	0.9	2.8	7.1

第2位

「外遊びができる環境がある」の割合が17.6%と最も高く、次いで「通っている学校から児童が歩いて通える距離にある」の割合が16.4%、「英会話教室や受験準備などの学習指導をしてくれる」の割合が13.5%となっています。

回答者数 = 244

十分な広さがある

外遊びができる環境がある

英会話教室や受験準備などの学習指導をしてくれる

スポーツ指導をしてくれる

遅い時間まで預かってくれる

夕食を提供してくれる

学校敷地内の放課後児童クラブと同程度の利用料金である

通っている学校から児童が歩いて通える距離にある

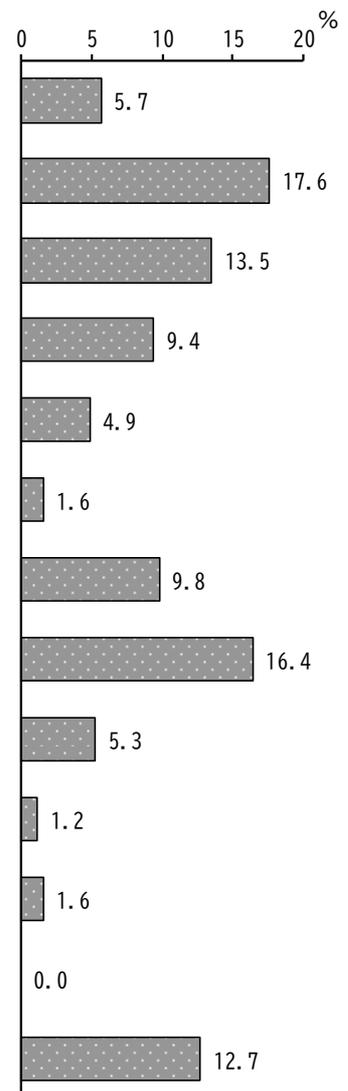
学校から学校敷地外の放課後児童クラブまで安全に移動できる

駅からの距離が近い

その他

学校敷地内の放課後児童クラブのみ利用見込み

無回答



【生活貧困別】

単位：%

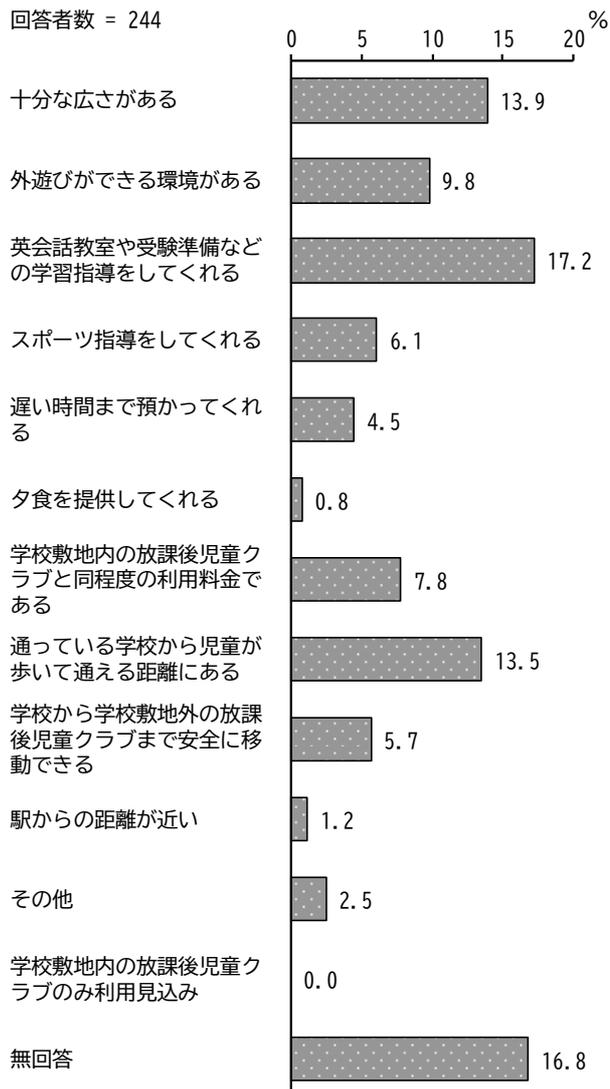
区分	回答者数 (件)	十分な広さがある	外遊びができる環境がある	英会話教室や受験準備などの学習指導をしてくれる	スポーツ指導をしてくれる	遅い時間まで預かってくれる	夕食を提供してくれる
全 体	244	5.7	17.6	13.5	9.4	4.9	1.6
生活困難層	13	-	15.4	7.7	7.7	-	7.7
非生活困難層	211	6.2	17.1	14.2	9.5	5.7	0.9

区分	学校敷地内の放課後児童クラブと同程度の利用料金である	通っている学校から児童が歩いて通える距離にある	学校から学校敷地外の放課後児童クラブまで安全に移動できる	駅からの距離が近い	その他	学校敷地内の放課後児童クラブのみ利用見込み	無回答
全 体	9.8	16.4	5.3	1.2	1.6	-	12.7
生活困難層	-	23.1	-	-	-	-	38.5
非生活困難層	10.4	16.1	5.7	1.4	1.4	-	11.4

第3位

「英会話教室や受験準備などの学習指導をしてくれる」の割合が17.2%と最も高く、次いで「十分な広さがある」の割合が13.9%、「通っている学校から児童が歩いて通える距離にある」の割合が13.5%となっています。

回答者数 = 244



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	十分な広さがある	外遊びができる環境がある	英会話教室や受験準備などの学習指導をしてくれる	スポーツ指導をしてくれる	遅い時間まで預かってくれる	夕食を提供してくれる
全 体	244	13.9	9.8	17.2	6.1	4.5	0.8
生活困難層	13	-	15.4	15.4	-	-	7.7
非生活困難層	211	13.7	10.0	17.1	7.1	5.2	0.5

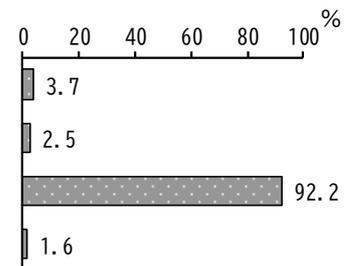
区分	学校敷地内の放課後児童クラブと同程度の利用料金である	通っている学校から児童が歩いて通える距離にある	学校から学校敷地外の放課後児童クラブまで安全に移動できる	駅からの距離が近い	その他	学校敷地内の放課後児童クラブのみ利用見込み	無回答
全 体	7.8	13.5	5.7	1.2	2.5	-	16.8
生活困難層	-	7.7	7.7	-	-	-	46.2
非生活困難層	8.5	13.7	6.2	0.9	2.4	-	14.7

問 28 あて名のお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。
(○は1つ)

「利用していない」の割合が 92.2%と最も高
くなっています。

回答者数 = 244

公立の放課後児童クラブを
利用している
民間の放課後児童クラブを
利用している
利用していない
無回答



【生活貧困別】

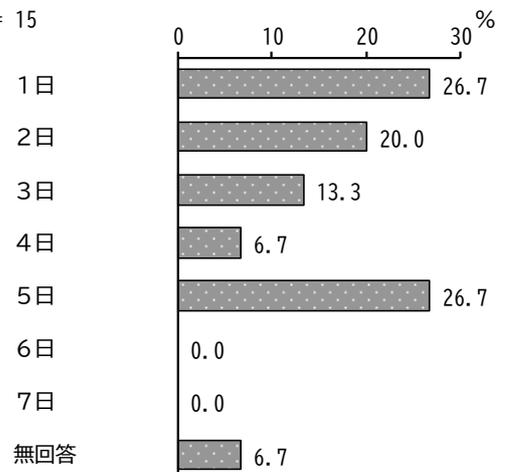
単位：%

区分	回答者数 (件)	公立の放課後児童クラブ を利用している	民間の放課後児童クラブ を利用している	利用していない	無回答
全 体	244	3.7	2.5	92.2	1.6
生活困難層	13	7.7	—	92.3	—
非生活困難層	211	3.3	2.8	91.9	1.9

問 28-1 あて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用日数と利用時間はどれ
くらいですか

1週当たりの利用日数

「1日」、「5日」の割合が 26.7%と最も高く、回答者数 = 15
次いで「2日」の割合が 20.0%となっています。

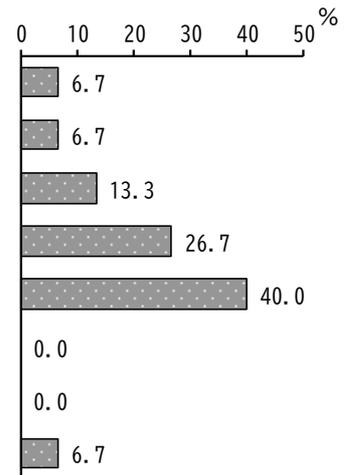


利用終了時間

「19 時」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「18 時」の割合が 26.7%、「17 時」の割合が 13.3%となっています。

回答者数 = 15

16時以前
16時
17時
18時
19時
20時
21時以降
無回答



うち土曜日の利用

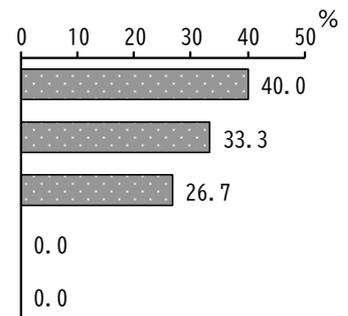
有効回答がありませんでした。

問 28-2 利用した満足度はいかがですか。(○は1つ)

「満足」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「まあまあ満足」の割合が 33.3%、「やや不満」の割合が 26.7%となっています。

回答者数 = 15

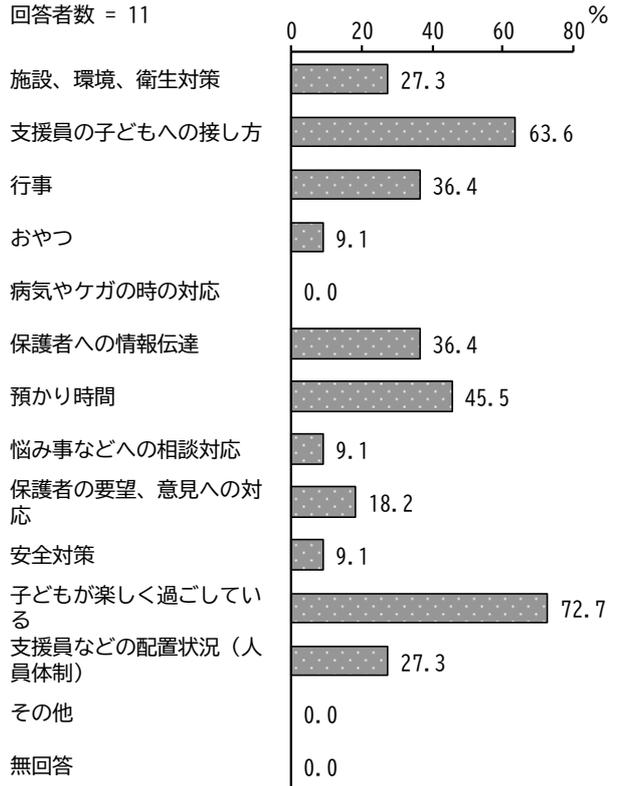
満足
まあまあ満足
やや不満
不満
無回答



問 28-3 どのような点に満足していますか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもが楽しく過ごしている」の割合が72.7%と最も高く、次いで「支援員の子どもへの接し方」の割合が63.6%、「預かり時間」の割合が45.5%となっています。

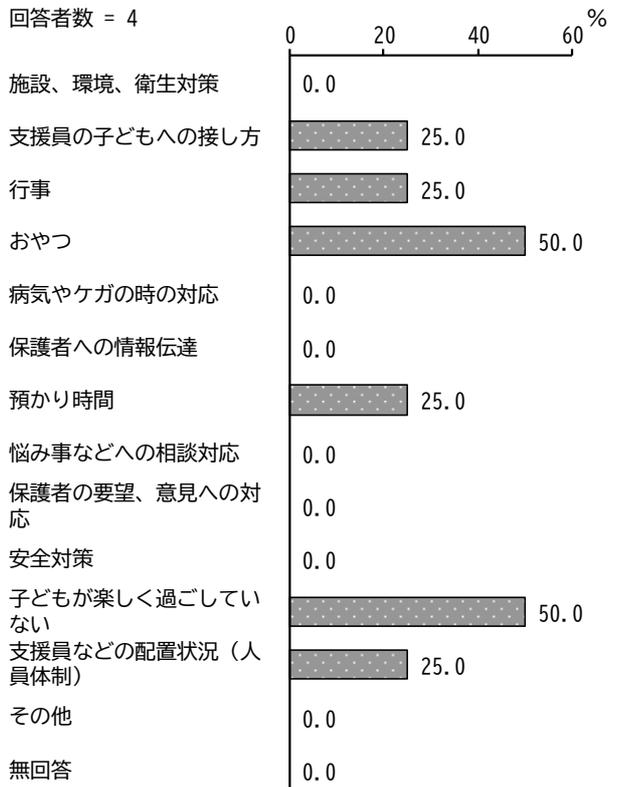
回答者数 = 11



問 28-4 どのような点に不満を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

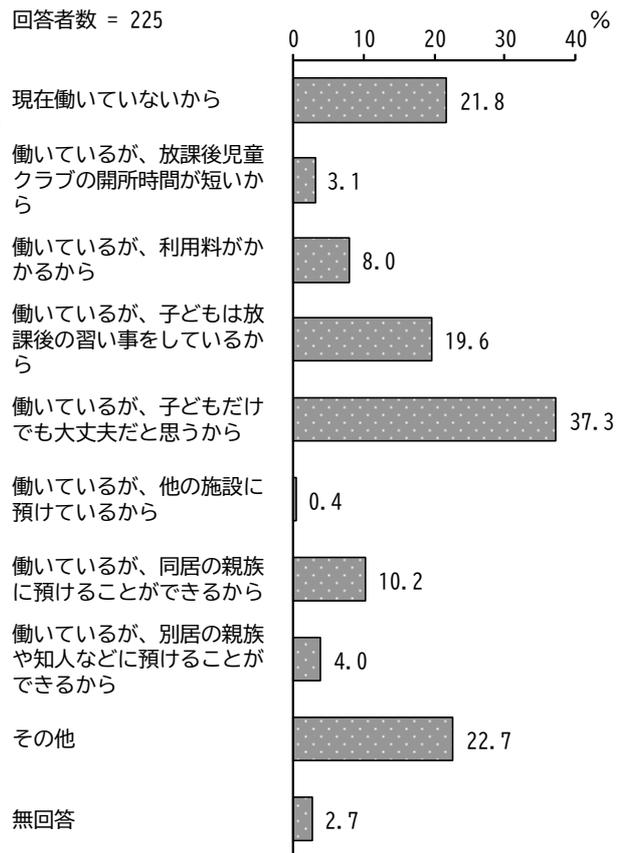
「おやつ」、「子どもが楽しく過ごしていない」が2件となっています。「支援員の子どもへの接し方」、「行事」「預かり時間」「支援員などの配置状況（人員体制）」が1件となっています。

回答者数 = 4



問 28-5 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「働いているが、子どもだけでも大丈夫だと思うから」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「現在働いていないから」の割合が 21.8%、「働いているが、子どもは放課後の習い事をしているから」の割合が 19.6%となっています。



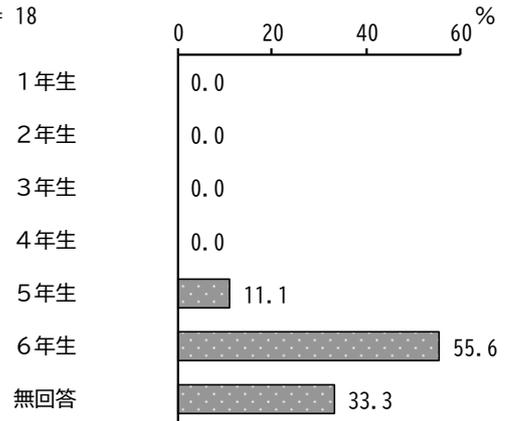
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	現在働いていないから	働いているが、放課後児童クラブの開所時間が短いから	働いているが、利用料がかかるから	働いているが、子どもは放課後の習い事をしているから	働いているが、子どもだけでも大丈夫だと思うから	働いているが、他の施設に預けているから	働いているが、同居の親族に預けることができるから	働いているが、別居の親族や知人などに預けることができるから	その他	無回答
全体	225	21.8	3.1	8.0	19.6	37.3	0.4	10.2	4.0	22.7	2.7
生活困難層	12	41.7	—	8.3	8.3	8.3	—	16.7	—	16.7	16.7
非生活困難層	194	20.6	3.6	8.8	20.6	38.7	0.5	8.8	4.6	23.2	2.1

問 29 あて名のお子さんについて、放課後児童クラブを何年生まで利用したいですか。

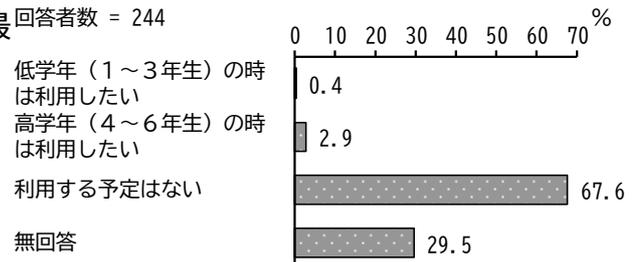
「6年生」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「5年生」の割合が 11.1%となっています。 回答者数 = 18



問 30 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日、祝日に、放課後児童クラブを利用したいですか。(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。また利用したい場合は、時間帯も記入してください。事業の利用には、一定の利用者負担があります。

(1) 土曜日

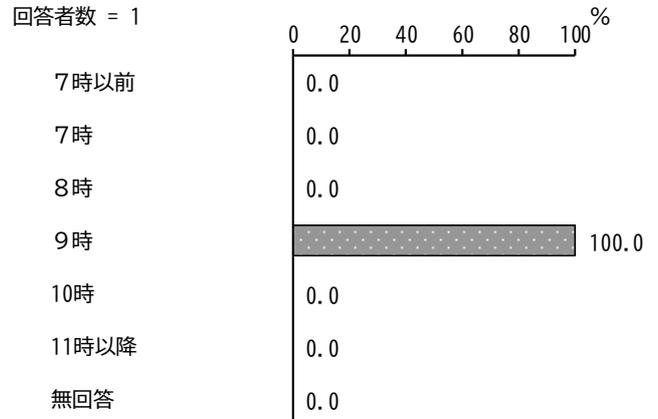
「利用する予定はない」の割合が 67.6%と最も高くなっています。 回答者数 = 244



低学年の時

希望する利用開始時間

「9時」が1件となっています。 回答者数 = 1

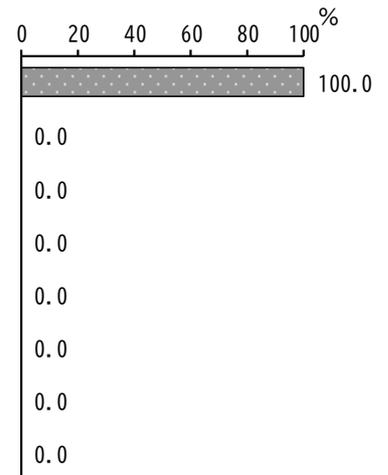


希望する利用終了時間

「16時以前」が1件となっています。

回答者数 = 1

16時以前
16時
17時
18時
19時
20時
21時以降
無回答



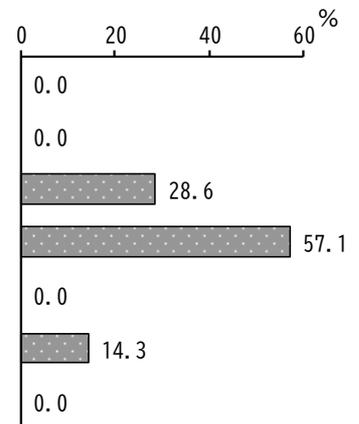
高学年の時

希望する利用開始時間

「9時」が4件となっています。「8時」が2件、「11時以降」が1件となっています。

回答者数 = 7

7時以前
7時
8時
9時
10時
11時以降
無回答

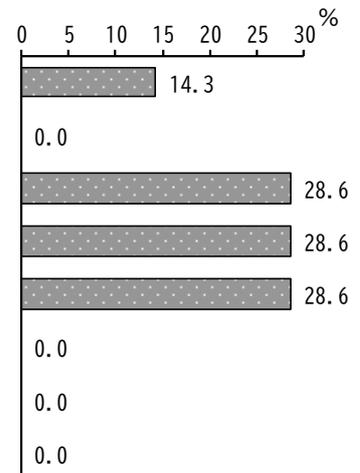


希望する利用終了時間

「17時」、「18時」、「19時」が2件となっています。

回答者数 = 7

16時以前
16時
17時
18時
19時
20時
21時以降
無回答

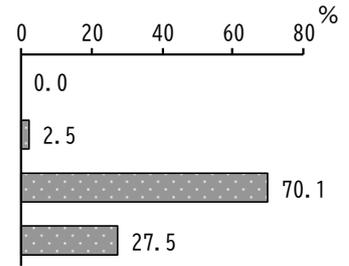


(2) 日曜日、祝日

「利用する予定はない」の割合が 70.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 244

- 低学年（1～3年生）の時は利用したい
- 高学年（4～6年生）の時は利用したい
- 利用する予定はない
- 無回答



低学年の時

希望する利用開始時間

有効回答がありませんでした。

希望する利用終了時間

有効回答がありませんでした。

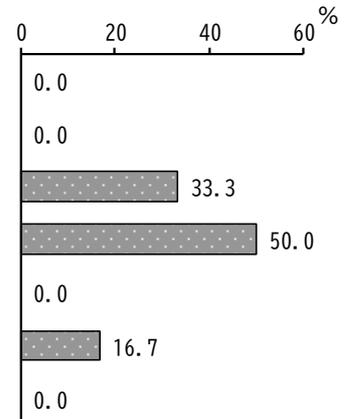
高学年の時

希望する利用開始時間

「9時」が3件となっています。「8時」が2件、「11時以降」が1件となっています。

回答者数 = 6

- 7時以前
- 7時
- 8時
- 9時
- 10時
- 11時以降
- 無回答

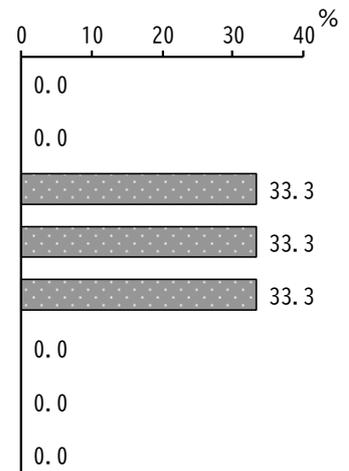


希望する利用終了時間

「17時」、「18時」、「19時」が2件となっています。

回答者数 = 6

- 16時以前
- 16時
- 17時
- 18時
- 19時
- 20時
- 21時以降
- 無回答

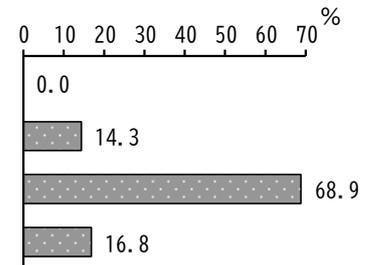


問 31 お子さんの夏休み、冬休みなどの長期の休暇期間中に放課後児童クラブを利用したいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また利用したい場合は、時間帯も記入してください。事業の利用には、一定の利用者負担があります。

「利用する予定はない」の割合が 68.9%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）の時は利用したい」の割合が 14.3%となっています。

回答者数 = 244

低学年（1～3年生）の時は利用したい
 高学年（4～6年生）の時は利用したい
 利用する予定はない
 無回答



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	低学年 (1～3年生) の時は利用したい	高学年 (4～6年生) の時は利用したい	利用する予定はない	無回答
全 体	244	—	14.3	68.9	16.8
生活困難層	13	—	23.1	38.5	38.5
非生活困難層	211	—	14.7	69.2	16.1

低学年の時の希望する利用開始時間
有効回答がありませんでした。

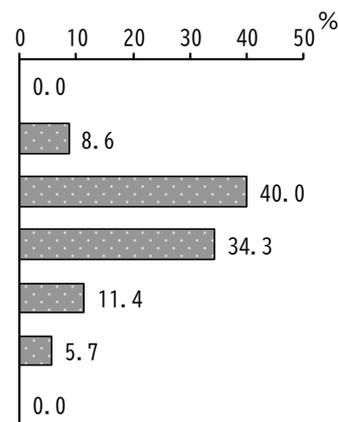
低学年の時の希望する利用終了時間
有効回答がありませんでした。

高学年の時の希望する利用開始時間

「8時」の割合が40.0%と最も高く、次いで「9時」の割合が34.3%、「10時」の割合が11.4%となっています。

回答者数 = 35

7時以前
7時
8時
9時
10時
11時以降
無回答

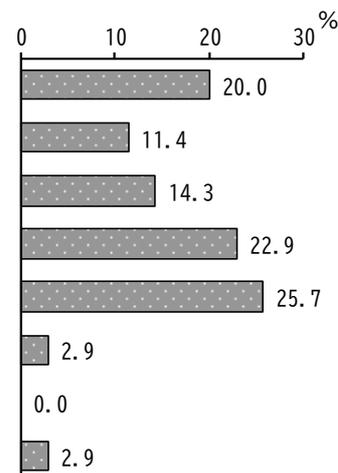


高学年の時の希望する利用終了時間

「19時」の割合が25.7%と最も高く、次いで「18時」の割合が22.9%、「16時以前」の割合が20.0%となっています。

回答者数 = 35

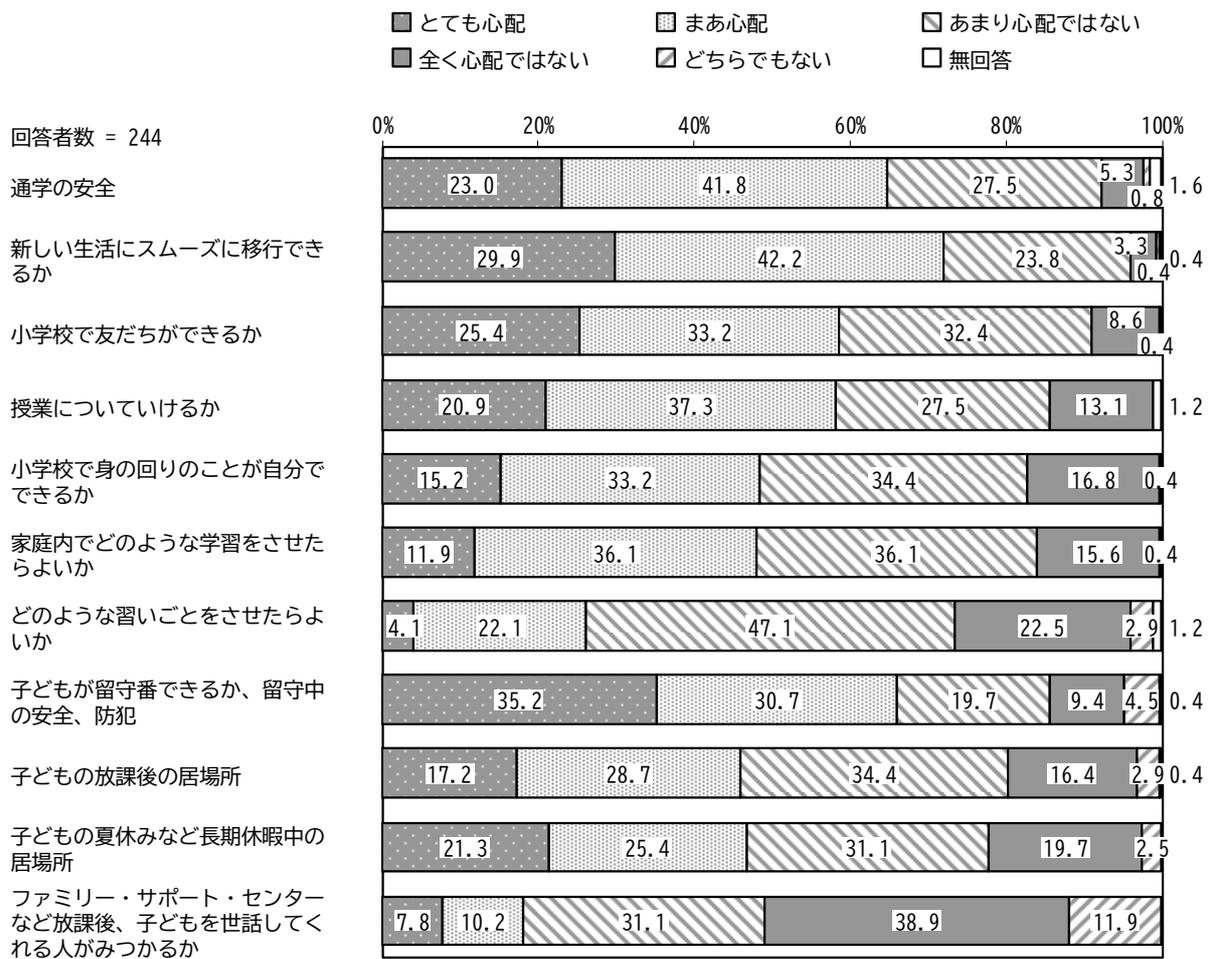
16時以前
16時
17時
18時
19時
20時
21時以降
無回答



(7) 学校生活について

問 32 あて名のお子さんが小学校に入学した時に心配だったことについて、その程度をお答えください。(それぞれ○は1つ)

『新しい生活にスムーズに移行できるか』で「とても心配」と「まあ心配」を合わせた“心配”の割合が高くなっています。また、『どのような習いごとをさせたらよいか』『ファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人がみつかるか』で「あまり心配ではない」と「全く心配ではない」を合わせた“心配ではない”の割合が高くなっています。



通学の安全

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	とても心配	まあ心配	あまり心配ではない	全く心配ではない	どちらでもない	無回答
全体	244	23.0	41.8	27.5	5.3	0.8	1.6
生活困難層	13	23.1	53.8	7.7	7.7	7.7	—
非生活困難層	211	21.8	41.2	29.4	5.7	0.5	1.4

新しい生活にスムーズに移行できるか

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	とても心配	まあ心配	あまり心配ではない	全く心配ではない	どちらでもない	無回答
全体	244	29.9	42.2	23.8	3.3	0.4	0.4
生活困難層	13	38.5	38.5	15.4	—	7.7	—
非生活困難層	211	28.9	42.7	24.2	3.8	—	0.5

小学校で友だちができるか

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	とても心配	まあ心配	あまり心配ではない	全く心配ではない	どちらでもない	無回答
全体	244	25.4	33.2	32.4	8.6	0.4	—
生活困難層	13	15.4	15.4	38.5	23.1	7.7	—
非生活困難層	211	25.6	34.6	31.8	8.1	—	—

授業についていけるか

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	とても心配	まあ心配	あまり心配ではない	全く心配ではない	どちらでもない	無回答
全体	244	20.9	37.3	27.5	13.1	—	1.2
生活困難層	13	38.5	38.5	15.4	—	—	7.7
非生活困難層	211	19.0	38.9	28.4	12.8	—	0.9

小学校で身の回りのことが自分でできるか

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	とても心配	まあ心配	あまり心配ではない	全く心配ではない	どちらでもない	無回答
全体	244	15.2	33.2	34.4	16.8	0.4	—
生活困難層	13	15.4	15.4	46.2	15.4	7.7	—
非生活困難層	211	15.2	35.1	33.2	16.6	—	—

家庭内でどのような学習をさせたらよいか

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	とても心配	まあ心配	あまり心配ではない	全く心配ではない	どちらでもない	無回答
全体	244	11.9	36.1	36.1	15.6	0.4	—
生活困難層	13	15.4	23.1	46.2	7.7	7.7	—
非生活困難層	211	11.8	37.0	35.5	15.6	—	—

どのような習いごとをさせたらよいか

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	とても心配	まあ心配	あまり心配ではない	全く心配ではない	どちらでもない	無回答
全体	244	4.1	22.1	47.1	22.5	2.9	1.2
生活困難層	13	15.4	15.4	46.2	15.4	7.7	—
非生活困難層	211	3.8	23.2	47.9	21.3	2.4	1.4

子どもが留守番できるか、留守中の安全、防犯

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	とても心配	まあ心配	あまり心配ではない	全く心配ではない	どちらでもない	無回答
全体	244	35.2	30.7	19.7	9.4	4.5	0.4
生活困難層	13	30.8	15.4	30.8	15.4	7.7	—
非生活困難層	211	34.6	31.8	19.4	9.0	4.7	0.5

子どもの放課後の居場所

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	とても心配	まあ心配	あまり心配ではない	全く心配ではない	どちらでもない	無回答
全体	244	17.2	28.7	34.4	16.4	2.9	0.4
生活困難層	13	15.4	23.1	30.8	15.4	15.4	—
非生活困難層	211	16.6	29.9	34.1	16.6	2.4	0.5

子どもの夏休みなど長期休暇中の居場所

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	とても心配	まあ心配	あまり心配ではない	全く心配ではない	どちらでもない	無回答
全 体	244	21.3	25.4	31.1	19.7	2.5	—
生活困難層	13	23.1	15.4	38.5	7.7	15.4	—
非生活困難層	211	20.4	26.5	30.3	20.9	1.9	—

ファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人がみつかるか

【生活貧困別】

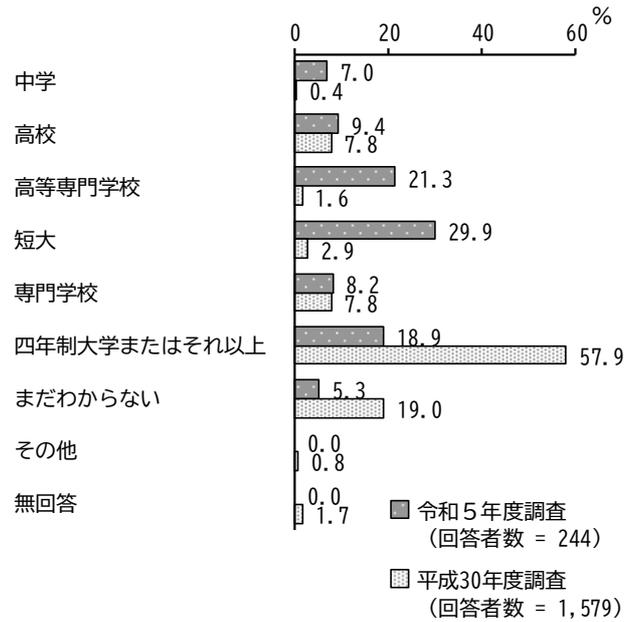
単位：％

区分	回答者数(件)	とても心配	まあ心配	あまり心配ではない	全く心配ではない	どちらでもない	無回答
全 体	244	7.8	10.2	31.1	38.9	11.9	—
生活困難層	13	7.7	—	38.5	30.8	23.1	—
非生活困難層	211	7.6	11.4	30.3	39.8	10.9	—

問 33 お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。(○は1つ)

「短大」の割合が 29.9%と最も高く、次いで「高等専門学校」の割合が 21.3%、「四年制大学またはそれ以上」の割合が 18.9%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「中学」「高等専門学校」「短大」の割合が増加しています。一方、「四年制大学またはそれ以上」「まだわからない」の割合が減少しています。



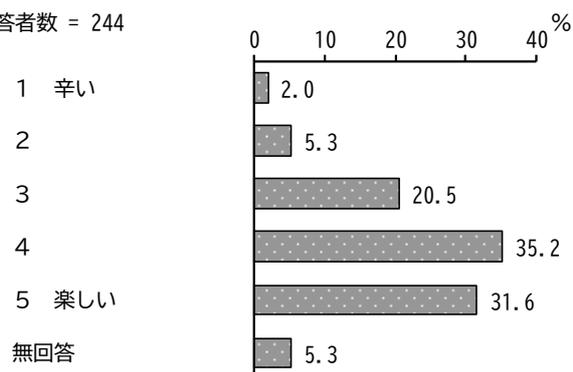
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	中学	高校	高等専門学校	短大	専門学校	それ以上 四年制大学または それ以上	まだわからない	その他	無回答
全 体	244	7.0	9.4	21.3	29.9	8.2	18.9	5.3	—	—
生活困難層	21	9.5	4.8	19.0	28.6	9.5	19.0	9.5	—	—
非生活困難層	203	6.4	10.3	20.2	30.5	7.4	20.7	4.4	—	—

問 36 あなたは、子育てが楽しいですか。それとも辛いですか。
 (あてはまる番号に○を1つ)

「4」の割合が 35.2%と最も高く、次いで 回答者数 = 244
 「5 楽しい」の割合が 31.6%、「3」の割合が
 20.5%となっています。



【生活貧困別】

単位：%

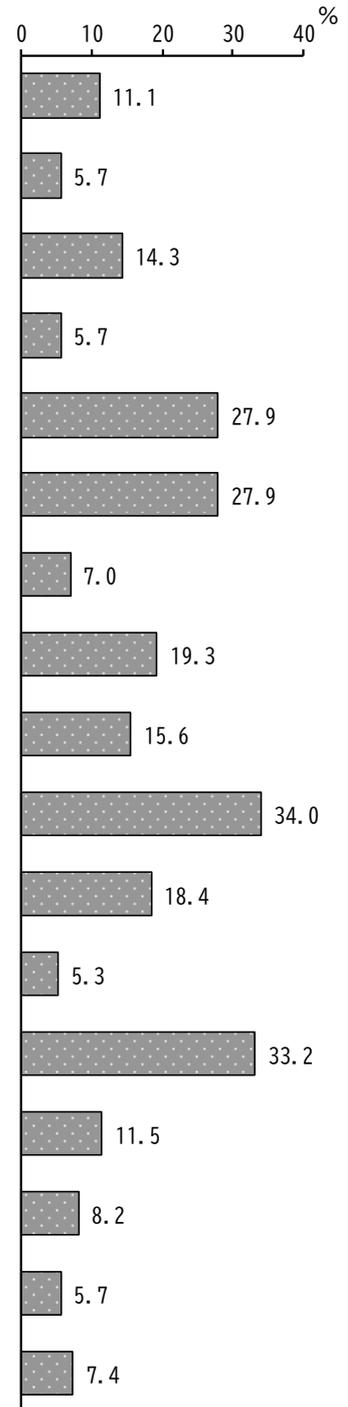
区分	回答者数 (件)	1 辛い	2	3	4	5 楽しい	無回答
全 体	244	2.0	5.3	20.5	35.2	31.6	5.3
生活困難層	21	4.8	—	28.6	28.6	38.1	—
非生活困難層	203	2.0	5.9	20.2	35.5	30.5	5.9

問 37 子育てをする中で、どのような支援、対策が有効だと思いますか。
(〇は3つまで)

「子どもが安心して遊べる公園などの施設を整備する」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「犯罪や事故から子どもを守る体制を整備する」の割合が 33.2%、「質の高い教育を受けられる環境を整備する」、「子育てしやすい労働環境に向けて企業への啓発を行う」の割合が 27.9%となっています。

回答者数 = 244

- 子育てに関する相談体制を充実する
- ファミリー・サポート・センターなど、地域住民による子育て支援を充実する
- 子育て中の親や子どもが気軽に集うことのできる場所、機会を提供する
- 妊娠、出産、乳幼児健診などの母子保健対策を充実する
- 質の高い教育を受けられる環境を整備する
- 子育てしやすい労働環境に向けて企業への啓発を行う
- 子どもへの虐待防止対策を充実させる
- 働く状況にかかわらず誰でも利用できる、民間の保育サービスへの支援を行う
- 保育所、放課後児童クラブなど、働きながら子どもを預ける施設を増やす
- 子どもが安心して遊べる公園などの施設を整備する
- 安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
- 子育て世帯の公営住宅への優先入居など、住宅面での配慮、支援を行う
- 犯罪や事故から子どもを守る体制を整備する
- 子育てに関する不安や負担、孤立感に関する悩みの相談体制を充実する
- 子どもの発達や障害に関する相談体制を充実する
- その他
- 無回答



【生活貧困別】

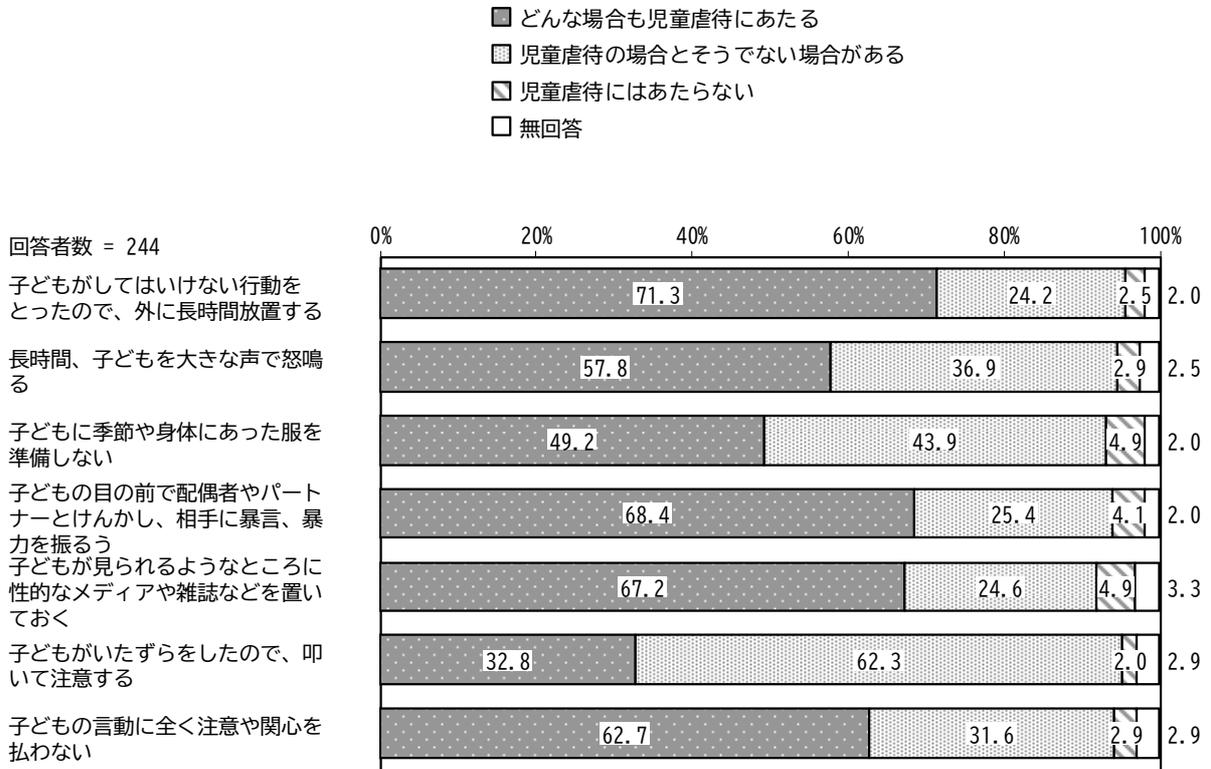
単位：％

区分	回答者数(件)	子育てに関する相談体制を充実する	ファミリー・サポート・センターなど、地域住民による子育て支援を充実する	子育て中の親や子どもが気軽に集うことのできる場所、機会を提供する	妊娠、出産、乳幼児健診などの母子保健対策を充実する	質の高い教育を受けられる環境を整備する	子育てしやすい労働環境に向けて企業への啓発を行う	子どもへの虐待防止対策を充実させる	働く状況にかかわらず誰でも利用できる、民間の保育サービスへの支援を行う
全体	244	11.1	5.7	14.3	5.7	27.9	27.9	7.0	19.3
生活困難層	21	9.5	—	19.0	4.8	4.8	33.3	4.8	9.5
非生活困難層	203	11.8	6.9	14.3	6.4	29.1	28.1	6.9	20.2

区分	保育所、放課後児童クラブなど、働きながら子どもを預ける施設を増やす	子どもが安心して遊べる公園などの施設を整備する	安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する	子育て世帯の公営住宅への優先入居など、住宅面での配慮、支援を行う	子育て中世帯の公営住宅への優先入居など、住宅面での配慮、支援を行う	犯罪や事故から子どもを守る体制を整備する	子育てに関する不安や負担、孤立感に関する悩みの相談体制を充実する	子どもの発達や障害に関する相談体制を充実する	その他	無回答
全体	15.6	34.0	18.4	5.3	33.2	11.5	8.2	5.7	7.4	
生活困難層	9.5	33.3	14.3	33.3	47.6	9.5	9.5	4.8	4.8	
非生活困難層	16.7	32.5	19.7	2.5	31.0	11.8	8.4	5.4	7.4	

問 38 下記の行動は、「児童虐待」にあたると思いますか。(それぞれ○は1つ)

『子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する』で「どんな場合も児童虐待にあたる」の割合が、『子どもがいたずらをしたので、叩いて注意する』で「児童虐待の場合とそうでない場合がある」の割合が高くなっています。



子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する
【生活困窮別】

単位：%

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらない	無回答
全体	244	71.3	24.2	2.5	2.0
生活困窮層	21	71.4	19.0	9.5	—
非生活困窮層	203	69.5	26.1	2.0	2.5

長時間、子どもを大きな声で怒鳴る

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらぬ	無回答
全体	244	57.8	36.9	2.9	2.5
生活困難層	21	52.4	33.3	14.3	—
非生活困難層	203	57.6	37.4	2.0	3.0

子どもに季節や身体にあった服を準備しない

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらぬ	無回答
全体	244	49.2	43.9	4.9	2.0
生活困難層	21	47.6	38.1	14.3	—
非生活困難層	203	47.8	45.3	4.4	2.5

子どもの目の前で配偶者やパートナーとけんかし、相手に暴言、暴力を振るう

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらぬ	無回答
全体	244	68.4	25.4	4.1	2.0
生活困難層	21	76.2	19.0	4.8	—
非生活困難層	203	67.5	25.6	4.4	2.5

子どもが見られるようなところに性的なメディアや雑誌などを置いておく

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらぬ	無回答
全体	244	67.2	24.6	4.9	3.3
生活困難層	21	66.7	23.8	9.5	—
非生活困難層	203	67.5	23.6	4.9	3.9

子どもがいたずらをしたので、叩いて注意する

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらぬ	無回答
全体	244	32.8	62.3	2.0	2.9
生活困難層	21	42.9	52.4	4.8	—
非生活困難層	203	30.5	64.0	2.0	3.4

子どもの言動に全く注意や関心を払わない

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらぬ	無回答
全体	244	62.7	31.6	2.9	2.9
生活困難層	21	61.9	28.6	9.5	—
非生活困難層	203	62.1	32.0	2.5	3.4

問 39 あなたが、児童虐待について知っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること」の割合が 71.3%と最も高く、次いで「通告は匿名でもできること」の割合が 56.1%、「虐待に関する相談窓口」の割合が 36.9%となっています。

回答者数 = 244

児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること

具体的な通告先

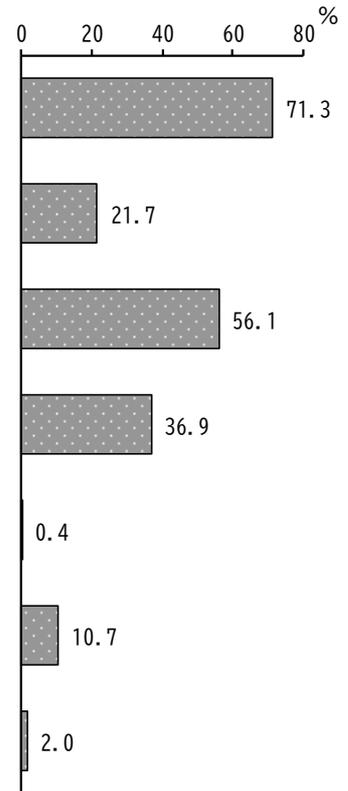
通告は匿名でもできること

虐待に関する相談窓口

その他

いずれも知らない

無回答



【生活貧困別】

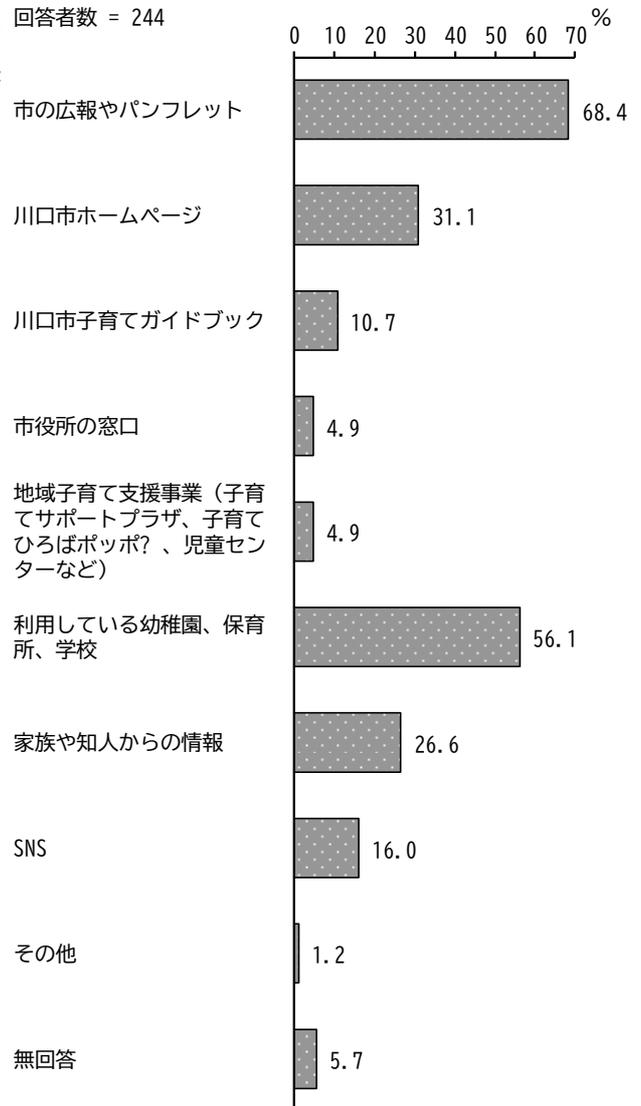
単位：%

区分	回答者数(件)	児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること	具体的な通告先	通告は匿名でもできること	虐待に関する相談窓口	その他	いずれも知らない	無回答
全体	244	71.3	21.7	56.1	36.9	0.4	10.7	2.0
生活困難層	21	76.2	9.5	42.9	38.1	—	9.5	—
非生活困難層	203	71.9	23.2	58.1	36.0	0.5	9.9	2.5

問 40 あなたは、市の子どもに関する施策などの情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後どのような方法で受け取りたいですか。
 (あてはまるものすべてに○)

A 現在の受け取り方法

「市の広報やパンフレット」の割合が 68.4% 回答者数 = 244
 と最も高く、次いで「利用している幼稚園、保
 育所、学校」の割合が 56.1%、「川口市ホームペ
 ージ」の割合が 31.1%となっています。



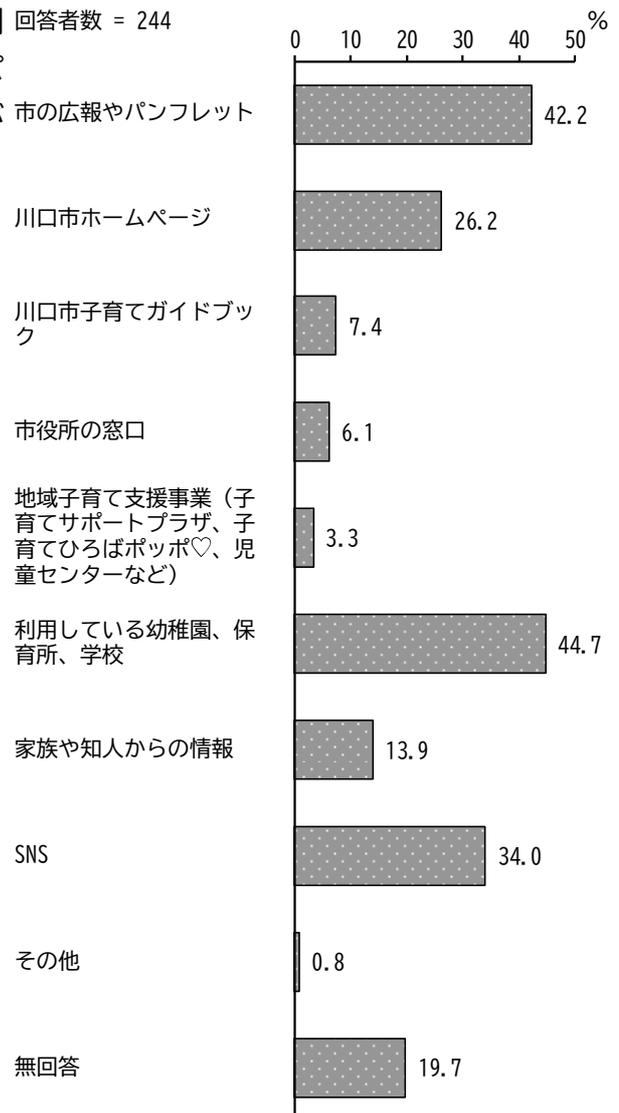
【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	市の広報やパンフレット	川口市ホームページ	川口市子育てガイドブック	市役所の窓口	子育てひろばポッポ♡、児童センターなど)	利用している幼稚園、保育所、学校	家族や知人からの情報	SNS	その他	無回答
全 体	244	68.4	31.1	10.7	4.9	4.9	56.1	26.6	16.0	1.2	5.7
生活困難層	21	23.8	28.6	9.5	4.8	—	38.1	23.8	19.0	—	14.3
非生活困難層	203	75.4	31.0	10.8	5.4	5.4	58.6	28.6	15.3	1.5	5.4

B 今後、受け取りたい方法

「利用している幼稚園、保育所、学校」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「市の広報やパンフレット」の割合が 42.2%、「SNS」の割合が 34.0%となっています。



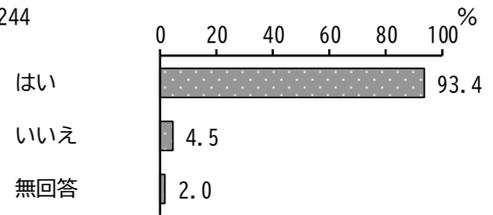
【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	市の広報やパンフレット	川口市ホームページ	川口市子育てガイドブック	市役所の窓口	子育てひろばポッポ♡、児童センターなど)	利用している幼稚園、保育所、学校	家族や知人からの情報	SNS	その他	無回答
全体	244	42.2	26.2	7.4	6.1	3.3	44.7	13.9	34.0	0.8	19.7
生活困難層	21	23.8	23.8	4.8	9.5	—	38.1	9.5	28.6	—	14.3
非生活困難層	203	44.8	27.1	7.9	5.9	3.4	45.3	15.3	34.0	1.0	20.2

問 41 あて名のお子さんは、幼稚園や保育所などを利用していましたか。(○は1つ)

「はい」の割合が93.4%、「いいえ」の割合が 回答者数 = 244
4.5%となっています。



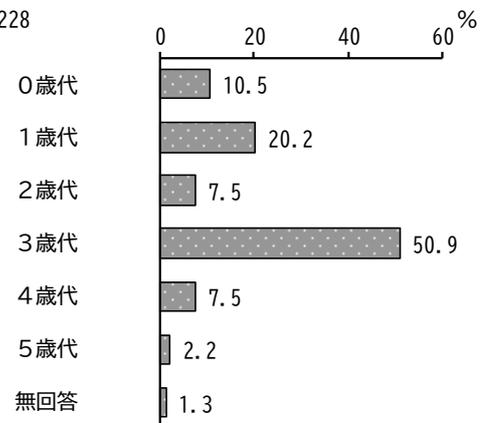
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	244	93.4	4.5	2.0
生活困難層	21	95.2	4.8	—
非生活困難層	203	92.6	4.9	2.5

実際の利用開始時期

「3歳代」の割合が50.9%と最も高く、次いで「1歳代」の割合が20.2%、「0歳代」の割合が10.5%となっています。



【生活貧困別】

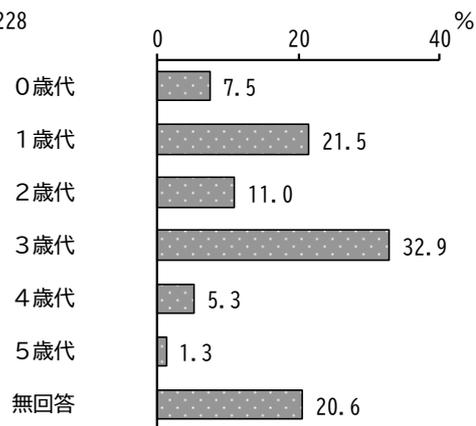
単位：%

区分	回答者数 (件)	0歳代	1歳代	2歳代	3歳代	4歳代	5歳代	無回答
全 体	228	10.5	20.2	7.5	50.9	7.5	2.2	1.3
生活困難層	20	10.0	5.0	15.0	55.0	5.0	5.0	5.0
非生活困難層	188	10.1	21.3	6.4	51.1	8.0	2.1	1.1

希望の利用開始時期

「3歳代」の割合が32.9%と最も高く、次いで「1歳代」の割合が21.5%、「2歳代」の割合が11.0%となっています。

回答者数 = 228



【生活貧困別】

単位：%

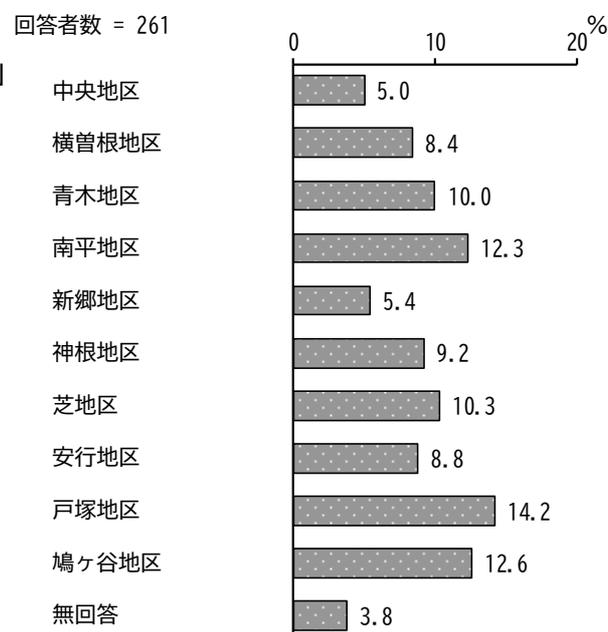
区分	回答者数(件)	0歳代	1歳代	2歳代	3歳代	4歳代	5歳代	無回答
全体	228	7.5	21.5	11.0	32.9	5.3	1.3	20.6
生活困難層	20	10.0	—	20.0	35.0	10.0	—	25.0
非生活困難層	188	6.4	23.9	9.6	33.0	4.8	1.6	20.7

6 中学生保護者

(1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

問1 お住まいの地区はどちらですか。(〇は1つ)

「戸塚地区」の割合が 14.2%と最も高く、次いで「鳩ヶ谷地区」の割合が 12.6%、「南平地区」の割合が 12.3%となっています。

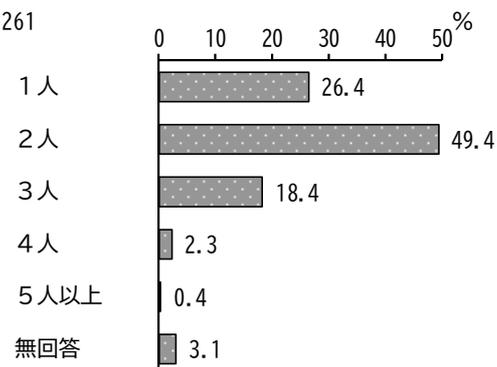


問3 あて名のお子さんのきょうだいは、何人いますか。2人以上のお子さんがいる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。(内に数字でご記入ください。)

きょうだい数

「2人」の割合が49.4%と最も高く、次いで「1人」の割合が26.4%、「3人」の割合が18.4%となっています。

回答者数 = 261



【生活貧困別】

単位：%

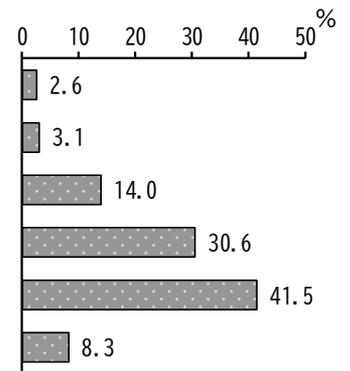
区分	回答者数(件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体	261	26.4	49.4	18.4	2.3	0.4	3.1
生活困難層	15	20.0	40.0	26.7	13.3	—	—
非生活困難層	229	27.9	52.0	17.9	1.7	0.4	—

末子の年齢

「12～14歳」の割合が41.5%と最も高く、次いで「9～11歳」の割合が30.6%、「6～8歳」の割合が14.0%となっています。

回答者数 = 193

0～2歳
3～5歳
6～8歳
9～11歳
12～14歳
無回答



【生活貧困別】

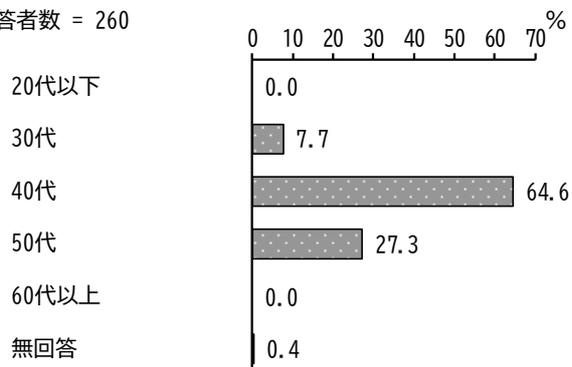
単位：%

区分	回答者数(件)	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	無回答
全体	193	2.6	3.1	14.0	30.6	41.5	8.3
生活困難層	12	8.3	—	16.7	25.0	50.0	—
非生活困難層	165	2.4	3.6	14.5	32.7	43.0	3.6

問4 あて名のお子さんの母親、父親の現在の年齢を教えてください。
(それぞれ〇は1つ)

母親

「40代」の割合が64.6%と最も高く、次いで「50代」の割合が27.3%となっています。 回答者数 = 260



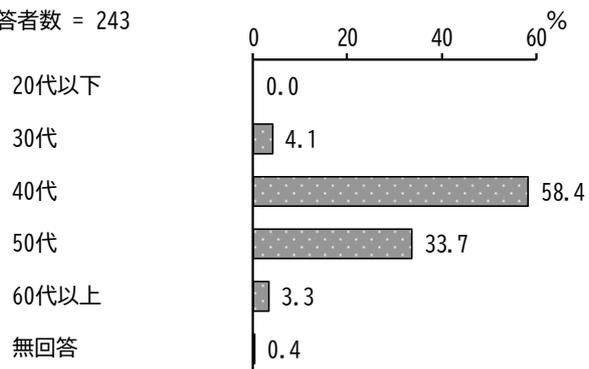
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	無回答
全体	260	—	7.7	64.6	27.3	—	0.4
生活困難層	15	—	6.7	73.3	20.0	—	—
非生活困難層	228	—	7.5	64.9	27.6	—	—

父親

「40代」の割合が58.4%と最も高く、次いで回答者数 = 243
 「50代」の割合が33.7%となっています。



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	無回答
全体	243	—	4.1	58.4	33.7	3.3	0.4
生活困難層	10	—	10.0	70.0	—	20.0	—
非生活困難層	218	—	3.2	58.7	34.9	2.8	0.5

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

「母親」の割合が 83.5%、「父親」の割合が 12.3%となっています。

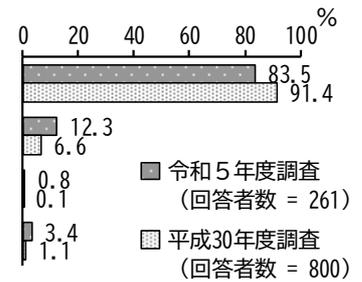
平成 30 年度調査と比較すると、「父親」の割合が増加しています。一方、「母親」の割合が減少しています。

母親

父親

その他

無回答



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	母親	父親	その他	無回答
全体	261	83.5	12.3	0.8	3.4
生活困難層	15	80.0	20.0	—	—
非生活困難層	229	83.0	12.2	0.9	3.9

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶者、パートナーの有無についてお答えください。(〇は1つ)

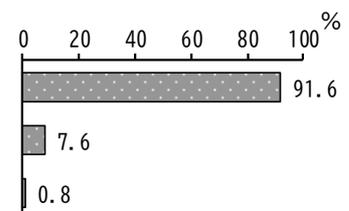
「配偶者（パートナー）がいる」の割合が 91.6%、「配偶者（パートナー）はいない」の割合が 7.6%となっています。

回答者数 = 250

配偶者（パートナー）がいる

配偶者（パートナー）はいない

無回答



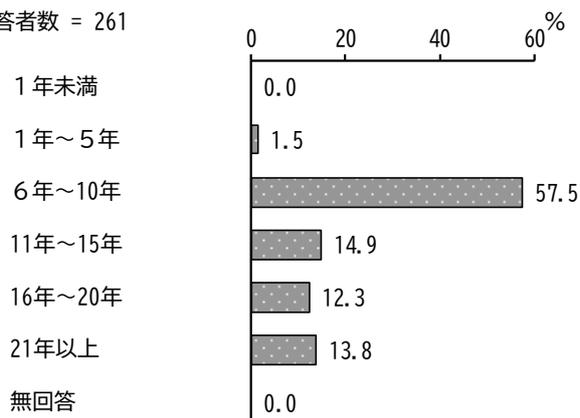
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者（パートナー）がいる	配偶者（パートナー）はいない	無回答
全体	250	91.6	7.6	0.8
生活困難層	15	66.7	33.3	—
非生活困難層	218	93.6	5.5	0.9

問7 川口市に通算で何年お住まいですか。(〇は1つ)

「6年～10年」の割合が57.5%と最も高く、回答者数 = 261
 次いで「11年～15年」の割合が14.9%、「21年
 以上」の割合が13.8%となっています。



【生活貧困別】

単位：%

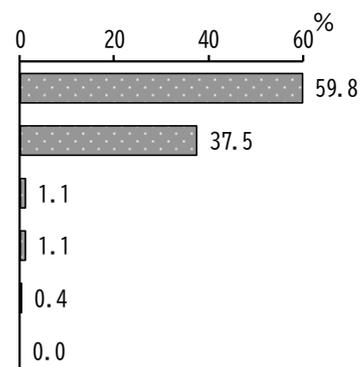
区分	回答者数 (件)	1年未満	1年～5年	6年～10年	11年～15年	16年～20年	21年以上	無回答
全体	261	—	1.5	57.5	14.9	12.3	13.8	—
生活困難層	15	—	6.7	53.3	6.7	20.0	13.3	—
非生活困難層	229	—	1.3	55.9	16.2	12.7	14.0	—

問8 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

「父母ともに」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 37.5%となっています。

回答者数 = 261

父母ともに
主に母親
主に父親
主に祖父母
その他
無回答



【生活貧困別】

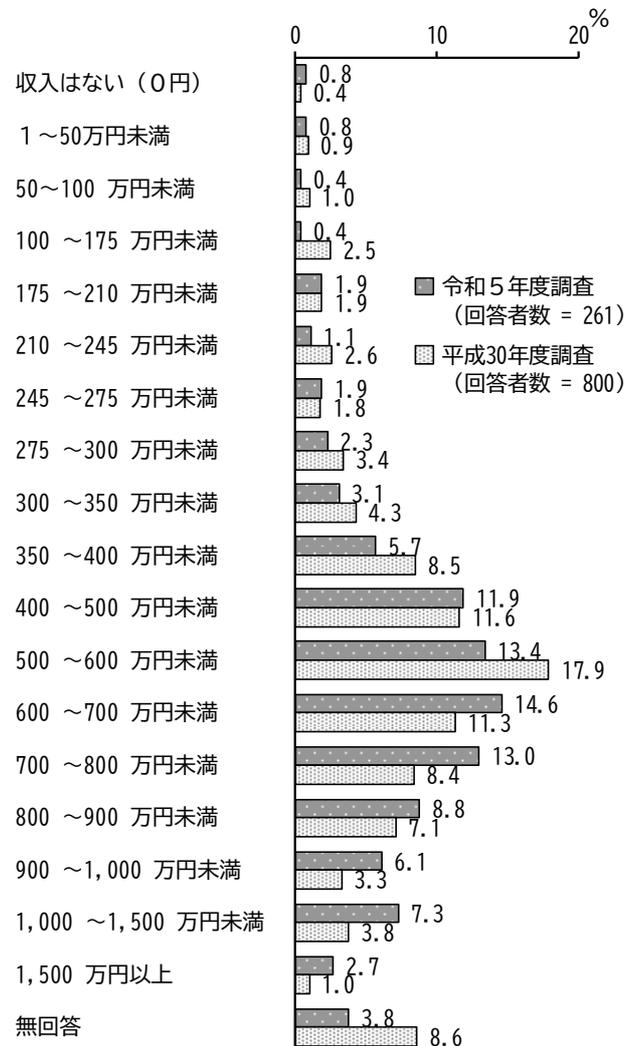
単位：%

区分	回答者数(件)	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全体	261	59.8	37.5	1.1	1.1	0.4	—
生活困難層	15	53.3	46.7	—	—	—	—
非生活困難層	229	61.1	36.2	1.3	0.9	0.4	—

問9 昨年1年間（2022年1月～2022年12月）のご家族の手取り収入（税金や保険料を引いた、実際に手元に入ってくるお金）の額を教えてください。（就労で得た収入のほか、公的な手当や援助による収入なども含めた1年間の手取り収入になります。）（○は1つ）

「600～700万円未満」の割合が14.6%と最も高く、次いで「500～600万円未満」の割合が13.4%、「700～800万円未満」の割合が13.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「600～700万円未満」「700～800万円未満」「800～900万円未満」「900～1,000万円未満」「1,000～1,500万円未満」の割合が増加しています。



【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	収入はない(0円)	1 ～ 50 万円未満	50 ～ 100 万円未満	100 ～ 175 万円未満	175 ～ 210 万円未満	210 ～ 245 万円未満	245 ～ 275 万円未満	275 ～ 300 万円未満	300 ～ 350 万円未満
全 体	261	0.8	0.8	0.4	0.4	1.9	1.1	1.9	2.3	3.1
生活困難層	15	6.7	13.3	6.7	6.7	33.3	13.3	6.7	13.3	—
非生活困難層	229	—	—	—	—	—	0.4	1.7	1.7	3.1

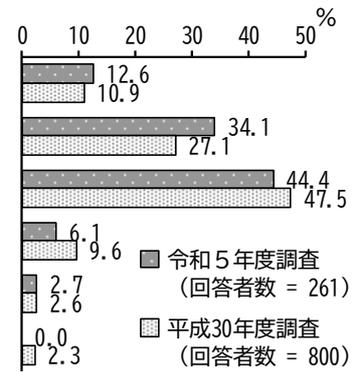
区分	350 ～ 400 万円未満	400 ～ 500 万円未満	500 ～ 600 万円未満	600 ～ 700 万円未満	700 ～ 800 万円未満	800 ～ 900 万円未満	900 ～ 1,000 万円未満	1,000 ～ 1,500 万円未満	1,500 万円以上	無回答
全 体	5.7	11.9	13.4	14.6	13.0	8.8	6.1	7.3	2.7	3.8
生活困難層	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非生活困難層	6.6	13.1	14.8	16.6	13.5	10.0	7.0	8.3	3.1	—

問10 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。
(〇は1つ)

「普通」の割合が44.4%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が34.1%、「大変苦しい」の割合が12.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「やや苦しい」の割合が増加しています。

大変苦しい
やや苦しい
普通
ややゆとりがある
十分ゆとりがある
無回答



【生活貧困別】

単位：%

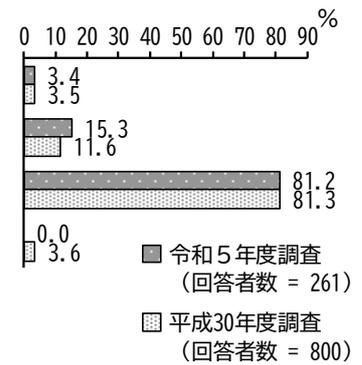
区分	回答者数(件)	大変苦しい	やや苦しい	普通	ややゆとりがある	十分ゆとりがある	無回答
全体	261	12.6	34.1	44.4	6.1	2.7	—
生活困難層	15	40.0	40.0	20.0	—	—	—
非生活困難層	229	10.0	34.9	45.0	7.0	3.1	—

問11 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料または衣類が買えないことがありましたか。(〇は1つ)

「なかった」の割合が81.2%と最も高く、次いで「ときどきあった」の割合が15.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

よくあった
ときどきあった
なかった
無回答



【生活貧困別】

単位：%

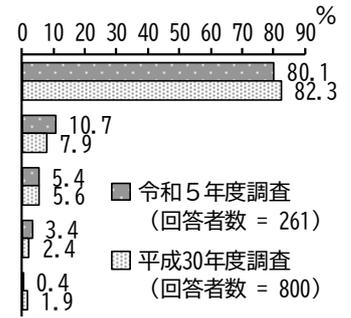
区分	回答者数(件)	よくあった	ときどきあった	なかった	無回答
全体	261	3.4	15.3	81.2	—
生活困難層	15	13.3	40.0	46.7	—
非生活困難層	229	1.7	12.7	85.6	—

問12 お子さんは、普段、朝食を食べていますか。この1か月を振り返って、最も当てはまる番号を選んでください。(〇は1つ)

「毎日食べる」の割合が80.1%と最も高く、次いで「食べる方が多い(週4～6日)」の割合が10.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

毎日食べる
 食べる方が多い
 (週4～6日)
 食べない方が多い
 (週1～3日)
 ほとんど食べない
 無回答



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	毎日食べる	食べる方が多い (週4～6日)	食べない方が多い (週1～3日)	ほとんど食べない	無回答
全体	261	80.1	10.7	5.4	3.4	0.4
生活困難層	15	73.3	13.3	6.7	6.7	—
非生活困難層	229	79.9	11.4	5.2	3.5	—

(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

問13 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族、知人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

「緊急時もしくは用事的时候には祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が50.2%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事的时候には子どもをみてもらえる友人、知人がいる」の割合が26.1%、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が20.7%となっています。

回答者数 = 261

日常的に祖父母などの親族にみてもらえる

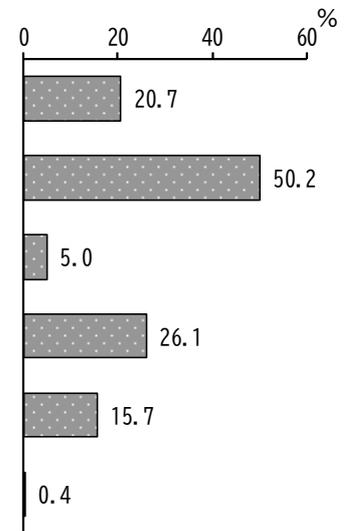
緊急時もしくは用事的时候には祖父母などの親族にみてもらえる

日常的に子どもをみてもらえる友人、知人がいる

緊急時もしくは用事的时候には子どもをみてもらえる友人、知人がいる

だれもない

無回答



【生活貧困別】

単位：%

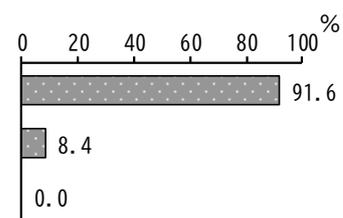
区分	回答者数(件)	日常的に祖父母などの親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事的时候には祖父母などの親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人、知人がいる	緊急時もしくは用事的时候には子どもをみてもらえる友人、知人がいる	だれもない	無回答
全体	261	20.7	50.2	5.0	26.1	15.7	0.4
生活困難層	15	6.7	46.7	—	26.7	20.0	—
非生活困難層	229	21.0	51.5	4.8	25.3	14.8	0.4

問 14 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。(○は1つ)

「いる／ある」の割合が91.6%、「いない／ない」の割合が8.4%となっています。

回答者数 = 261

いる／ある
いない／ない
無回答



【生活貧困別】

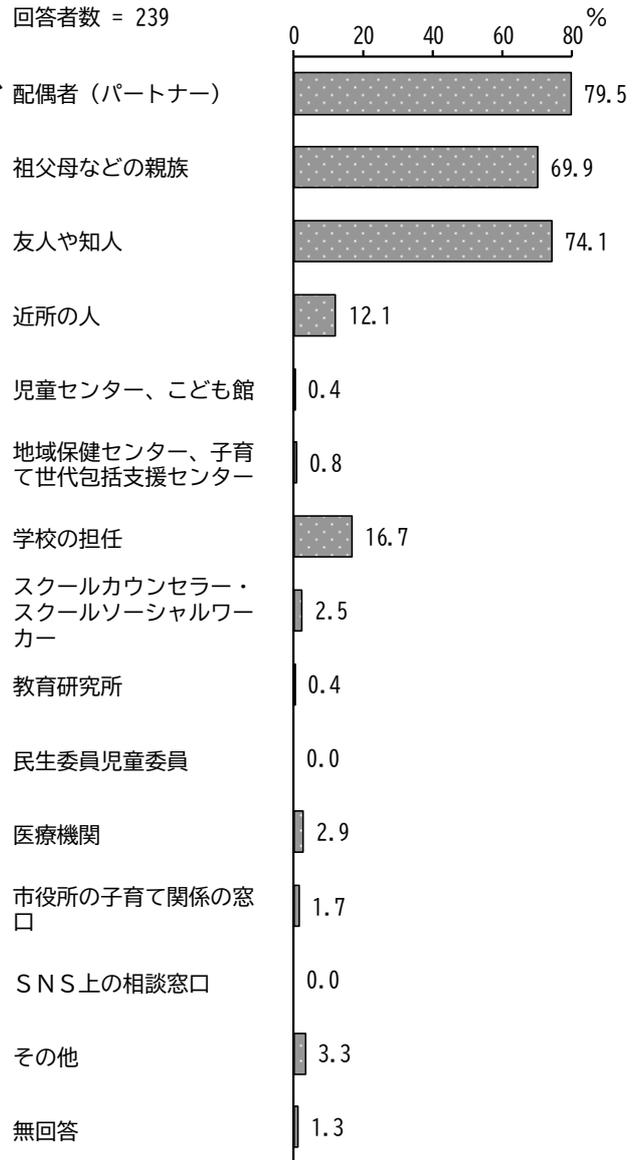
単位：%

区分	回答者数 (件)	いる／ある	いない／ない	無回答
全 体	261	91.6	8.4	—
生活困難層	15	86.7	13.3	—
非生活困難層	229	93.0	7.0	—

問 14-1 あて名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

「配偶者（パートナー）」の割合が79.5%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が74.1%、「祖父母などの親族」の割合が69.9%となっています。

回答者数 = 239



【生活貧困別】

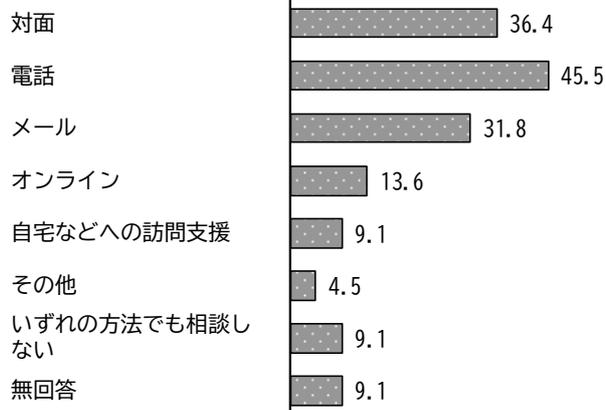
単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者(パートナー)	祖父母などの親族	友人や知人	近所の人	児童センター、こども館	地域保健センター、子育て世代包括支援センター	学校の担任	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	教育研究所	民生委員児童委員	医療機関	市役所の子育て関係の窓口	SNS上の相談窓口	その他	無回答
全体	239	79.5	69.9	74.1	12.1	0.4	0.8	16.7	2.5	0.4	-	2.9	1.7	-	3.3	1.3
生活困難層	13	61.5	69.2	69.2	-	-	-	7.7	-	-	-	7.7	7.7	-	7.7	-
非生活困難層	213	81.7	69.5	74.2	13.6	0.5	0.9	18.3	2.3	0.5	-	2.8	1.4	-	3.3	1.4

問15 今後、あて名のお子さんの子育てに関して困りごとが出てきた場合、どのような形で相談したいですか。(あてはまるものすべてに○)

「電話」の割合が45.5%と最も高く、次いで「対面」の割合が36.4%、「メール」の割合が31.8%となっています。

回答者数 = 22



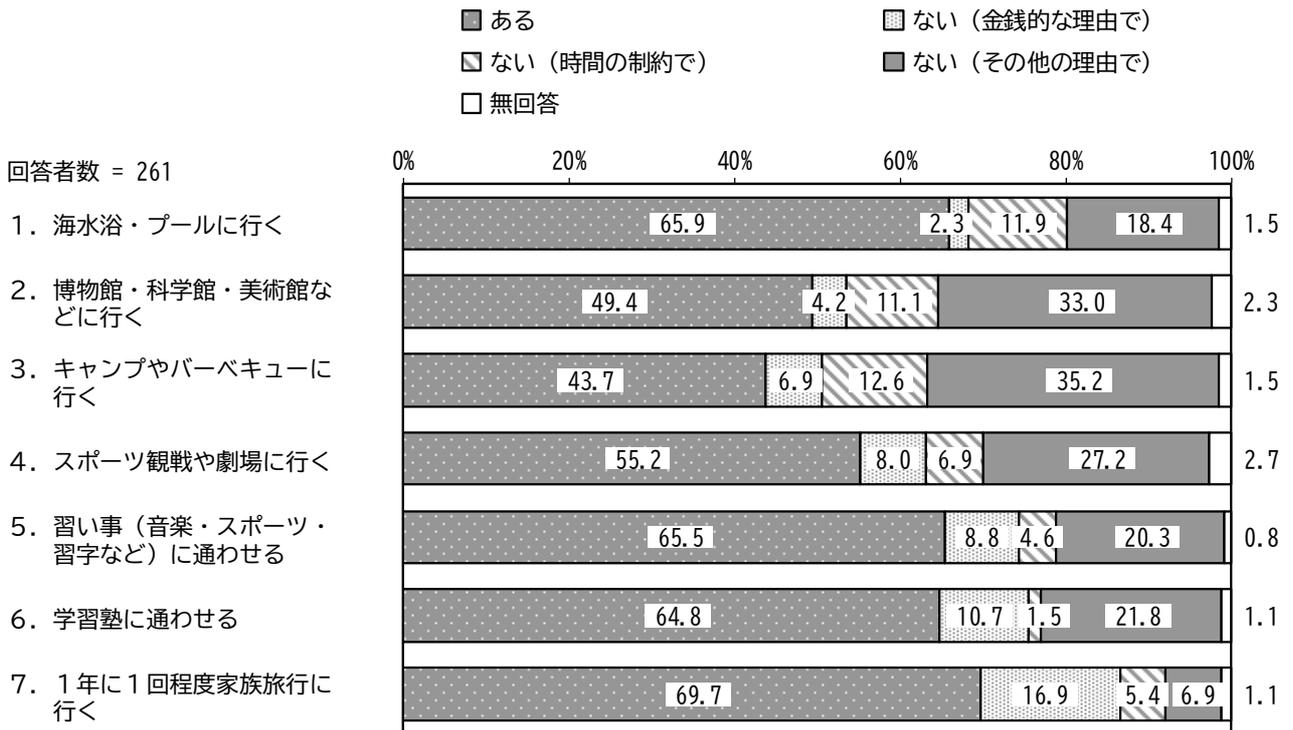
【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	対面	電話	メール	オンライン	訪問支援 自宅などへの	その他	いずれの方法でも 相談しない	無回答
全 体	22	36.4	45.5	31.8	13.6	9.1	4.5	9.1	9.1
生活困難層	2	—	100.0	—	—	—	—	—	—
非生活困難層	16	43.8	43.8	43.8	18.8	6.3	6.3	12.5	—

問 16 あなたの家庭では、お子さんと次のような体験をすることがありますか。
(それぞれ最もあてはまるものに○は1つ)

『2. 博物館・科学館・美術館などに行く』『3. キャンプやバーベキューに行く』で「ない
(その他の理由で)」の割合が高くなっています。



1. 海水浴・プールに行く

【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全 体	261	65.9	2.3	11.9	18.4	1.5
生活困難層	15	60.0	—	20.0	13.3	6.7
非生活困難層	229	66.8	2.6	11.8	17.5	1.3

2. 博物館・科学館・美術館などに行く

【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全 体	261	49.4	4.2	11.1	33.0	2.3
生活困難層	15	40.0	—	20.0	33.3	6.7
非生活困難層	229	50.7	4.4	10.9	32.3	1.7

3. キャンプやバーベキューに行く

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全 体	261	43.7	6.9	12.6	35.2	1.5
生活困難層	15	53.3	6.7	20.0	13.3	6.7
非生活困難層	229	43.7	7.4	12.7	35.4	0.9

4. スポーツ観戦や劇場に行く

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全 体	261	55.2	8.0	6.9	27.2	2.7
生活困難層	15	33.3	13.3	13.3	33.3	6.7
非生活困難層	229	57.2	8.3	7.0	25.3	2.2

5. 習い事(音楽・スポーツ・習字など)に通わせる

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全 体	261	65.5	8.8	4.6	20.3	0.8
生活困難層	15	40.0	26.7	—	26.7	6.7
非生活困難層	229	68.6	8.3	4.8	17.9	0.4

6. 学習塾に通わせる

【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全 体	261	64.8	10.7	1.5	21.8	1.1
生活困難層	15	53.3	20.0	—	20.0	6.7
非生活困難層	229	65.5	10.9	1.7	21.0	0.9

7. 1年に1回程度家族旅行に行く

【生活貧困別】

単位：%

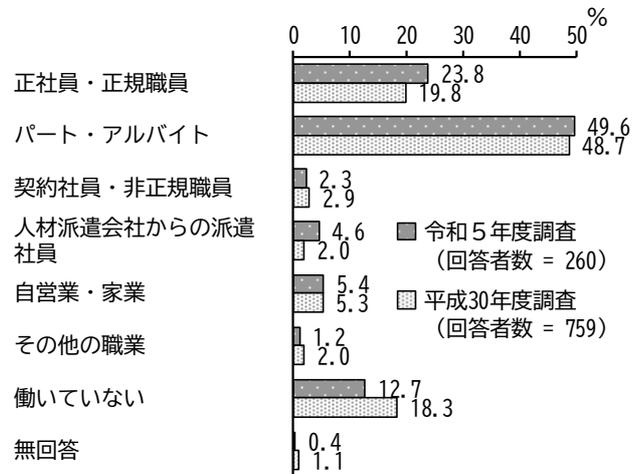
区分	回答者数(件)	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)	無回答
全 体	261	69.7	16.9	5.4	6.9	1.1
生活困難層	15	53.3	33.3	—	6.7	6.7
非生活困難層	229	71.6	15.3	5.7	6.6	0.9

(3) あて名のお子さんの保護者の働く状況について

問 17 お子さんのお母さんの現在の職業の雇用形態は、どれになりますか。
(○は1つ)

「パート・アルバイト」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「正社員・正規職員」の割合が 23.8%、「働いていない」の割合が 12.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「働いていない」の割合が減少しています。



【生活貧困別】

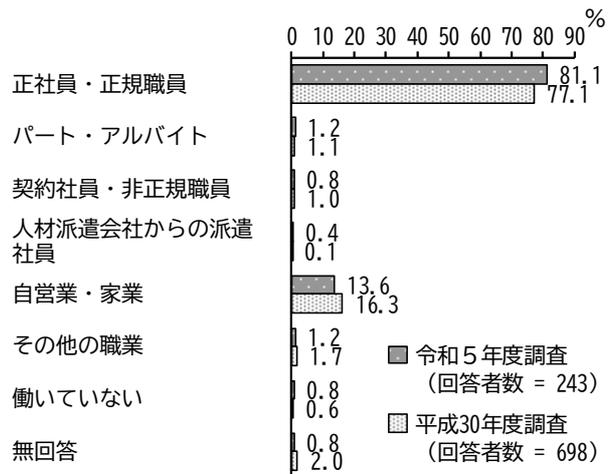
単位：%

区分	回答者数(件)	正社員・正規職員	パート・アルバイト	契約社員・非正規職員	人材派遣会社からの派遣社員	自営業・家業	その他の職業	働いていない	無回答
全 体	260	23.8	49.6	2.3	4.6	5.4	1.2	12.7	0.4
生活困難層	15	20.0	26.7	—	6.7	26.7	—	13.3	6.7
非生活困難層	228	24.1	51.3	1.8	4.8	4.4	1.3	12.3	—

問 18 お子さんのお父さんの現在の職業の雇用形態は、どれになりますか。
(○は1つ)

「正社員・正規職員」の割合が 81.1%と最も高く、次いで「自営業・家業」の割合が 13.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【生活貧困別】

単位：%

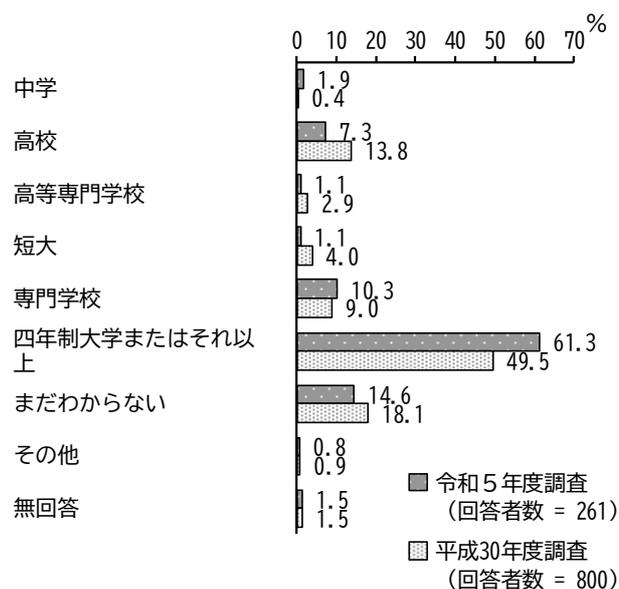
区分	回答者数 (件)	正社員・正規職員	パート・アルバイト	契約社員・非正規職員	人材派遣会社からの派遣社員	自営業・家業	その他の職業	働いていない	無回答
全 体	243	81.1	1.2	0.8	0.4	13.6	1.2	0.8	0.8
生活困難層	10	30.0	10.0	—	—	50.0	—	—	10.0
非生活困難層	218	84.4	0.9	0.9	0.5	11.0	0.9	0.9	0.5

(4) 学校生活について

問 19 お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。(○は1つ)

「四年制大学またはそれ以上」の割合が61.3%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が14.6%、「専門学校」の割合が10.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「四年制大学またはそれ以上」の割合が増加しています。一方、「高校」の割合が減少しています。



【生活貧困別】

単位：%

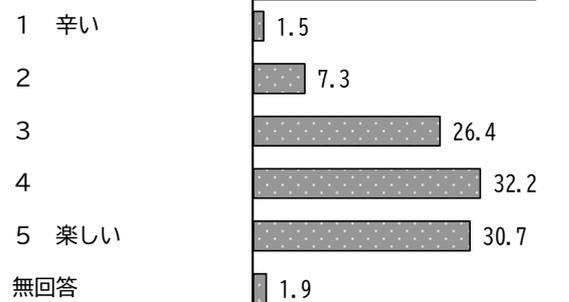
区分	回答者数(件)	中学	高校	高等専門学校	短大	専門学校	それ以上 四年制大学または	まだわからない	その他	無回答
全体	261	1.9	7.3	1.1	1.1	10.3	61.3	14.6	0.8	1.5
生活困難層	15	—	26.7	—	6.7	6.7	33.3	13.3	6.7	6.7
非生活困難層	229	1.7	6.1	1.3	0.9	9.2	65.1	14.0	0.4	1.3

(5) 子育て支援について

問 20 あなたは、子育てが楽しいですか。それとも辛いですか。
(あてはまる番号に○を1つ)

「4」の割合が 32.2%と最も高く、次いで
「5 楽しい」の割合が 30.7%、「3」の割合が
26.4%となっています。

回答者数 = 261



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数 (件)	1 辛い	2	3	4	5 楽しい	無回答
全 体	261	1.5	7.3	26.4	32.2	30.7	1.9
生活困難層	15	—	6.7	6.7	13.3	66.7	6.7
非生活困難層	229	1.7	7.0	26.2	33.6	30.6	0.9

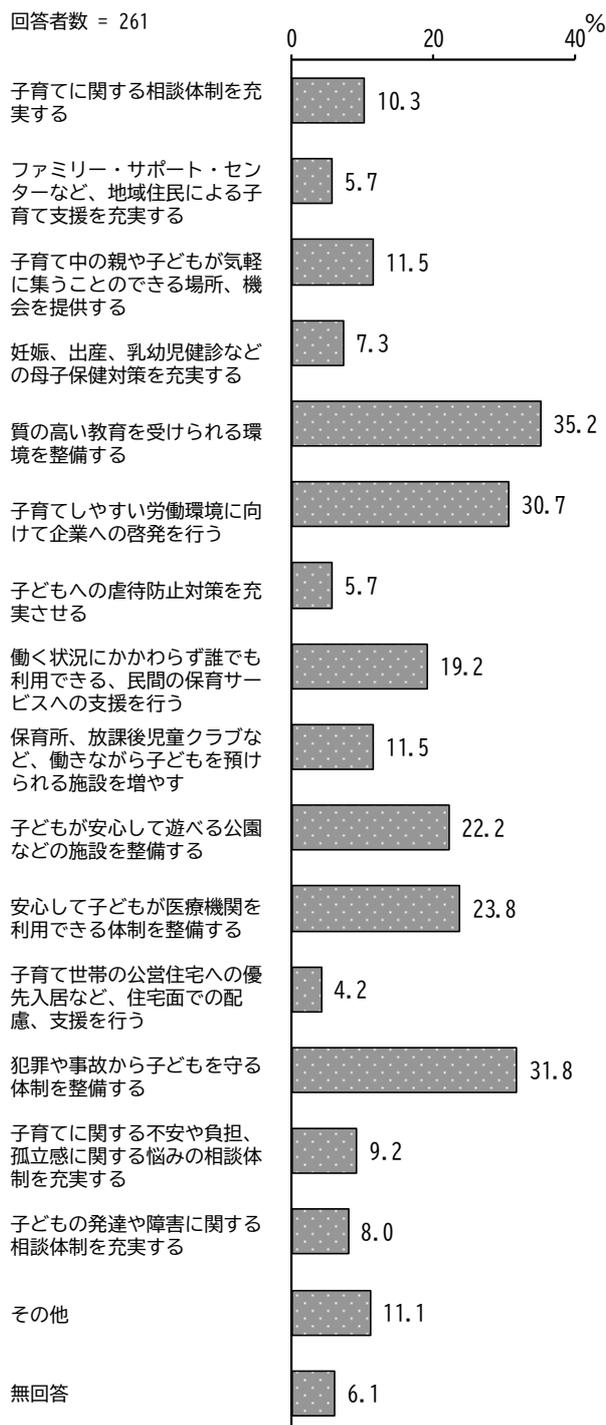
問 20-1 あなたが問 20 の回答とした理由をご記入ください。

意見の内容(件数)	主な意見
○問 20 で「1辛い」と答えた方(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重度知的障害（知能レベル1～3才）とてんかん有り。 ・ 経済的な余裕が無い。子に我慢させることが多い。物価高でさらに余裕が無い。
○問 20 で「2」と答えた方(14)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家事と仕事を中心。子育てを楽しみ子供の成長を見守りたいが時間ない。仕事しないと、塾や習い事も出来ない。 ・ 金銭面的に何もさせてあげられないのが辛い。 ・ 学校生活がうまくいっていない。軽度知的障害と発達障害を併発しているため、育児のむずかしさが感じられる。
○問 20 で「3」と答えた方(58)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 辛いときもあるが楽しいこともある。 ・ 中2の子は反抗期なので毎日何かしら腹が立つことがある。子育てが常に楽しいと感じるわけではない。 ・ 本人の反抗期や親の就労で思うようにコミュニケーションがとれない。 ・ 大きくなるにつれ働くことも体力的にも楽になり、いまは楽しく子育てしている。 ・ 思う様な給料が貰える訳でもなく、働こうとすれば家事育児が思う様にいかず体力的にもきつい。
○問 20 で「4」と答えた方(70)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大変なことも多いが、子育てで得られる楽しみや知識経験も多くある。 ・ 子供たちが大きくなって、対等に近い関わり方ができる場面が増え、楽になった。 ・ 大変なことも多いが、子供が元気に成長している姿を毎日見れて私も一緒に成長させてもらっている為、楽しいと感じる。 ・ 子どもの成長を感じたり子どもの学校生活、友だち関係など一緒に共感できることが楽しい。 ・ 辛くはないが、楽しいことばかりではない。
○問 20 で「5楽しい」と答えた方(69)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の成長が見られることが嬉しい。 ・ 自分1人では経験できない事がたくさん経験できるし、楽しい、うれしい、感動する場面がたくさんある。 ・ 生活が苦しくても子供はかわいい。子供なりにがんばってくれている。 ・ 家族で過ごせれば、辛くても。 ・ 子供の成長をみていて新たな発見もあり楽しい。

問 21 子育てをする中で、どのような支援、対策が有効だと思いますか。
(〇は3つまで)

「質の高い教育を受けられる環境を整備する」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「犯罪や事故から子どもを守る体制を整備する」の割合が 31.8%、「子育てしやすい労働環境に向けて企業への啓発を行う」の割合が 30.7%となっています。

回答者数 = 261



【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	子育てに関する相談体制を充実する	ファミリー・サポート・センターなど、地域住民による子育て支援を充実する	子育て中の親や子どもが気軽に集うことのできる場所、機会を提供する	妊娠、出産、乳幼児健診などの母子保健対策を充実する	質の高い教育を受けられる環境を整備する	子育てしやすい労働環境に向けて企業への啓発を行う	子どもへの虐待防止対策を充実させる	働く状況にかかわらず誰でも利用できる、民間の保育サービスへの支援を行う
全体	261	10.3	5.7	11.5	7.3	35.2	30.7	5.7	19.2
生活困難層	15	20.0	20.0	6.7	13.3	26.7	13.3	20.0	20.0
非生活困難層	229	9.6	4.8	12.2	7.0	37.6	31.9	4.8	19.7

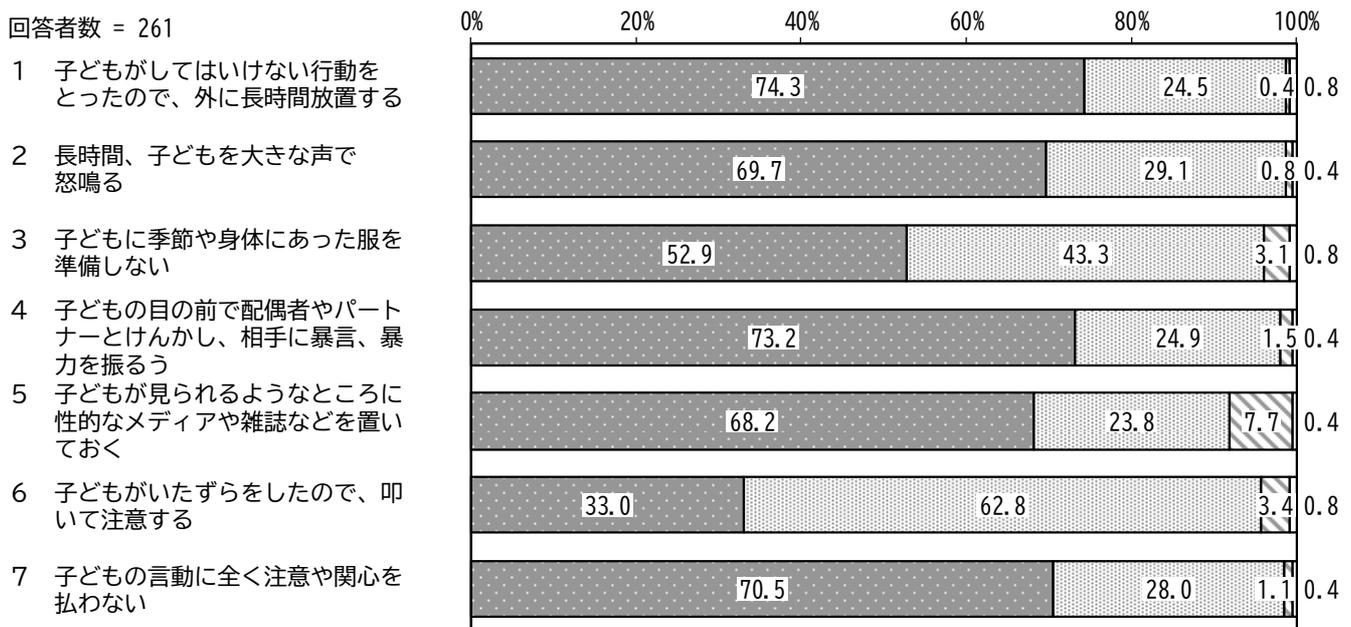
区分	保育所、放課後児童クラブなど、働きながら子どもを預けられる施設を増やす	子どもが安心して遊べる公園などの施設を整備する	安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する	子育て世帯の公営住宅への優先入居など、住宅面での配慮、支援を行う	犯罪や事故から子どもを守る体制を整備する	子育てに関する不安や負担、孤立感に関する悩みの相談体制を充実する	子どもの発達や障害に関する相談体制を充実する	その他	無回答
全体	11.5	22.2	23.8	4.2	31.8	9.2	8.0	11.1	6.1
生活困難層	6.7	6.7	26.7	13.3	13.3	—	6.7	—	13.3
非生活困難層	11.8	24.0	24.9	3.5	33.2	10.0	8.7	12.2	4.4

問 22 下記の行動は、「児童虐待」にあたると思いますか。(それぞれ○は1つ)

『6. 子どもがいたずらをしたので、叩いて注意する』で「児童虐待の場合とそうでない場合がある」の割合が高くなっています。

- どんな場合も児童虐待にあたる
- ▨ 児童虐待の場合とそうでない場合がある
- ▩ 児童虐待にはあたらない
- 無回答

回答者数 = 261



1. 子どもがしてはいけない行動をとったので、外に長時間放置する
【生活困難別】

単位：%

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらない	無回答
全体	261	74.3	24.5	0.4	0.8
生活困難層	15	93.3	—	—	6.7
非生活困難層	229	72.9	26.2	0.4	0.4

2. 長時間、子どもを大きな声で怒鳴る

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらぬ	無回答
全体	261	69.7	29.1	0.8	0.4
生活困難層	15	73.3	20.0	—	6.7
非生活困難層	229	69.9	29.3	0.9	—

3. 子どもに季節や身体にあった服を準備しない

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらぬ	無回答
全体	261	52.9	43.3	3.1	0.8
生活困難層	15	60.0	26.7	6.7	6.7
非生活困難層	229	54.1	42.4	3.1	0.4

4. 子どもの目の前で配偶者やパートナーとけんかし、相手に暴言、暴力を振るう

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらぬ	無回答
全体	261	73.2	24.9	1.5	0.4
生活困難層	15	73.3	20.0	—	6.7
非生活困難層	229	74.7	24.0	1.3	—

5. 子どもが見られるようなところに性的なメディアや雑誌などを置いておく

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらぬ	無回答
全体	261	68.2	23.8	7.7	0.4
生活困難層	15	80.0	6.7	6.7	6.7
非生活困難層	229	68.1	24.0	7.9	—

6. 子どもがいたずらをしたので、叩いて注意する

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらぬ	無回答
全体	261	33.0	62.8	3.4	0.8
生活困難層	15	40.0	46.7	6.7	6.7
非生活困難層	229	34.1	62.4	3.1	0.4

7. 子どもの言動に全く注意や関心を払わない

【生活貧困別】

単位：％

区分	回答者数(件)	どんな場合も児童虐待にあたる	児童虐待の場合とそうでない場合がある	児童虐待にはあたらぬ	無回答
全体	261	70.5	28.0	1.1	0.4
生活困難層	15	66.7	26.7	—	6.7
非生活困難層	229	71.6	27.5	0.9	—

問 23 あなたが、児童虐待について知っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること」の割合が 81.2%と最も高く、次いで「通告は匿名でもできること」の割合が 55.2%、「虐待に関する相談窓口」の割合が 32.2%となっています。

回答者数 = 261

児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること

具体的な通告先

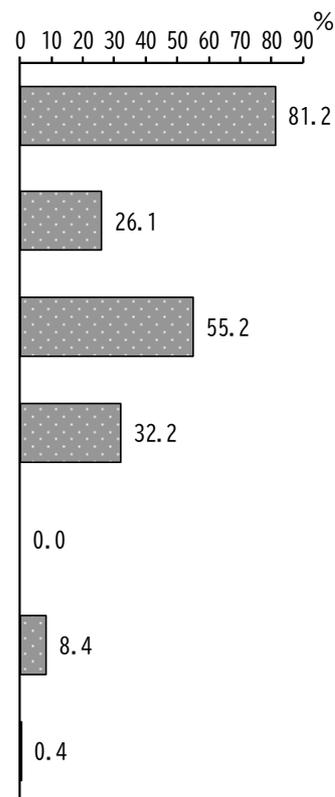
通告は匿名でもできること

虐待に関する相談窓口

その他

いずれも知らない

無回答



【生活貧困別】

単位：%

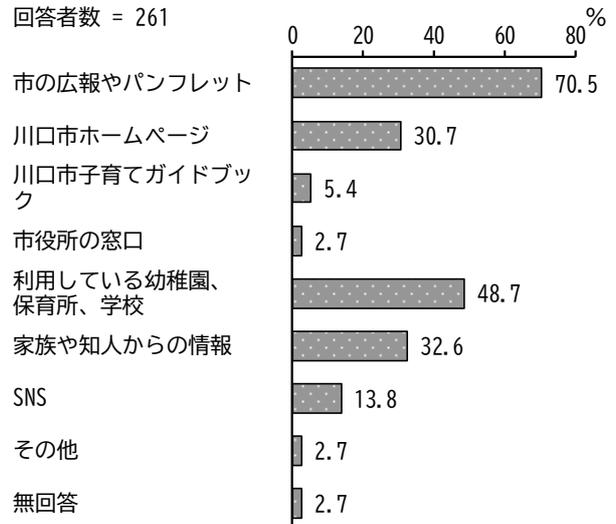
区分	回答者数(件)	児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人は、速やかに通告する義務があること	具体的な通告先	通告は匿名でもできること	虐待に関する相談窓口	その他	いずれも知らない	無回答
全体	261	81.2	26.1	55.2	32.2	—	8.4	0.4
生活困難層	15	60.0	20.0	40.0	26.7	—	13.3	6.7
非生活困難層	229	83.0	26.6	56.8	31.9	—	8.3	—

問 24 あなたは、市の子どもに関する施策などの情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後どのような方法で受け取りたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

A 現在の受け取り

「市の広報やパンフレット」の割合が 70.5%と最も高く、次いで「利用している幼稚園、保育所、学校」の割合が 48.7%、「家族や知人からの情報」の割合が 32.6%となっています。

回答者数 = 261



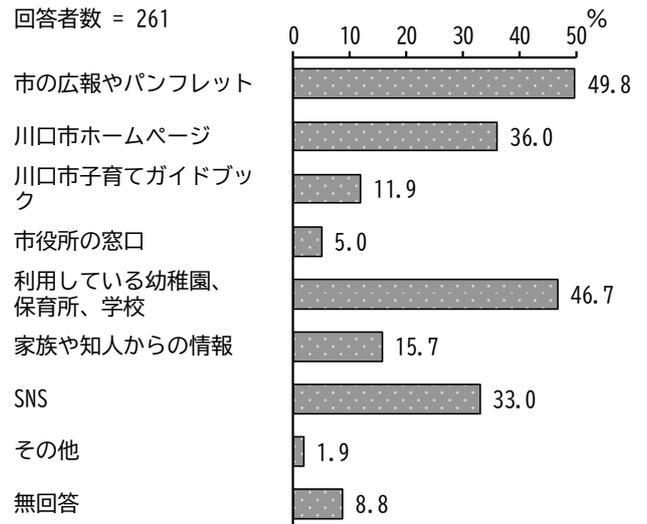
【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	市の広報やパンフレット	川口市ホームページ	川口市子育てガイドブック	市役所の窓口	利用している幼稚園、保育所、学校	家族や知人からの情報	SNS	その他	無回答
全体	261	70.5	30.7	5.4	2.7	48.7	32.6	13.8	2.7	2.7
生活困難層	15	53.3	20.0	6.7	13.3	33.3	40.0	20.0	—	20.0
非生活困難層	229	72.1	31.4	5.7	1.7	50.7	31.4	14.4	3.1	1.3

B 今後、受け取りたい方法

「市の広報やパンフレット」の割合が 49.8%と最も高く、次いで「利用している幼稚園、保育所、学校」の割合が 46.7%、「川口市ホームページ」の割合が 36.0%となっています。



【生活貧困別】

単位：%

区分	回答者数(件)	市の広報やパンフレット	川口市ホームページ	川口市子育てガイドブック	市役所の窓口	利用している幼稚園、保育所、学校	家族や知人からの情報	SNS	その他	無回答
全体	261	49.8	36.0	11.9	5.0	46.7	15.7	33.0	1.9	8.8
生活困難層	15	26.7	26.7	20.0	13.3	26.7	20.0	26.7	—	26.7
非生活困難層	229	51.5	37.1	11.4	4.8	49.8	15.7	34.5	2.2	6.1